

# 世界の山旅

2026.3～9

春  
Spring







岩峰群と氷河の大パノラマが広がるモンブラン山群

## も く じ

□癒しの国、ラオス・ネイチャーハイキングと 世界遺産ルアンパバーン 7日間.....	3	□ツール・ド・モンブランゆったりトレッキング 12日間.....	26
□花咲く桃源郷フンザとカラコルム展望ハイキング 10日間.....	4	□オートルート・トレッキング シャモニからツェルマットへ 12日間..	27
□癒やしのコスタリカ大自然満喫ウォーキング 11日間.....	5	□ノアの方舟 伝説の国・アルメニアフラワーハイキング 10日間....	28
□エベレスト展望トレッキングとシェルパの里 9日間.....	6	□ブルガリアの名峰2座登頂と世界遺産を巡る 10日間.....	29
□スペイン最高峰ティデ山登頂と花咲くカナリア諸島 10日間 .....	7	□スロベニア・トリグラウ国立公園山小屋縦走フラワーハイキング 9日間...	30
□ピレネーからガリシアへ サンティアゴ巡礼路ハイライト 10日間..	8	□ノルウェー山小屋縦走トレッキングとガルホピッゲン登頂 10日間...	31
□魅惑のアラゴン・ピレネー・ハイキング 9日間 .....	9	□韓国の高峰2座登頂 漢拏山と智異山 5日間 .....	32
□花の宝庫ピレネー山脈ハイキング 10日間 .....	10	□マレーシア最高峰Mt.キナバル登頂 5日間 .....	33
□ピレネー山小屋縦走トレッキング 11日間.....	11	□モンゴル・フラワーハイキング 8日間 .....	34
□ポルトガル・フラワーハイキング 10日間.....	12	□モンゴル西端アルタイ山脈 タウン・ボグド縦走トレッキング 12日間...	35
□大西洋の祈り「ポルトガルの道」サンティアゴ巡礼路 9日間 .....	13	□天山山脈最高峰ポベダと 精霊の王ハンテングリ展望氷河上ベースキャンプ滞在 12日間..	36
□バルカン半島アルバニア 山と海のハイキング 10日間.....	14	□ナミブ砂漠と花の楽園ナマクワランド、 世界三大瀑布ビクトリア・フォールズ 13日間.....	37
□スコットランド・ハイランド・ハイキング 10日間 .....	15	□イエローストーン&グランドティトン2大国立公園ハイキング 8日間..	38
□アンデス・ワイワッシュ山群トレッキングと ブランカ山群日帰りハイキング 14日間.....	16	□カリフォルニアの国立公園をめぐるハイキングと大リーグ観戦 8日間..	39
□アンデス・ブランカ山群トレッキングと ワラス滞在日帰りハイキング 12日間 .....	17	□コーカサス山脈・展望ハイキングと 世界遺産スワネチ地方を訪ねる旅 12日間 .....	40
□エクアドル・アンデスとアマゾン、ガラパゴス諸島ハイキング 16日間..	18	□アルバニア&モンテネグロ 2座登頂と国境越えトレッキング 10日間 ....	41
□コロンビア驚異の大自然探訪ハイキング 13日間.....	19	□秋のドロミテ山群 ベストハイキング 10日間 .....	42
□カナダ最高峰ローガン&クラン二大氷河地帯キャンプ滞在 11日間 ....	20	□アイリッシュ海から北海へ英国横断“コーストtoコースト” 12日間....	43
□アメリカ西部の大自然グランドサークル・ハイキング 9日間 .....	21	□モロッコ最高峰ツブカル山登頂と世界遺産マラケシュ 9日間...	44
□ヴァノワーズ&グラン・パラディーゾ展望フラワーハイキング 9日間...	22	□パミール高原とフンザ、 ナンガパルバット・ルパール壁トレッキング 14日間.....	45
□フレンチアルプス&グラン・パラディーゾ パノラマたっぷりハイキング 12日間.....	23	□世界の山旅 2026年秋 予告.....	46
□ツール・ド・モンブラン・トレッキング 10日間 .....	24	□お申し込みからご出発まで / 旅行条件 .....	47
□ツール・ド・モンブラン・トレッキング・スペシャル 12日間 .....	25		

表紙：北欧屈指の山岳風景を誇るノルウェー・ヨートゥンハイメン国立公園を歩く

このカタログに掲載の同行予定ツアーリーダーは、健康上の理由  
その他により変更となる場合があります。

古き良き東南アジアの魅力を味わう

# 癒しの国、ラオス・ネイチャーハイキングと世界遺産ルアンパバーン 7日間

ラオスは、東南アジアの中でもっとも素朴で古き良きアジアの雰囲気を感じさせる国です。日本とよく似た山岳地帯で手軽に楽しめる登頂コースや、美しい滝まで訪れるコースを歩き、世界遺産に登録されているルアンパバーンの街や自然豊かな美しい素朴な町バンビエンも魅力です。ホテルは4つ星クラスを利用します。

**発着地** 東京（大阪・名古屋・福岡発着はお問い合わせください。）

**歩行時間** **宿泊高度** **宿泊施設** (全ホテル泊)

出発日～帰国日	旅行代金	出発日～帰国日	旅行代金
満席 3/11(水)～3/17(火)	¥398,000	増設 3/20(金)～3/26(木)	¥398,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約19,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京または大阪から、東京または大阪まで同行します。
- 最少催行人数：7人 ● 食事：朝5回、昼5回、夕4回
- 利用予定ホテル：ビエンチャン/ドンチャンパレス バンビエン/シルバーナガ ルアンパバーン/ムアントン
- 一人部屋利用追加料金：¥62,000
- 利用予定航空会社：ベトナム航空、ラオス航空、タイ国際航空

私がご案内します

森中 あゆみ  
(もりなか あゆみ)  
3/20発同行

## ニューヨークタイムズで行きたい国一位に選ばれたラオス

日本の本州とほぼ同じ面積をもち、ニューヨークタイムズで行きたい国世界第一位に選ばれたラオス。東南アジアの中で、一番素朴で古き良きアジアの雰囲気を感じる国です。ラオスは海と接しない内陸国で、国土の多くが山岳地帯で占められています。メコン川はラオスを貫いて流れており、ミャンマーとタイとの国境をなしています。そして、なんといってもラオス人の穏やかさと優しさに出会えることが一番の魅力でしょう。日本とも関係が非常に深く、1970年代に日本の協力で開発した水力発電ダムが発展しており、「東南アジアのバッテリー」とも言われています。



▲ラオスの大自然を歩く

## 世界遺産の街

ルアンパバーンは、世界遺産に登録された寺院が点在し、町全体が世界遺産に認定されています。郊外には多くの手つかずの自然が広がります。



▲世界遺産都市ルアンパバーンを象徴する寺院ワット・シェントーン

## 鉄道でのんびり移動

近年開発された鉄道により、ビエンチャンからバンビエンやルアンパバーンへの移動がスムーズになりました。のんびりと旅情あふれる鉄道の旅をお楽しみください。



▲ラオス鉄道の旅も楽しむ

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京発 ビエンチャン着	東京発→東南アジア経由にてラオスの首都ビエンチャンへ。 【ビエンチャン泊 H】
2	ビエンチャン発 【ビエンチャン市内観光】 【ラオス鉄道の旅】 バンビエン着	ビエンチャン市内観光へ。ワットシーサケート、タートルアン仏塔、タラートサオマーケットなどを訪れます。その後、ビエンチャン駅へ。ビエンチャン駅発、ラオス鉄道にてバンビエンへ。車窓からラオスの農村風景をお楽しみください。バンビエン駅に到着後、夕食まで自由行動。 【バンビエン泊 H】
3	バンビエン 滞在	ホテル発、小さいボートでソーン川を見学し、その後、 <b>バンビエン・ネイチャーハイキングを楽しみます</b> (徒歩約1.5時間)。その後、プーカム洞窟、ブルーラグーンの観光を楽しみます。 【バンビエン泊 H】
4	バンビエン発 【ラオス鉄道の旅】 ルアンパバーン着 【ルアンパバーン市内観光】	午前、周辺の民家訪問や地元の生活を見学します。そのあとバンビエン駅へ。ラオス鉄道にて世界遺産の古都ルアンパバーンへ。ルアンパバーン駅到着後、専用車と専用ガイドでホテルへ。昼食はルアンパバーン名物料理「カオソイ・麺」をご案内します。その後、 <b>ルアンパバーン市内を観光</b> へ。王宮博物館、ワット・マイ、ワット・シェントーン、ワット・ヴィズンなどを楽しみます。夜は、ナイトマーケット散策へご案内いたします。 【ルアンパバーン泊 H】
5	ルアンパバーン 滞在	終日、ルアンパバーン滞在。 <b>ルアンパバーン郊外にあるカム族の村を訪ねてハイキングを楽しみます</b> 。専用車と船でラオスの素朴な山岳民族のカム族の村を訪れます。川の状態が良ければ、カヤック体験も楽しめます(徒歩約1時間)。ラオスの素朴で伝統的な生活を体験します。 【ルアンパバーン泊 H】
6	【早朝の托鉢、朝市見学とメコン川クルーズ】 ルアンパバーン 発	朝、希望者は、ルアンパバーンの托鉢と市場を見学します。そのあと、ホテルへ戻ります。貸し切りのボートでのメコン川クルーズにご案内します。その後、ルアンパバーンの仏像の博物館といわれているパクワー洞窟へ。洞窟観光後、ルアンパバーンへ戻ります。途中にサンハイ村にも立ち寄ります。その後、空港へ。夜、ルアンパバーン発→東南アジア経由地へ。 【機中泊】
7	各地 着	朝、各地着。 【機中泊】

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## もち米文化の国

ラオスは主食がもち米で、炭で蒸して手を使って食べています。もち米が主食の唯一の国です。出来立ての美味しいもち米はとってもおすすめです。



▲おいしいもち米文化

## バンビエンハイキング

バンビエンは、ナムソン川と緑豊かな山々に周りを囲まれた自然あふれる街です。素朴な雰囲気が漂うバンビエンで、ネイチャーハイキングを楽しみます。



▲素朴なバンビエン郊外のハイキング



世界の高峰が密集する大山岳地帯を歩く



# 花咲く桃源郷フンザとカラコルム 展望ハイキング 10日間

地球上で8,000m峰はヒマラヤ山脈とカラコルム山脈のみにしか存在しません、カラコルム山脈は、ヒマラヤのように東西に細長い山脈と違い、高峰が密集する山岳地帯です。イスラマバードからギルギット（フンザ）へは国内線のフライトを利用します。陸路移動だと片道2日かかるところ、わずか1時間で移動します。その分、フンザでの滞在時間が増え、体の負担も軽減できます。

発着地 東京・大阪

歩行時間

宿泊高度

宿泊施設

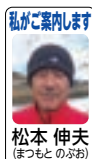
ホテル

出発日～帰国日	旅行代金
残3 4 / 3 (金)～4 / 12(日)	¥628,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約42,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際ご案内いたします。
- パキスタンビザ(=実費8USD+申請料4,400円、2026年1月20日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京または大阪から東京または大阪まで同行します。
- 最少催行人数：8人 ●食事：朝8回、昼6回、夕6回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上。イスラマバード/ルーミー、ヒルビュー、ホリデーイン
- 一人部屋利用追加料金：¥112,000(フンザ泊ロッジ含む。その他ロッジ含まない。)
- 利用予定航空会社：タイ航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※イスラマバード～ギルギット間の路線は山岳飛行便となります。天候や現地事情によりイスラマバード～スカルド便に変更する場合があります。またフライトがキャンセルになった場合には、陸路移動に変更させていただきます。あらかじめご了承ください。



松本 伸夫  
(まつもと のぶお)

## 名峰を仰ぎみる5つのハイキングコース

フンザ上部のドゥイカルの丘から、ラカボシやディラン、スパンティークなどを望むコース、ラカボシの北面を仰ぎ見るコース、グルキン氷河のアブレーションバレー（氷河側谷）やシスパーレ、ウルタルを望むコース、真白い氷塔が乱立するパスー氷河を望むコース、フンザの対岸ナガールのホーバル村から、ブアルタル氷河やウルタルなどを望むコースなど、合計すると7,000m峰を11座見ることができます。どのハイキングも1～2時間程度のハイキングですので、のんびりと白銀の山々を展望しながらお楽しみいただけます。



▲フンザ上部の丘からラカボシ

## 春は花咲きまさに桃源郷 迫力ある氷河と岩峰が迫る

春のフンザは氷河と残雪の名峰が果樹の花咲く美しい景観とともに楽しめます。まさに桃源郷の様相を呈します。快適なホテルを起点にのんびり滞在してのハイキングは至福の体験です。

カラコルムの山々は車で間近まで迫れることが驚きです。豪快なスケールの山岳地帯にオアシスを築いた村々から、パスー氷河やブアルタル氷河など氷河と岩峰の迫力あるコースをハイキングします。



▲アンズの花とラカボシ



▲パスー氷河の真上を歩く

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京・大阪 発 イスラマバード 着	午前、東京・大阪発→東南アジア経由地→夜、イスラマバード着。 機内【イスラマバード泊 H】
2	イスラマバード 発 ギルギット 着/フンザ 着	朝、国内線にてギルギットへ。機内からはナンガパルバットをはじめ、カラコルムの名峰を望むことができます。ギルギット着後、車でフンザへ。午後はフンザにてゆっくりとお過ごしください。フライトキャンセルの場合は、チラスへ。専用車でカラコルムハイウェイを北上します。 機内【フンザ泊 L】
3	フンザ 滞在 ドゥイカルの丘散策 ウルタル展望ハイキング 桃源郷フンザ観光	午前、フンザ上部にあるドゥイカルの丘へ(2,850m)へ。丘からハイキング開始。氷河で作った水路を辿りながら、ラカボシ、ディラン、スパンティークをはじめ、フンザピーク、レディースフィンガー、ウルタルI峰、ウルタルII峰などを望みながら歩きます(徒歩約2時間)。午後は、フンザ上部からハイキング開始。ウルタル谷の入り口付近まで往復します。圧倒的な迫力でそびえるウルタル峰を仰ぎ見ます(徒歩約1時間)。その後はフンザの村の散策などを楽しみます。 機内【フンザ泊 L】
4	フンザ 滞在 ラカボシ展望ハイキング 桃源郷フンザ観光	午前、専用車でフンザから、グルメット村へ。秀峰ラカボシの高度差、5,700mを仰ぎ見るショートハイキング(徒歩約1時間)。ラカボシの北面が圧倒的な迫力で望めます。午後、フンザに戻り、フンザ王国時代の象徴バルチット城の見学やフンザの村の散策などを楽しみます。 機内【フンザ泊 L】
5	フンザ 発 グルキンハイキング パスーハイキング パスー 着	カラコルムハイウェイをさらに奥へ進みグルキン村へ(2,500m)へ。グルキン氷河のアブレーションバレー（氷河側谷）を進み、シスパーレ、ウルタルI峰、ウルタルII峰、トポップダンなどを望みながら、グルキン氷河を望む展望地までハイキング(徒歩約1.5時間)。その後、パスー氷河の入り口付近(2,600m)まで移動し、パスー氷河を眼下に望む展望地をハイキングします(徒歩約1時間)。パスーへ戻ります。 機内【パスー泊 L】
6	パスー 発 ホーバルハイキング ギルギット 着	午前、パスー村からナガールのホーバル村へ。ホーバル村(2,790m)からウルタルやブアルタル氷河、カペルピークなどを望むビューポイントへ(徒歩約1.5時間)。その後、専用車でギルギットへ。 機内【ギルギット泊 H】
7	ギルギット 発 イスラマバード 着	朝、国内線にて、イスラマバードへ。着後は、イスラマバードで登山の疲れをいやしてください。 機内【イスラマバード泊 H】
8	イスラマバード 滞在 タキシラ見学	専用車で世界遺産にも指定されているガンダーラの遺跡群であるタキシラを見学します。 機内【イスラマバード泊 H】
9	イスラマバード 発	終日、イスラマバード市内観光を楽しみます。夜、イスラマバード発→東南アジア経由地へ。 機内【機中泊】
10	東京・大阪 着	東南アジア経由地→午後、東京・大阪着。 機内

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲シスパーレに向かって歩く



▲グルメット付近からのラカボシ(7,788m)

世界一美しい鳥ケツァールや神秘の森を歩く

# 癒やしのコスタリカ 大自然満喫ウォーキング 11日間

コンパクトな日程にコスタリカの魅力をギュッと詰め込んだ充実のコースです。幻の鳥と呼ばれるケツァールが生息する地域に2連泊することにより、観察確率が大幅にアップしています。(現在観察実績100%) また、ある程度の行程は決まっていますが、自然が相手なので、その時々で変わる一番お勧めの観察地へのご案内いたします。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 

全日程 (全ホテ泊)

出発日～帰国日	旅行代金
残2 4 / 5 (日)～ 4 / 15(水)	¥1,280,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在: 目安約56,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- 米国ESTA(=電子渡航認証システム、実費40USD+申請料金4,400円、2026年1月20日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員): 東京から東京まで同行します。
- 最少催行人数: 6人 ●食事: 朝8回、昼7回、夕7回
- 一人部屋利用追加料金: **¥196,000**
- 利用予定ホテル: Bクラス以上。
- 利用予定航空会社: ユナイテッド航空、全日空、シンガポール航空、アラスカ航空、アビアンカ航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

私がご案内します  
久保 典彦  
(くぼのりひこ)

## 「世界一美しい鳥」ケツァールを求めて

世界一美しい鳥といわれる幻の鳥ケツァールを探しながら歩きます。ハイキングにプラスして様々な生物と出会うチャンスもあり、豊かな自然の中でのハイキングを楽しめます。高級温泉リゾートに連泊でジャングル温泉を満喫、また地元の温泉にも訪れます。リンコン・デ・ラ・ビエハやフォルトゥーナでの宿泊は、自然いっぱいの温泉露天風呂を楽しむことができます。ジャングルの中の温泉は雰囲気たっぷりです。



▲世界一美しい鳥といわれるケツァール



▲コスタリカの大自然を歩く






















▲食事は香辛料を使っているが食べやすい



▲愛くるしいナマケモノ



▲体長わずか5cm前後のシロヘラコウモリ

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 サンホセ 着	午後、東京発→米国都市経由へ。→乗り継いで、夜、コスタリカの首都、サンホセ着。  <b>【サンホセ泊 H】</b>
2	サンホセ 発 サン・ヘラルド・デ・ダタ 着	 専用車にてサン・ヘラルド・デ・ダタへ。  <b>【サン・ヘラルド・デ・ダタ泊 H】</b>
3	サン・ヘラルド・デ・ダタ 滞在 <b>ケツァール探鳥とハイキング</b>	<b>★世界一美しいといわれるケツァールや森の宝石といわれるハチドリなどをさがしながら、ハイキングを楽しみます(徒歩約2時間)。</b>  <b>【サン・ヘラルド・デ・ダタ泊 H】</b>
4	サン・ヘラルド・デ・ダタ 発 <b>野生動物観察 ナイトツアー</b> サラピキ 着	 専用車にてサラピキへ。着後、白いマシマロのようなシロヘラコウモリやナマケモノなどを探索します。夜は、 <b>夜行性生物をみるナイトツアー</b> を楽しみます。  <b>【サラピキ泊 H】</b>
5	サラピキ 発 カニョネグロ 着 <b>カニョネグロ野生保護区</b> カニョネグロ 発 フォルトゥーナ 着 (アレナル火山) <b>アレナル火山温泉リゾート</b>	午前、  専用車でカニョネグロ野生保護区へ。  ボートに乗って多種多様な野生動物や野鳥を探します。サル、ナマケモノ、ワニ、イグアナ、多種の水鳥の野生動物の楽園です。水面を走る緑色の美しいイカゲ、バシルスクに出会える可能性もあります。その後、フォルトゥーナへ。アレナル火山麓の熱帯雨林の <b>雄大な露天風呂</b> でお寛ぎください。  <b>【フォルトゥーナ泊 H】</b>
6	フォルトゥーナ 発 リオ・セレステ 着 <b>リオ・セレステハイキング</b> リオ・セレステ 発 リンコン・デ・ラ・ビエハ 着	午前、  専用車にてリオ・セレステへ。 <b>★リオ・セレステハイキングを楽しみます。神秘的な水色の滝やコスタリカの珍しい動植物などを楽しみます。</b>  専用車でリンコン・デ・ラ・ビエハへ。  <b>【リンコン・デ・ラ・ビエハ泊 H】</b>
7	リンコン・デ・ラ・ビエハ 滞在 <b>リンコン・デ・ラ・ビエハ国立公園ハイキング</b>	終日 <b>★リンコン・デ・ラ・ビエハ国立公園のハイキングを楽しみます。間欠泉などの活火山の様子や、締め殺しの木など、コスタリカの豊かな自然をハイキングします。</b> 午後は、素朴な自然一杯の温泉でリラックスします。泥パニックなどもお楽しみください。  <b>【リンコン・デ・ラ・ビエハ泊 H】</b>
8	リンコン・デ・ラ・ビエハ 発 オロティーナ 着/発 サンホセ 着/発	 専用車でオロティーナへ。着後、野鳥観察や村の散策を楽しみます。その後、  専用車でサンホセへ。  <b>【サンホセ泊 H】</b>
9	サンホセ 発 米国都市 着	午前、サンホセ発→米国内都市へ。着後、ホテルへ。  <b>【米国都市泊 H】</b>
10	米国都市 発	午前→東京へ。  <b>【機中泊】</b>
11	東京 着	→午後、東京着。  <b>【機】</b>

※その時の天候や野生動物や野鳥の状況により、行程を入れ替えたり、別の場所にご案内することがございます。経験豊かなナチュラルガイドや現地スタッフが最善のコースをその時の状況により判断いたします。



▲ランの花



▲アレナル火山



エベレスト街道をたどり、憧れの世界最高峰を展望

# エベレスト展望トレッキングと シェルパの里 9日間

ヒマラヤの遠征隊で活躍する高地民族シェルパ族が生活する村々を訪ねながら、憧れの世界最高峰エベレストの展望地を目指します。比較的短い日程で、世界最高峰とそれを取りまく圧巻のヒマラヤの巨峰群を堪能でき、シェルパ族やチベット仏教の伝統と文化も感じる事が出来るトレッキングです

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 

出発日～帰国日	旅行代金
残4 4/15(水)～4/23(木)	¥496,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約32,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内します。
- ネパールビザ(=実費5,000円+申請料4,400円、2026年1月20日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはカトマンズからカトマンズまで同行します。
- 最少催行人数：10人 ●食事：朝7回、昼6回、夕5回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上。カトマンズ/ラディソン、ゴカルナリゾート
- 一人部屋利用追加料金：¥62,000(ロッジを含む)
- 利用予定航空会社：大韓航空、キャセイパシフィック航空、マレーシア航空、タイ航空、ネパール航空、シンガポール航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※トレッキング：現地ガイド、ポーターが同行。コックは同行します。  
※行動範囲：2,610m～3,880m、最高宿泊地3,440m、高山病の影響ややあり。

専属コック同行

平均的なロッジに宿泊します。トレッキング中はロッジ提供の食事が主体となりますが、専属コックが同行し単調にならないようお手伝いします。

スプーンから寝袋まで

トレッキングに必要な寝具や食器類は全て現地で準備されています。

※カトマンズ～ルクラ間の航空路線は、山岳地帯を飛び定期航空便を利用します。天候条件や機材、その他の現地事情により、遅延やフライトのキャンセルなど、予定通りに飛べないことがあります。天候不順等の理由により、日程変更になる場合に新たに生じた費用につきましては、すべてお客様のご負担になります。また、定期航空便で飛べない場合には代替として小型ヘリコプターを利用することがありますが、その際にかかる利用航空機費用の差額はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。

※ルクラ行きのネパール国内線につきまして、トレッキングのハイシーズンには、カトマンズから専用車でラメチャップに移動し、ラメチャップ空港からのフライト運行になる場合があります。そのため、日程2日目は未明にカトマンズを専用車で出発し、ラメチャップ空港へ向かいます。ラメチャップ空港から国内線でルクラへ向かいます。

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京発 カトマンズ着	午前、東京発→アジア経由都市で乗り継ぎ、夜、ネパールのカトマンズへ。 ☞着後、カトマンズのホテルへ。 ☐機☐機【カトマンズ泊 ☐】
2	カトマンズ発 ルクラ着/発 トレッキング1日目 パクディン着	早朝、ラメチャップ空港へ(約6時間)。朝、→国内線にてルクラ(2,840m)へ。着後、シェルパ達とともに、トレッキング開始。☞ドゥドゥー・コシ沿いの道をパクディン(2,610m)へ(徒歩約3時間)。 ☐機☐機【パクディン泊 ☐】
3	パクディン発 ナムチェ着	☞谷沿いの道をジョサレ(2,840m)へとたどり、世界遺産のサガルマータ(エベレスト)国立公園に入ります。標高差600mの坂をゆっくりと登り、シェルパの里ナムチェ(3,440m)へ(徒歩約6時間)。 ☐機☐機【ナムチェ泊 ☐】
4	ナムチェ 滞在 トレッキング3日目 エベレストビュー トレッキング	☞急な坂道をシャンボチェ(3,841m)へゆっくり登ります。ここから、世界最高峰のエベレスト(8,849m)、ローツェ、アマダブラム、タムセルクなどの大パノラマを楽しみながらホテル・エベレスト・ビュー(3,880m)、伝統的で落ち着いたシェルパ族の村クムジュン(3,780m)を巡り、ナムチェへ(徒歩約6時間)。 ☐機☐機【ナムチェ泊 ☐】
5	ナムチェ発 ルクラ着	☞往路をルクラへ戻ります(徒歩約8時間)。 4日間のトレッキング終了。 ☐機☐機【ルクラ泊 ☐】
6	ルクラ発 カトマンズ着	→ルクラから国内線でラメチャップへ。☞専用車でカトマンズへ(約6時間)。 ※国内線が飛ばない場合はルクラ滞在。ロッジ泊。 ☐機☐機【カトマンズ泊 ☐】
7	カトマンズ 滞在 半日市内観光	カトマンズ滞在。 午前、自由行動。午後、カトマンズの半日市内観光へ出かけます。またはルクラ→カトマンズのフライト予備日。 ☐機☐機【カトマンズ泊 ☐】
8	カトマンズ・フリータイム カトマンズ 発	夜の出発まで自由行動。街の散策やオプションツアーのヒマラヤ遊覧飛行や市内観光などをお楽しみください。夜、カトマンズ発→アジア経由都市へ。 ☐機☐機【機中泊】
9	東京 着	朝、アジア経由都市着→乗り継いで東京へ。 午後、東京着。 ☐機☐機

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## エベレスト街道

エベレストを目指す多くの遠征隊が歩き、それを支えるシェルパ族の村々を結ぶ街道です。チベット仏教の寺院も点在し、ここに住む人々の伝統と文化を感じることが出来ます。



▲世界最高峰エベレスト(左)、ローツェ(右)

## クーンブ山群

エベレストを中心に、世界第4位の高峰ローツェやヌプツェ、アマダブラム、カンテガ、タムセルクなど歩くにつれて標高が高くなり、氷雪を抱くヒマラヤの山々の絶景は圧巻です。



▲シャンボチェ付近からのタムセルク(右)、アマダブラム(左)

## ナムチェ

ヒマラヤの登山隊を支えるシェルパ族の故郷の村として知られるのがナムチェバザールです。この村を起点にエベレストやヒマラヤの巨峰群の展望を楽しめます。



▲シェルパの里ナムチェ

## クムジュン村

伝統的で落ち着いたシェルパ族の村クムジュンを訪れます。アマダブラム(シェルパ語で母の首飾り)の麓に広がるエベレスト街道でもっとも美しい村と言われています。



▲クムジュン村からのアマダブラム(6,812m)



# スペイン最高峰テイデ山登頂と 花咲くカナリア諸島 10日間

大西洋に浮かぶカナリア諸島には、火山が作り出した驚くべき豊かな自然があります。この旅ではカナリア諸島のそれぞれに違った魅力を持つ3島を訪れます。テネリフェ島ではスペイン最高峰のテイデ山に登り、ゴメラ島では世界遺産ガラホナイ国立公園の太古の森を、ラ・パルマ島ではカルデラの淵を歩きます。絶景とこの時期にだけ咲く、たくさんのお花をお楽しみください。

**発着地** 東京

歩行時間
    
宿泊高度
  
宿泊施設
 (全ホテル泊)

出発日～帰国日	旅行代金
<b>残3</b> 5/19(火)～5/28(木)	<b>¥788,000</b>

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約83,000円)が別途必要です。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはマドリッドからマドリッドまで同行します。

●最少催行人数：10人 ●食事：朝7回、昼6回、夕7回

●利用予定ホテル：Bクラス以上。テネリフェ島/ラ・ラグーナ・グランホテル ラ・パルマ島/H10ダブリエンテ・プラヤ

●一人部屋利用追加料金：¥120,000

●利用予定航空会社：エミレーツ航空、ターキッシュエアラインズ、カタール航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。



**渡部 秀樹**  
(わたなべ ひでき)

## 多種多様な花が咲くテイデ山に登る

長期にわたる火山活動によってできたテイデ山の山頂からは、巨大なカルデラ、外輪山を擁すダイナミックな景観を、山麓では独自の進化をとげた固有植物タヒナステの他、多種多様な花々をお楽しみください。

テイデ山登頂には事前の許可申請が必要です。登頂許可には定員がありますので、お早めにお申し込みください。詳しくはお問い合わせください。



▲テイデ山遠望と「宝石の塔」といわれるタヒナステ



### ▲テイデ山頂上稜線からの大展望

## 太古の原生林が残るゴメラ島

世界でも珍しい太古の照葉樹林原生林は、その希少価値から1986年に世界遺産に登録されました。ゴメラ島を日帰りで見学、最高峰のガラホナイ峰(1,487m)に登り、森林をハイキングします。



▲ロケ・デ・ロス・ムチャチョスの東京大学の望遠鏡

## ラ・パルマ島の花を訪れる

ラ・パルマ島は緑豊かな島で「美しい島 (isla bonita)」と呼ばれています。高地にはピンク色のタヒナステが自生し5月中旬から咲き出します。その他多くの種の花を見ながらハイキングします。



▲ラ・パルマ島に自生するピンクのタヒナステ



▲ラ・パルマ島へ向かうフェリーからの夕景

**カナリア諸島公認ガイドが同行**



カナリア諸島では、日本人唯一のスペインカナリア諸島公認ガイドの板垣奈緒さんが同行します。

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	夜、東京発→中東経由都市へ。 <span style="float:right">□□機</span>
2	中東経由都市着/発 マドリード 着/発 テネリフェ島 着/発 ラ・ラグーナ 着	朝、中東経由都市着。乗り継ぎ→マドリードへ。午後、マドリード着。乗り換えて→テネリフェ島へ。夕方、テネリフェ島着。 <span style="color:red">■</span> 専用車でラ・ラグーナへ。 <span style="float:right">機機夕【ラ・ラグーナ泊 H】</span>
3	テネリフェ島 滞在 <span style="color:red">アナガ山塊ハイキング</span> <span style="color:red">世界遺産ラ・ラグーナ歴史地区観光</span>	<span style="color:red">■</span> 島の北東部のアナガへ。 <span style="color:red">★</span> 固有植物が残るアナガ山塊をハイキング（徒歩約3時間）。午後、世界遺産で歴史的建造物が立ち並ぶ古都ラ・ラグーナを散策します。 <span style="float:right">朝園夕【ラ・ラグーナ泊 H】</span>
4	テネリフェ島 滞在 <span style="color:red">スペイン最高峰 テイデ山登頂</span>	朝、 <span style="color:red">■</span> 世界自然遺産のテイデ国立公園内にあるロープウェイ山麓駅へ。 <span style="color:red">■</span> ロープウェイで山頂駅(3,500m)へ。 <span style="color:red">★</span> 海や眼下に巨大なカルデラを見ながら、整備された登山道（標高差218m）を登り、テイデ山頂(3,718m)へ。山頂で大パノラマを楽しみ、往路を山頂駅まで下ります（徒歩約2時間）。 <span style="color:red">■</span> ロープウェイで山麓駅へ。 <span style="color:red">■</span> <span style="color:red">★</span> 奇岩が連なるロケ・デ・ガルシアや赤いタヒナステが咲いている所を散策します。 <span style="float:right">朝園夕【ラ・ラグーナ泊 H】</span>
5	ラ・ラグーナ 発/着 ロス・クリスティアヌス 着/発 ゴメラ島 着/発 <span style="color:red">ゴメラ島 世界遺産ガラホナイ国立公園ハイキング</span> ラ・パルマ島 着	早朝、 <span style="color:red">■</span> 島南西部のロス・クリスティアノスへ。 <span style="color:red">■</span> フェリーでゴメラ島のサン・セバスチャンへ。 <span style="color:red">■</span> 世界自然遺産のガラホナイ国立公園へ。 <span style="color:red">★</span> ゴメラ島最高峰のガラホナイ峰(1487m)へ登り、氷河期を乗り越えた照葉樹木の森をハイキングします（徒歩約2時間）。 <span style="color:red">■</span> サン・セバスチャンへ戻り、町の散策。 <span style="color:red">■</span> フェリーでラ・パルマ島へ。 <span style="color:red">■</span> ロス・カンカホスへ。 <span style="float:right">朝園夕【ラ・パルマ島泊 H】</span>
6	ラ・パルマ島 滞在 <span style="color:red">サンタクルス・デラ・パルマ散策</span> <span style="color:red">新火山見学</span>	朝、 <span style="color:red">■</span> ラ・パルマ島の首都、サンタクルスへ。植民地時代の面影を残し、木製のバルコニーに花が飾られたかわいらしい街を散策します。 <span style="color:red">■</span> 2021年の噴火によってできた新火山やバナナ畑などにも立ち寄り見学します。 <span style="float:right">朝園夕【ラ・パルマ島泊 H】</span>
7	<span style="color:red">カルデラ・デ・タブリエンテ国立公園ハイキング</span> ラ・パルマ島 発 テネリフェ島 着	朝、 <span style="color:red">■</span> カルデラ・デ・タブリエンテ国立公園へ。 <span style="color:red">★</span> 世界各国の天体観測所が集まるロケ・デ・ロス・ムチャチョス(2426m)からカルデラの淵を歩きます。巨大なカルデラの眺望と花を楽しみながらの稜線歩きです（徒歩約2.5時間）。 <span style="color:red">■</span> ラ・パルマ島固有のピンクのタヒナステの群生地などに立ち寄り、空港へ。夕方、ラ・パルマ発→テネリフェ島へ。 <span style="float:right">朝園夕【ラ・ラグーナ泊 H】</span>
8	テネリフェ島 滞在 <span style="color:red">テノ山地・ハイキング</span>	朝 <span style="color:red">■</span> テネリフェ島の北西部の古い地層のテノ山地へ。ハイキング・コースの状況に応じて、マスカ村周辺コースまたは、テノ・アルト、ブエナビサ村周辺コースなどテノ山地のハイキングをご案内します（徒歩約2〜4時間）。 <span style="color:red">■</span> ラ・ラグーナへ。 <span style="float:right">朝園夕【ラ・ラグーナ泊 H】</span>
9	テネリフェ島 発 マドリード 着/発 中東経由都市 着	朝、 <span style="color:red">■</span> テネリフェ空港へ。午前、テネリフェ発→マドリードへ。マドリード→中東経由都市で乗り継ぎ→東京へ。 <span style="float:right">朝□機【機中泊】</span>
10	中東経由都市 発 東京 着	夕刻、東京着。 <span style="float:right">機機□</span>

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



ピレネーからガリシアへ  
サンティアゴ巡礼路ハイライト 10日間

数ある巡礼路の中でも一番の人気ルート。約800kmに及ぶ「フランス人の道」のハイライト部分を歩きます。フランスからピレネー山脈を越えてスペインの聖地ガリシアまで北スペインの文化に触れながらサンティアゴ・デ・コンポステーラを目指します。大聖堂前でゴールを迎えた後はフェニステレ岬も訪れます。

発着地 東京

歩行時間
    
宿泊高度
  
宿泊施設
 (全ホテル泊)

出発日～帰国日	旅行代金
5 / 25(月)～ 6 / 3 (水)	¥896,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約78,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
  - ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはポルトーからポルトまで同行します。
  - 最少催行人数：10人    ● 食事：朝7回、昼5回、夕7回
  - 利用予定ホテル：Cクラス以上。イチャス/オテル・レストラン・ドゥ・フロントン   パンプローナ/オシデンタル・パンプローナ、メリソネー   ログローニョ/NH・ログローニョ・リオハ   レオン/オテル・プラッサ・マヨール、オシデンタル・レオン   ルーゴ/メンデスヌネス、セレコテル・エスタ・オステ   モンテ・デ・ゴゾ/アルベルク・モンテ・デ・ゴゾ   サンティアゴ・デ・コンポステラ/ホテル・コンポステラ
  - 一人部屋利用追加料金：**¥102,000**
  - 利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ、エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空
- ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問い合わせください。

## 「フランス人の道」のハイライト部分を 伴走車付きで歩く

フランスのサン・ジャン・ピエド・ポーからピレネー山脈を越え、スペインへ。リオハ州のブドウ畑を抜けると、景色は次第に乾燥した広大な大地メセタへと変わります。カスティーリャ地方特有のどこまでも続く地平線は、ガリシア州に入るあたりで起伏を帯び、山や丘陵地帯へと姿を変えます。豊かな畑と緑の森が織り成す景色を進めば、聖地サンティアゴが見えてきます。専用車が常に伴走や先回りしますので、ご希望の場合には歩かずに車に乗って移動することができます。



▲聖地サンティアゴ・デ・コンポステラを目指す



### ▲聖地サンティアゴ・デ・コンポステーラを目指す

ピレネー越え

巡礼路1日目はこのコースのハイライトの一つと言える、ピレネー山脈北部のフランスとスペイン国境の峠を越えます。



### ▲ブレネー山脈をめざす

## ブドウ畑と丘陵地帯

スペインに入ると巡礼路は、ワイン用のブドウ畑が広がる、なだらかな丘陵地帯と気持ちの良い森の道となります。



### ▲森のアーチに行く

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	夜、東京発→中東経由都市へ。 □□機【機中泊】
2	中東経由都市 着/発 ポルドー 着/発 イチャスー 着	→中東経由都市で乗り継ぎ、フランスのポルドーへ。 到着後、機巡礼路のスタート地点サン・ジャン・ピエ・ド・ポー近郊のイチャスーへ。 機□□【イチャスー泊 H】
3	イチャスー 発 サン・ジャン・ピエ・ド・ポー 着/発 巡礼路1日目 ピレネー越え ロンセスバジェス 着/発 パンプローナ 着	朝、★サン・ジャン・ピエ・ド・ポーから国境の町アルネギーへ(徒歩約3時間)。その後、機ピレネー山脈を越え、★イバニェタ峠から徒歩でロンセスバジェスを目指します(約30分)。ロンセスバジェスに到着後、機ナバラ州の都/パンプローナへ。 朝機□□【パンプローナ泊 H】
4	パンプローナ 発 エステージャ 着/発 巡礼路2日目 ぶどう畑 ウルビオラ 着/発 ログローニョ 着	朝、機ナバラ州のエステージャへ。★ワインの名産地であるリオハ州では蛇口をひねるとワインが出てくる「ワインの泉」があるイラーチェヤ一面のブドウ畑を通り、ウルビオラを目指します(徒歩約5時間)。着後、機リオハ州の都ログローニョへ。 朝機□□【ログローニョ泊 H】
5	ログローニョ 発 カストロヘリス 着/発 巡礼路3日目 メセタの大地 イテロ・デ・ラ・ベガ 着/発 レオン 着	朝、機カストロヘリスへ。★メステラスの丘へ登り、メセタの大地が広がる展望を見た後、麦畑が広がるカステーリャの大地を進み、イテロ・デ・ラ・ベガへ(徒歩約4時間)。機スペインゴシック様式三大大聖堂があるレオンへ。レオン着後、旧市街を散策します。 朝機□□【レオン泊 H】
6	レオン 発 オ・セブレイロ 着/発 巡礼路4日目 ガリシアの大地へ フォンフリャ 着/発 ルーゴ 着	朝、機オ・セブレイロへ。★いよいよ、聖地ガリシアへ足を踏み入れます。巡礼路で最も古い教会が残るオ・セブレイロ村から峠を下り、ガリシアの田舎の中を歩いて、フォンフリャへ(徒歩約4時間)。着後、機世界遺産のローマ城壁で有名なルーゴへ。 朝機□□【ルーゴ泊 H】
7	ルーゴ 発 メリデ 着/発 巡礼路5日目 栗と榎の森 アルスア 着/発 モンテ・デ・ゴン 着	朝、機メリデへ。★ガリシアならではの栗と榎の森を進み、チーズの名産地アルスアへ(徒歩約5時間)。機巡礼路上ではじめて聖都サンティアゴを望む地点である「歓喜の丘」モンテ・デ・ゴンへ。「歓喜の丘」の敷地内に宿泊します。 朝□□□【モンテ・デ・ゴン泊 H】
8	モンテ・デ・ゴン 発 巡礼路6日目 聖地サンティアゴ サンティアゴ・デ・コンポステラ 着 フィニステレ峠訪問	朝、★歓喜の丘から聖地サンティアゴへ。世界遺産に登録される旧市街地に建つ大聖堂を見学します(徒歩約1時間)。その後、機「世界の果て」を意味するフィニステレ岬へ。巡礼路の終着地点で大西洋の大海原を眺め、サンティアゴへ戻ります。 朝機□□【サンティアゴ・デ・コンポステラ泊 H】
9	サンティアゴ・デ・コンポステラ 発 ポルト 着/発	午前、自由行動。昼機サンティアゴ・デ・コンポステラを出発し、ポルトガルのポルトへ。 夕刻、ポルト発→中東経由都市へ。 朝□機【機中泊】
10	中東経由都市 着/発 東京 着	中東経由都市で乗り継ぎ→東京へ。 夜、東京(羽田)着。 機機□

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



### ▲緑が増えてくるガリシア地方



▲“地の果て”フィニステレ岬と大西洋



# 魅惑のアラゴン・ピレネー・ハイキング 9日間

春のベストシーズンにスペイン北部のアラゴン州へ。自然景観の中に溶け込む小さな村々、そこに生きる素朴な人々、美しい自然の中、歴史ある巡礼路ハイキングや要塞都市の訪問など、アラゴン・ピレネーの山と里を巡る旅へご案内いたします。まだ知らないピレネーを、じっくりとお楽しみください。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 (全ホテル泊)

出発日～帰国日	旅行代金
5/25(月)～6/2(火)	¥882,000

●燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約83,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。

●ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはバルセロナからバルセロナまで同行します。

●最少催行人数：10人 ●食事：朝6回、昼5回、夕6回

●利用予定ホテル：Cクラス以上。アルケサル/ホテル・ピラ・デ・アルケサル ハカ/ホテル・リアル カンフランク/カンフランク・エスタシオン・ロイヤル・ハイダウェイ・ホテル、ホテル・アンドス・パ・リアル・ヴィラ・アナイト アインサ/ホテル・ドス・リオス バルセロナ/カタルーニャ・エイサン

●一人部屋利用追加料金：¥108,000

●利用予定航空会社：エミレーツ航空、ターキッシュエアライン、カタール航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。



私がご案内します  
水津 幹夫  
(すいづ みきお)

## 魅力あふれるアラゴンをハイキングで巡る

ピレネー山脈の麓に位置するアラゴン州。知られざる魅力を発見する変化に富んだ4回のハイキングにご案内します。春のオルデサ国立公園は、

高山植物が咲き始め夏に向かって緑が色濃くなっていきます。世界遺産サンティアゴ・デ・コンポステーラの代表的な巡礼路の一つアラゴンの道では、中世から続く歴史と静けさに満ちたハイキングをお楽しみください。穏やかな自然風景が、心を落ち着かせてくれるでしょう。



▲オルデサ国立公園の登山口トルラ

## リグロスの奇岩 美しい村々

堆積した土砂が長い時間をかけて削られ、現在の形となりました。300mの高さを誇りロッククライミングの聖地としても知られる岩峰の迫力を楽しむハイキングへご案内します。



▲マージョス・リグロスの周囲をハイキング

「スペインで最も美しい村々」に認定されているアルケサルやアインサ、オルデサ国立公園の登山口のトルラなど、アラゴンピレネーの日常に触れられる小さな村を訪ねます。



▲可愛らしいアインサの村

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	東京発→中東経由都市へ。 □□機【機中泊】
2	中東経由都市 着/発 バルセロナ 着/発 アルケサル 着 城塞都市アルケサル	中東経由都市で乗り継ぎ→スペインのバルセロナへ。 バルセロナ空港着後、専用車で中世の城塞都市アルケサル(約3時間)へ。アルケサルの村を散策します。 機□□【アルケサル泊 H】
3	アルケサル 発 カンフラーネー口鉄道 リグロス 着 マージョス・リグロス ハイキング ハカ 着	朝、専用車でウエスカへ(約1時間)。ウエスカよりカンフラーネー口鉄道に乗りしリグロス(1,045m)へ(約1時間)。標高が上がるにつれて移り行く車窓をお楽しみください。★リグロスで下車し、巨大な岸壁マージョス・リグロスの周囲を回るハイキングにご案内いたします(徒歩約4時間)。その後、専用車でアラゴン王国の旧都ハカへ(約1.5時間)。 機□□【ハカ泊 H】
4	ハカ 着 サン・ファン・デラ・ペーニャ修道院 サンティアゴ・デ・コンポステーラ「アラゴンの道」 カンフランク 着	午前、専用車でアラゴンの三大ロマネスク建築と言われるサン・ファン・デラ・ペーニャ修道院へ。その後、専用車でソンプルト峠へ。★世界遺産サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路「アラゴンの道」のハイライト部分をハイキング。ソンプルト峠より出発し、かつての国際駅であるカンフランク駅まで歩きます(徒歩約6時間)。 機□□【カンフランク泊 H】
5	カンフランク 発 オルデサ渓谷ハイキング アインサ 着	シャトルバスでオルデサ渓谷の入口パラデラ・デ・オルデサへ(約30分)。★壮大なスケールのオルデサ渓谷のハイキングを楽しみます(徒歩約4時間)。その後、トルラの村に立ち寄り、ピレネーの美しい村アインサへ(約1時間)。 機□□【アインサ泊 H】
6	アインサ 滞在 モンテ・モンドート 往復ハイキング	朝、専用車でネリン(1,281m)へ(約2時間)。★オルデサ国立公園のアニスクロ峡谷側のネリンの村を起点にモンテ・モンドート(1,962m)登頂ハイキングへ(約6時間)。夕刻、専用車でアインサへ戻ります(約1時間)。 機□□【アインサ泊 H】
7	アインサ 発 バルセロナ 着 フラメンコ鑑賞	午前、アインサの村を散策します。専用車でアインサからバルセロナへ(約3時間)。世界遺産のサグラダ・ファミリア(入場)を訪れます。夜はフラメンコ・ショーを楽しみます。 機□□【バルセロナ泊 H】
8	バルセロナ 発	午前、自由行動。街の散策や市内観光などをお楽しみください。午後、→バルセロナ発、中東経由都市へ。 機□□【機中泊】
9	中東経由都市 発/着 東京 着	→中東経由都市で乗り継いで、東京へ。 機□□

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。  
※サグラダファミリアの予約が取れなかった場合は、カサ・バトリヨ等へご案内します。

## ロマネスク建築の至宝 アラゴンの食文化

中世ヨーロッパで広がったロマネスク建築の一つで、巨大な岩壁の下に佇むサン・ファン・デラ・ペーニャ修道院。傑作と称される回廊の柱頭彫刻には聖書物語が描かれています。



▲どこか懐かしく親しみ感じる彫刻が残る

季節の食材を取り入れたおいしい食事も旅の楽しみ。パンを炒めたミーガスなど代表的な郷土料理の他、地産の子羊やソーセージなどの肉料理も魅力です。



▲郷土料理ミーガス

# 花の宝庫 ピレネー山脈ハイキング 10日間

ピレネー山脈の中でも中心部の絶景ポイントを巡りながらハイキングを楽しめます。フランス側からスペイン側へ国境を越え、南北から世界でも指折りの絶景を見ながら歩く秀逸なハイキングをお楽しみください。豊富な高山植物、圧巻の大圏谷、緑美しい高原など、花の宝庫・ピレネーを満喫する人気コースです。

**発着地** 東京

步行時間 

宿泊高度

宿泊施設

**ホテル** (全ホテル泊)


出発日～帰国日	旅行代金	出発日～帰国日	旅行代金
6/18(木)～6/27(土)	¥966,000	7/1(水)～7/10(金)	¥976,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約83,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
  - ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはトゥールーズからバルセロナまで同行します。
  - 最少催行人数：10人 ● 食事：朝7回、昼7回、夕7回
  - 一人部屋利用追加料金：**¥122,000**
  - 利用予定ホテル：Cクラス以上。ジエドル・ラ・プレシュ・ドゥ・ローランド コトル/ガーデンシティ・コトル トルラ/ビラ・デ・トルラ、シルケン・オルデサ ボルターニャ/ホテル・モナステリオ バルセロナ/ホテル・カタラーニャ・エイサンブル
  - 利用予定航空会社：エミレーツ航空、カタール航空、ターキッシュエアラインズ、エールフランス、スwisインターナショナルエアラインズ、KLMオランダ航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

## 厳選のハイキングコースを堪能

ピレネー山脈に数ある絶景ポイントのガバルニー大圏谷、ピック・デュ・ミディ・ドツソ、ピニユマル北壁、オルデサ溪谷を花が咲き誇る季節に訪ね、フラワーハイキングを楽しめます。世界でも、指折りの絶景を歩く秀逸なハイキングコースばかりですが、まだまだアルプスなどに比べて訪れるハイカーや観光客は少なく、より静かなハイキングをお楽しみいただけます。



▲ガバルニー大圏谷ハイキング



### ▲ガバルニー大園谷ハイキング

## ピレネーの高山植物 ビニュマル北壁

「花の宝庫」と称されるピレネー山脈。多彩な高山植物が咲き誇り、ハイキングを楽しみながら固有種のピレネーイワタバコやユキノシタにも出会える魅力的なエリアです。



▲ピレネーの山麓を彩る花々

ピレネー最高峰(3,144m)の雄大な北壁を望む絶景スポットにハイキングで向かいます。氷河に削られた険しい岩壁と雪渓が織りなす迫力の景観が広がります。



### ▲ビニユマール北壁展望ハイキング

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	夜、東京発→中東・欧州經由都市へ。 □□機【機中泊】
2	中東・欧州經由都市 着/発 トゥールーズ 着/発 ジェドル 着	中東・欧州經由都市で乗り継ぎ→トゥールーズへ。 着後、🚗ピレネー山脈へ向け出発(約4時間)。 ジェドルへ。 機□夕【ジェドル泊 H】
3	ジェドル 滞在 世界遺産ガバルニー 大園谷ハイキング	🚗ガバルニーへ。🌸世界遺産のガバルニー大園谷をハイキング。高さ1,000m以上のそびえる“岩の円形劇場”と絶壁にかかる大滝が圧巻です(徒歩約4.5時間/標高差約350m)。 朝☀夕【ジェドル泊 H】
4	ジェドル 発 ピニュマル峰 北壁展望ハイキング コトル 着	🚗ボン・デスパニーユ(1,466m)へ(約1時間)。🌸谷ゆるやかな道をゴープ湖(1,725m)。さらにフレンチ・ピレネー最高峰のピニュマル峰(3,298m)北壁の好展望地(約2,000m)まで歩きます。往路を戻ります(徒歩約4.5時間)。🚗コトルへ。 朝☀夕【コトル泊 H】
5	コトル 発 ピック・デュ・ミディ・ドソオ展望ハイキング トルラ 着	🚗ビオーザルティギユエ湖(1,415m)へ(約2.5時間)。🌸ピック・デュ・ミディ・ドソオ(2,884m)の展望が素晴らしい高原までのハイキング(徒歩約4時間/標高差約450m)。🚗国境を越えてスペインのトルラへ(960m)。 朝☀夕【トルラ泊 H】
6	トルラ 滞在 世界遺産オルデサ 渓谷ハイキング	朝、🚗シャトルバスでオルデサ渓谷の入口パラデラ・デ・オルデサへ(約30分)。🌸壮大なスケールのオルデサ渓谷のハイキングを楽しみます(徒歩約4時間)。🚗往路をトルラへ。 朝☀夕【トルラ泊 H】
7	トルラ 発 ボルターニャ 着	🚗4WDの車でアニスコロ峡谷を一望する展望台へ(約1時間)。壮大な峡谷の展望を楽しんだ後、往路を戻り、午後は美しい村アインサに立ち寄り(約1時間)散策後、ボルターニャへ。かつては修道院だった建物を改装したホテルに宿泊。 朝☀夕【ボルターニャ泊 H】
8	ボルターニャ 発 バルセロナ フラメンコ鑑賞	🚗バルセロナへ(約5時間)。 夜はフラメンコ・ショーを楽しみます。 朝☀夕【バルセロナ泊 H】
9	サグラダ・ファミリア観光 バルセロナ 発 中東・欧州 經由都市 着/発	🚗午前、バルセロナ半日市内観光。世界遺産のサグラダ・ファミリア(入場)を訪れます。 午後、バルセロナ発→中東・欧州經由都市で乗り継ぎ→東京へ。 朝☀機【機中泊】
10	東京 着	夕刻、東京着。 機機□

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。  
※サグラダファミリアの予約が取れない場合は、カサ・バトリヨ等へご案内します。

オルデサ国立公園 ガウディ建築を巡る

世界遺産のオルデサ渓谷。兩岸にそびえる900mの岩壁、緑豊かなブナ林、岩壁を花々が彩る氷河が刻んだ渓谷を歩く、ダイナミックなハイキングが楽しめます。



### ▲中世の佇まいを残すトルラとオルデサ溪谷

サグラダ・ファミリアをはじめとするガウディ建築群。旅の最後はガウディの幻想的なデザインと鮮やかなモザイク装飾が生み出す独特の世界観を堪能できます。



### ▲バルセロナのサグラダ・ファミリア



フランスからスペインへ、ピレネー山脈の国境の峠を歩いて越える

# ピレネー山小屋縦走トレッキング 11日間

ピレネー山脈の核心部、フランス側からスペイン側へ歩いて越える山小屋泊まりの縦走トレッキングコースです。フランスとスペインの国境にそそり立つ岩壁の裂け目ブレッシュ・ド・ローラン越えや世界遺産ガバルニー大圏谷でのハイキング、バルセロナ市内観光などスペインの山歩きをしっかりと楽しむ盛りだくさんの内容です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
7/29(水)～8/8(土)	¥982,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在:目安約83,000円)が別途必要です。
- ツアーリーダー(添乗員): 東京から東京またはバルセロナからバルセロナまで同行します。
- 最少催行人数: 10人 ●食事: 朝8回、昼6回、夕8回
- 一人部屋利用追加料金: **¥82,000** (山小屋泊を除く)
- 利用予定ホテル: Cクラス以上。ウエスカ/ベッド、アッパウエスカ ガバルニー/ラ・マルボレ ボルターニャ/バルセロナモナステリオ バルセロナ/カタールニャ・エイサンプル
- 利用予定航空会社: エミレーツ航空、カタール航空、ターキッシュエアラインズ、エールフランス、スイスインターナショナルエアラインズ、KLMオランダ航空、エティハド航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※ピレネー山中は、アルプスに比べホテル・山小屋は質素であり、ホテルではポーターサービスが利用できなかったり、お部屋はシャワーのみとなる場合があります。あらかじめご了承ください。



私が案内します  
橋本 香織  
(はしもと かおり)

## フランスからスペインへ国境越え

ピレネー山脈に数ある絶景ポイントを訪ね、山小屋に泊まりながらハイキングとトレッキングを楽しみます。まずピック・デュ・ミディ・ドッソオでは周囲に山上湖が点在するアユー小屋に宿泊し、1泊2日のトレッキングを楽しみます。ガバルニー近郊へ向かう途中には、世界遺産登録のトルムス圏谷に立ち寄り、翌日は日帰りのガバルニー大圏谷ハイキングを楽しみます。ザラドウ小屋とゴリッツ小屋泊の2泊3日の縦走トレッキングで国境越えを堪能します。最後は、世界遺産のオルデサ渓谷をくだります。



▲フランス・スペインの国境の峠、「ローランの裂け目」

### ピック・デュ・ミディ・ドッソオ

ピレネーの象徴とも言えるピック・デュ・ミディ・ドッソオの麓をハイキング。広大な草原に聳え立つ尖峰の対比が美しい人気湖コースを歩きます。



▲ピック・デュ・ミディ・ドッソオ

### ガバルニー大圏谷

世界遺産に登録されているガバルニーの大圏谷を歩き、ヨーロッパ最大級の滝を望む、壮大なスケールの自然に圧倒されるような感動のハイキングに出かけます。



▲ガバルニー大圏谷ハイキング

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	夜、東京発→中東・欧州經由都市へ。 機【機中泊】
2	中東・欧州 經由都市 着/発 バルセロナ 着/発 ウエスカ 着	中東・欧州經由都市で乗り継ぎ→スペインのバルセロナへ。 専用車でウエスカへ(約4時間)。 機【機中泊】 機【機中泊】 機【機中泊】
3	ウエスカ 発 ピック・デュ・ミディ・ドッソオ展望 トレッキング1日目 アユー小屋 着	午前、ウエスカより国境を越えてフランス側のピレネーへ入り、ピオーザルティグエ湖(1,415m)へ(約2時間)。 独立岩峰ピック・デュ・ミディ・ドッソオ(2,884m)を展望しながらアユー小屋(1,980m)へ(徒歩約4時間)。 朝【朝】 朝【朝】 朝【朝】
4	アユー小屋 発 ピック・デュ・ミディ・ドッソオ展望 トレッキング2日目 ガバルニー 着	朝、アユー小屋発、ピオーザルティグエ湖下部へと戻ります(徒歩約2時間)。 その後、ガバルニーへ(約3.5時間)。 朝【朝】 朝【朝】 朝【朝】
5	ガバルニー 滞在 世界遺産ガバルニー大圏谷ハイキング	ガバルニー村にそびえ立つ世界遺産登録のガバルニー大圏谷を往復ハイキング。高さ1,000m以上の岩壁が頂上までそびえる「岩の円形劇場」と絶壁にかかる数々の大滝の景観が圧巻です(徒歩約4.5時間)。 朝【朝】 朝【朝】 朝【朝】
6	ガバルニー 発 国境越え トレッキング1日目 ザラドウ小屋 着	朝、専用車でタンテ峠(2,208m)へ。タイロン山腹をトラバースして進みます。タイロン氷河からの沢を渡りザラドウ峠の岩場を越え、ザラドウ小屋(2,587m)に到着(徒歩約2時間)。 朝【朝】 朝【朝】 朝【朝】
7	ザラドウ小屋 発 国境越え トレッキング2日目 ゴリッツ小屋 着	大きな雪渓が残る斜面をフランスとスペインの国境上の峠ブレッシュ・ド・ローラン(2,807m)へ。スペイン側に入り、ザレ場を下ると広大な谷が広がります。オルデサ渓谷の源頭に建つゴリッツ小屋(2,200m)へ(徒歩約7時間)。 朝【朝】 朝【朝】 朝【朝】
8	ゴリッツ小屋 発 国境越え トレッキング3日目 トルラ 着/発 ボルターニャ 着	ゴリッツ小屋から急な斜面を下り、世界遺産登録の雄大なオルデサ渓谷を見下ろす大パノラマを楽しみながら、渓谷の登山口(1,320m)へ下山(徒歩約6時間)。 トルラ着後、専用車でボルターニャへ。修道院を改築したホテルに泊まります。 朝【朝】 朝【朝】 朝【朝】
9	ボルターニャ 発 バルセロナ 着 フラメンコ鑑賞	専用車でバルセロナへ(約5時間)。夜はフラメンコ・ショーを楽しみます。 朝【朝】 朝【朝】 朝【朝】
10	バルセロナ市内観光 バルセロナ 発 中東・欧州 經由都市 着/発	午前、バルセロナ半日市内観光。世界遺産のサグラダファミリア(入場)を訪れます。 午後、バルセロナ発→中東・欧州經由都市で乗り継ぎ→東京へ。 朝【朝】 朝【朝】 朝【朝】
11	東京 着	夕刻、東京着。 機【機中泊】 機【機中泊】 機【機中泊】

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。  
※サグラダファミリアの予約が取れない場合は、カサ・バトリヨ等へご案内します。



▲ローランの裂け目の麓に建つザラドウ小屋



▲オルデサ渓谷ハイキング

# ポルトガル・フラワーハイキング 10日間

ポルトガル各地に残る歴史ある村や世界遺産、花咲く山岳地帯から大西洋の海岸線まで、ゆったりとした行程をハイキングで巡る旅。自然・歴史・文化をバランスよく体感でき、その土地を訪れた記憶に心を委ねる情緒あふれるハイキングの旅をお楽しみください。ローマや中世の城塞、美しい景観に溶け込む村など、歩いてこそ味わえるポルトガルの魅力を凝縮しました。

発着地 東京

歩行時間

宿泊高度

宿泊施設
 ホテル (全ホテル泊)

出発日～帰国日	旅行代金
5 / 19(火)～ 5 / 28(木)	¥826,000


- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約79,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
  - ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはリスボンからリスボンまで同行します。
  - 最少催行人数：10人 ● 食事：朝7回、昼6回、夕7回
  - 利用予定ホテル：クラス以上。イダーニャ・ア・ノヴァ/ホテル・エストレラ・ダ・イダーニャ  
ペルモンテ/ポウザーダ・コンヴェント・ペルモンテ コインブラ/NHコインブラ オビド  
ス/ポウザーダ・カストロ・デ・オビドス シントラ/NHシントラ
  - 一人部屋利用追加料金：**¥132,000**
  - 利用予定航空会社：エミレーツ航空、カタール航空、ターキッシュエアラインズ

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。



# 花咲くトレイルと世界遺産

石の家々が連なる中世の村や花咲く高原、霧に包まれる森、大西洋の風が吹き抜ける海岸線。日々舞台が変わる行程は、ポルトガルの奥深い歴史と自然を歩いて味わう贅沢な時間です。ローマ時代の遺跡が残るヴェーリャ、花崗岩の村モンサント、中世の村ソルテリャ、ポルトガル最高峰を擁するエストレーラ山脈、原生林のブサコ山地、汽水湖オビドス、クレシミナ砂丘など、見どころが豊富。春の陽気に包まれる季節、野山に咲くたくさんの花が迎えてくれるでしょう。



▲ポルトガルの素顔に出会う旅



### ▲ポルトガルの素顔に出会う旅

歴史的な村々を歩く 多彩な自然景観

ローマ時代の遺構から中世の城壁  
都市まで、石造りの村々を歩いて巡  
ります。観光だけでは触れられない、  
その土地ならではの時間の流れを  
体感できることでしょう。



### ▲ローマ時代の遺跡 セントゥム・セラスの塔

花咲く高原、氷河地形の山岳地帯、神秘的な森、穏やかな潟湖から大西洋の海岸線、石造りの村々。その日ごとに変わるさまざまな景観が旅の情調を豊かにしてくれます。



▲いにしへの古道を花々が彩る

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	夕刻、東京発→中東經由都市へ。 □□機【機中泊】
2	中東經由都市 着/発 リスボン 着/発 イダーニャ・ア・ノヴァ 着	中東經由都市で乗り継ぎ→リスボンへ。田園風景が広がるポルトガル中部の歴史と石造りの街並みが印象的なイダーニャ・ア・ノヴァへ(約3時間)。 機□□【イダーニャ・ア・ノヴァ泊 H】
3	イダーニャ・ア・ノヴァ 発 巨岩の村モンサント ベルモンテ 着	イダーニャ・ア・ヴェーリャへ(約30分)。農村地帯から巨大な花崗岩が点在する村モンサントへ。巨岩と共存するように築かれた家々、ローマ時代の遺跡や教会、要塞跡などを巡ります(徒歩約4時間)。ベルモンテへ(約1時間)。 朝□□【ベルモンテ泊 H】
4	ベルモンテ 滞在 セーラ・ダ・マルカタ 自然保護区	アグアス・ペラスへ(約30分)。丘陵地帯や田園風景が続き、素朴なワアルタ・フェイラ村から城壁に囲まれた中世の村ソルテーリャへ。サンティアゴ礼拝堂を経て城内へ入ると石畳の路地と美しい花崗岩の家々が立ち並びます(徒歩約5時間)。ベルモンテへ(約30分)。 朝□□【ベルモンテ泊 H】
5	ベルモンテ 発 エストレーラ山岳地帯 コインブラ 着	ヴァーレ・ド・ロッシンへ(約1時間)。ポルトガル本土最高峰を擁するセーラ・ダ・エストレーラ山麓でのハイキングは、氷河によって形作られた花崗岩の高原大地を歩きます(徒歩約5時間)。コインブラへ(約2時間)。 朝□□【コインブラ泊 H】
6	コインブラ 発 ブサコの森 オビドス 着	温泉町ルーズへ(約40分)。緑豊かなブサコ山地の森は静寂に包まれ、森の奥にはブサコ修道院が静かに佇んでいます(徒歩約2時間)。オビドスへ(約2時間)。 朝□□【オビドス泊 H】
7	オビドス 発 オビドス湖～ 小さな漁村 シントラ 着	オビドス湖畔へ(約20分)。ポルトガル最大の汽水湖、オビドス湖沿いから大西洋へ。湖と海が出会うダイナミックな風景の中、フォズ・ド・アレーリョへ(徒歩約6時間)。 シントラへ(約1.5時間)。 朝□□【シントラ泊 H】
8	シントラ 滞在 シントラ海岸 ハイキング	シントラ半島へ(約40分)。シントラ山中のペニーニャ聖域から大西洋の荒々しい海岸線へと辿り、自然保護区として知られるグレシmina砂丘では風と砂が作り出す海岸の魅力を体感します(徒歩約4時間)。 朝□□【シントラ泊 H】
9	シントラ 発 レガレイラ宮殿 リスボン 着/発	レガレイラ宮殿庭園を訪れ、地下回廊、洞窟、螺旋階段の井戸など、神話に満ちた空間を散策します。 →リスボン空港へ(約1時間)。リスボン発→中東經由都市へ。 朝□機【機中泊】
10	中東經由都市 着/発 東京 着	中東經由都市で乗り継ぎ→東京着。 機機□

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## 花々が彩る古道 歩いて巡るポルトガル

中世の村やいにしへの古道沿いに咲く季節の野の花を観察しながら歩く行程です。人の営みと自然が寄り添う風景の中で、素朴で力強いポルトガルの花々に出会います。



▶ 春色に染まるトレイルをハイキング

山岳地帯、森林、高原、海岸線、素朴な村々と歩く環境が日々変化するなか、季節の花を楽しみながら、多彩なポルトガルの自然と文化を満喫するハイキングの旅です。



▲自然と文化、ポルトガルの素顔に触れる



# 大西洋の祈り 「ポルトガルの道」サンティアゴ巡礼路 9日間

ポルトから始まる「ポルトガルの道」は、折りと日常が静かに交差する巡礼路です。大西洋沿岸を北上し、静かな海辺や素朴な漁村を辿りながらポルトガルからガリシア地方を目指します。黄金色の砂浜から荒々しい断崖へと変化する海岸線、国境を越え緑深い森や歴史と伝統に息づく中世の町を通り抜け、最後はサンティアゴ大聖堂がそびえるオブラドイ広場で結びます。

**発着地** 東京

歩行時間

宿泊高度

宿泊施設
 (全ホテル泊)

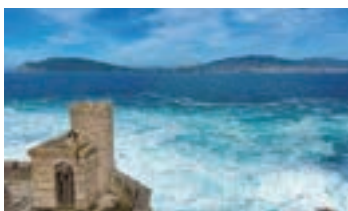
出発日～帰国日	旅行代金
6 / 10(水)～ 6 / 18(木)	¥778,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約79,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
  - ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはポルトからポルトまで同行します。
  - 最少催行人数：10人    ● 食事：朝6回、昼6回、夕6回
  - 利用予定ホテル：Cクラス以上。ポルト/ヴィラ・ガレ・ポルト・リベイラ    ヴィラ・ド・コンデ/ヴィラ・C・プティック・ホテル    カミーニャ/ホテル・ポルタ・ド・ソル    ポンテベドラ/パラドール・デ・ボンテベドラ    パドロン/ホテル・コロナ・デ・パドロン    サンティアゴ・デ・コンポステーラ/ヴィルシエ・ダ・セルカ
  - 一人部屋利用追加料金：**¥112,000**
  - 利用予定航空会社：エミレーツ航空、カタール航空、ターキッシュエアラインズ

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。



### ▲ポルトガルの道ハイライトの一つポンテ・サンパイオ



▲大西洋の海岸沿いを北上する



▲ホタテ目の印は巡礼路の道しるべ

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京発 中東經由都市 着	夕刻、東京発→中東經由都市へ。 ☐☐機【機中泊】
2	中東内經由都市 発 ポルト 着	ポルト着後🚗市内のホテルへ。ポルトはポルトガル第2の都市でドウロ川河口に栄えた中世の面影を残す世界遺産の街。川沿いに広がる美しい景観が印象的です。着後🚶市内の散策へ。 🚗🚶👉【ポルト泊 H】
3	ポルト 発 📌ラブルージュ海岸 ヴィラ・ド・コンデ 着	🚗海辺の町ラブルージュへ(約30分)。🚶砂浜や木道、穏やかな砂丘地帯から漁村のヴィラ・シャーを抜け、自然保護区ミンデロでは多くの野鳥が息息する静かな湿地帯へ。広大な砂浜と河口の風景が現れると、歴史ある町ヴィラ・ド・コンデに到着(徒歩約5時間)。時間があれば、造船博物館を見学します。 🚗🚶👉【ヴィラ・ド・コンデ泊 H】
4	ヴィラ・ド・コンデ 発 アフィフェ 着/発 カミーニャ 着	ポルトガル北部でも屈指の美しい海岸ルートを歩きます。🚗アフィフェへ(約1時間)。🚶浜辺からスタートし、松林と砂丘が続く海岸線を北上しながら18世紀の要塞や素朴な漁村を通り、ミーニョ川河口の町カミーニャへ(徒歩約5時間)。 🚗🚶👉【カミーニャ泊 H】
5	カミーニャ 発 アルカーデ 着/発 ポンテベドラ 着	🚗国境を越えてスペイン・ガリシア地方へ(約1.5時間)。🚶アルカーデの村から歩き始め、ナポレオン戦争の舞台となった中世の石橋ポンテサンバイオを渡り、緩やかな丘陵と森林地帯、小さな集落、静かな川沿いを進みガリシア屈指の美しい旧市街ポンテベドラへ(徒歩約6時間)。 🚗🚶👉【ポンテベドラ泊 H】
6	ポンテベドラ 発 カルダス・デ・レイス 着/発 パドロン 着	この日は距離がやや長く、巡礼の核心に近づく一日です。🚶深い森と川沿いの小径、農村風景の中を進み、石の十字架や素朴な教会が点在する巡礼遺産の風景を味わいます。ローマ時代の石橋を渡り伝統と歴史に彩られた町パドロンへ(徒歩約8時間)。 🚗🚶👉【パドロン泊 H】
7	パドロン 発 カルバレイラ・デ・フランコス 着/発 サンティアゴ・デ・コンポステーラ 着	🚗🚶巡礼の歴史を刻むオークの森からスタートし、巡礼者のための古い宿跡を通りながらサンティアゴへ。アラメダ公園から望む大聖堂の塔が初めて姿を現します。石畳の旧市街を進み、オブラドリ広場へ(徒歩約6時間)。サンティアゴ大聖堂の荘厳な姿は、感動的な瞬間です。 🚗🚶👉【サンティアゴ・デ・コンポステーラ泊 H】
8	サンティアゴ 発 ポルト 着/発 中東内經由都市 着	朝🚗ポルト空港へ。 ☐☐機【機中泊】
9	中東經由都市 着/発 東京 着	中東經由都市→東京着。 🚗🚶👉

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

# 大西洋沿岸を歩く 静寂の巡礼路

歩く人の多いスペイン側の「フランス人の道」とは異なり、潮風を感じる海岸線や砂丘が続く静かな巡礼路。自然と向き合える特別な時間です。



### ▲潮風を感じるルートを歩く

## 漁村と歴史が息づく 海辺の文化

素朴な漁村や港町、海を守ってきた  
要塞、石の十字架が点在する道など、  
海と共に生きてきた人々の暮らしや文  
化に触れる情緒豊かなコースです。



▲素朴な海沿いの村や街を訪ねる

国境を越えて  
つながる巡礼の道

ポルトガルからスペイン・ガリシア地方へ。風景や文化や言葉、食の変化を肌で感じながら歩く国境越えの巡礼体験こそ貴重で大きな魅力です。



▲国境を越えてスペイン・ガリシアへ

サンティアゴ  
大聖堂へ

森と川、町と人をつないできた道の先に待つサンティアゴ・デ・コンポステーラ。大聖堂を目前にした瞬間の感動と達成感は格別なものです。



▲巡礼路のゴールはサンティアゴ・デ・コンポステーラ

# バルカン半島アルバニア 山と海のハイキング 10日間

ヨーロッパの交差点バルカン半島西端に位置するアルバニアは地中海に残る隠れた宝石のような国です。息をのむほど多様で、陽光に抱かれ透明な海に洗われた色彩豊かな風景が広がります。古代から多様な文化の影響を受け、ローマの遺跡、ギリシャの古都、山上の城や要塞、城壁都市、修道院や教会、モスクなどの歴史的遺産が点在し、知られざる文化の奥行きを体感します。

発着地 東京

歩行時間
宿泊高度
宿泊施設


出発日～帰国日	旅行代金
5/11(月)～5/20(水)	¥786,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約28,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
  - ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはティラナからティラナまで同行します。
  - 最少催行人数：10人 ● 食事：朝8回、昼7回、夕5回
  - 利用予定ホテル：Cクラス以上。ティラナ/オックスフォード、セントラル ペルメット/ヴィラペルメット ヒマラ/シービュー
  - 一人部屋利用追加料金：**¥98,000**
  - 利用予定航空会社：ルフトハンザドイツ航空、ターキッシュエアラインズ、エミレーツ航空、全日空、フィンエアー

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

# 自然と歴史の宝庫アルバニア

アドリア海とイオニア海に抱かれたアルバニアは、険しい山岳と美しい海、石造りの古都と素朴な村が隣り合う国です。世界遺産ジロカストラ、ヴヨサ渓谷、イオニア海岸の絶景古道を歩き、知られざる文化と自然の奥行きを体感します。観光地化されていない素朴な人々の暮らしと幾重の時の流れに寄り添う、バルカン半島の奥深さを静かに味わう旅です。



▲アルバニアを代表する渓谷ヴヨサ川 渓谷とアルバニア・アルプス

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京発 欧州・中東経由都市着 ティラナ着	東京発→欧州・中東経由都市へ。 深夜ティラナ着。市内のホテルへ。 ☐機機【ティラナ泊】
2	ティラナ滞在 サリ・サルティク山 フルヤ観光	郊外のフルヤへ(約1.5時間)。石畳の道をたどり聖地サリ・サルティク山頂へ。山頂からはモンテネグロ方面まで見渡せる素晴らしい眺望が広がります(徒歩約3時間)。下山後、フルヤ城や市場などフルヤの観光。午後オスマン帝国、イタリア統治時代、社会主義時代の面影が混在するティラナの町を散策。囀囀囀【ティラナ泊】
3	ティラナ発 ペルメト着	午前、ティラナ市内観光へ。ビザンツ時代の城塞跡「ティラナ城」などを見学。午後、ヨーロッパ最後の原生河川とも称されるヴヨサ川沿いの町ペルメトへ(約3.5時間)。囀囀囀【ペルメト泊】
4	ペルメト滞在 ヴヨサ渓谷ハイキング	ペトラン村へ移動。森と草原を縫うように登り、ランガリツァ川が刻む渓谷を下りオスマン時代の石橋に囲まれた天然温泉ベニャへ(徒歩約6時間)。川沿いの天然温泉プールで入浴(水着着用)を楽しむ他、地元ワイナリーで地元産の食材とワインを味わいます。 囀囀囀【ペルメト泊】
5	ペルメト発 世界遺産 ジロカストラ観光 ヒマラ着	午前、世界遺産ジロカストラへ(約1時間)。石の町」と称されるオスマン商人都市で、城塞・邸宅・武器博物館などを見学しながら散策(徒歩約1時間)。食後、伝統的なコーヒー作りを体験。午後ベンチヤ川渓谷を抜け、カルスト台地、地中海風景へと変化する景色の中、イオニア海岸へ(約3時間)。囀囀囀【ヒマラ泊】
6	ヒマラ滞在 海岸沿いのハイキング	石造りの伝統的な村クデス村へ(約30分)。岩の小径をケパロ村へ。その後、海岸のケパロ・ビーチへ下ります(徒歩約3時間)。アリ・パシャ要塞跡を見学。午後はヒマラのビーチでゆっくりと過ごします。囀囀囀【ヒマラ泊】
7	ヒマラ滞在 ンジベ峡谷ハイキング	イリアスへ(約3時間)。渓谷美で知られるンジベ峡谷を抜け、透明度の高い美しいンジベ・ビーチへ。ヒマラへ戻ります(約3時間)。囀囀囀【ヒマラ泊】
8	ヒマラ発 ログアラ国立公園 ハイキング ティラナ着	ログアラ国立公園へ(1時間)。樹林帯の登りから岩山へと移り変わり、展望地(1,050m)からはオトラント海峡が望めます(徒歩約3時間)。昼食後ティラナへ(3時間)。夕食はアルバニア郷土料理をお楽しみください。 囀囀囀【ティラナ泊】
9	ティラナ発	早朝、ティラナ発→中東・欧州経由都市へ。 囀囀機【機中泊】
10	欧州・中東経由都市着 東京着	欧州・中東経由都市で乗り継ぎ→東京へ。 機機機

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

# アルバニアの 秘境を歩く

原生の川ヴヨサ溪谷やランガリツツ  
溪谷、山岳地帯やイオニア海岸沿  
いの古道ハイキングなど、歩くことで  
出会う自然と絶景を満喫します。



### ▲ 湫谷美を誇るンジペ峡谷

# バルカン半島を縦走

森林の国立公園から石造りの山、碧いイオニア海へ。日ごとに表情を変える景観を、ホテル泊で歩いて繋ぐ充実の日帰りハイキングを楽しめます。



▲真っ青な海へと下る

# 歴史と文化探訪

オスマン時代の世界遺産ジロカストラ旧市街など、歴史ある町や要塞を訪問。各地に残る知られざるアルバニアの歴史と伝統文化を体験します。



### ▲世界遺産の街ジロカストラのジロカストラ城

食事やワインも  
魅力

アルバニアは、地中海やバルカン半島、トルコなどの周辺地域の食文化の影響を受け、ワインや郷土料理など、心に残る多彩な食事が魅力です。



### ▲郷土料理も楽しみ



# スコットランド・ハイランド・ハイキング 10日間

英国北部、スコットランドの雄大なハイランド地方と、西海岸の美しい島々が舞台のトレイルをたどります。神秘的な湖と穏やかな表情の山、大海原が織りなす多彩な風景に加え、古城やウイスキー蒸溜所、そしてエディンバラ旧市街など、自然と文化の魅力を余すところなく満喫することができる旅です。

発着地 東京

歩行時間

宿泊高度

宿泊施設
 ホテル (全ホテル泊)

出発日～帰国日	旅行代金
5 / 22(金)～ 5 / 31(日)	¥1,100,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約83,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
  - 英国ETA(=電子渡航認証システム、実費16ポンド+申請料金4,400円、2026年1月20日現在、手数料、消費税込み)の取得が別途必要となります。
  - ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはエディンバラからエディンバラまで同行します。
  - 最少催行人数：10人 ● 食事：朝7回、昼5回、夕4回
  - 利用予定ホテル：Cクラス以上。ドライメン/ブキャナンアームズ オーバン/ロッホメルフォート ピトロクリー/アーカサイド エディンバラ/ブランツフィールド
  - 一人部屋利用追加料金：**¥196,000**
  - 利用予定航空会社：エミレーツ航空、カタール航空、キャセイパシフィック航空、シンガポール航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

## 歴史と文化が融合した 自然豊かなトレイル

自然豊かなローモンド湖・ザトロサックス国立公園や、独特の表情を持つ西海岸の島々など、選りすぐりの景勝地を経験豊富なガイドがご案内します。

野生動物と出会うこともある  
クルーズや古代遺跡を散策、  
そして近隣の蒸溜所見学な  
ど、自然や文化体験も充実し  
ています。宿泊は雰囲気ある  
地元ホテルを厳選。歴史と  
文化、自然にふれながら歩く  
上質な旅です。



▲キャッスル・ロック岩頸上の要塞、エディンバラ城

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 着	夜、東京発→中東又は東南アジア経由都市へ。 □□機【機中泊】
2	中東又は 東南アジア経由都市 着/発 エディンバラ 着 ドライメン 着	エディンバラ空港到着後。専用車でスコットランド・ハイランド地方へ。途中、スコットランド独立の英雄ウィリアム・ウォレス記念碑を見学。その後、ローモンド湖近郊の静かな村ドライメンへ。18世紀の酒場を改装した趣あるホテルに滞在します。 □□宿【ドライメン泊 H】
3	ローモンド湖国立公園 コニック・ヒルハイキング	★ローモンド湖・ザトロサックス国立公園にて、コニック・ヒルへハイキング。ウエスト・ハイランド・ウェイの一部を歩き、ローモンド湖と島々を一望する絶景を楽しみます（徒歩約4時間）。 朝昼□【ドライメン泊 H】
4	ドライメン 発 インヴァレアリー城 キルマーティン・グレン オーバン近郊 着	朝食後、専用車で西海岸へ。★ロッホ・ファイン湖畔に佇むクラン・キャンベルの居城、インヴァレアリー城を見学。午後は新石器時代から青銅器時代の遺跡が連なるキルマーティン・グレンを散策（徒歩約1.5時間）。夕刻、海を望む絶景で名高いホテルへ。 朝昼夕【オーバン泊 H】
5	オーバン近郊 滞在 西海岸野生生物グループ イズデール島 ハイキング	午前、★西海岸沿いを巡る野生動物観察クルーズ。イルカ、カワウソ、海鷗、運が良ければフジラにも出会える可能性があります。世界最大級の渦潮コリーヴレックも安全な距離から見学。★午後はかつてスレート採掘で栄え、その歴史と自然が魅力のイズデール島を散策（徒歩約1.5時間）専用車でホテルへ。 朝昼夕【オーバン泊 H】
6	オーバン近郊 発 ケララ島ハイキング ピトロクリー 着	朝、★小型フェリーで静かなケララ島へ。★16世紀築城のギレン城跡を中心に、島を一周するハイキングを楽しみます（徒歩約4.5時間）専用車でホテルへ。マル島、ジユラ島、ガーヴェラック諸島を望む海の景色が広がります。午後、専用車でパースシャー地方の町ピトロクリーへ。 朝昼□【ピトロクリー泊 H】
7	ピトロクリー 滞在 ベン・ヴラッキー ピトロクリーハイキング	★ピトロクリーの象徴、ベン・ヴラッキー山へハイキング。湿原と小さな湖を越え、山頂を目指します（徒歩約4.5時間）。下山後、ハイランド地方のウイスキー蒸溜所を訪れ、見学と試飲。 朝昼□【ピトロクリー泊 H】
8	ピトロクリー 発 エディンバラ 着	朝食後、専用車でエディンバラへ。★午後、世界遺産エディンバラ旧市街を散策。ロイヤルマイル、セント・ジャイルズ大聖堂、エディンバラ城などを徒歩で巡ります。 朝□夕【エディンバラ泊 H】
9	エディンバラ 発	朝食後、専用車でエディンバラ空港へ。★エディンバラから中東又は東南アジア経由都市へ。 朝□機【機中泊】
10	中東又は東南アジア経由都市 着/発 東京 着	未明→中東又は東南アジア経由都市で乗り継いで→東京へ。夜、東京着。 機機□

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## ハイランド地方の 歴史を体感

スコットランドの英雄ウィリアム・ウォレス記念塔を訪問し、ローモンド湖近くの静かな村ドライメンへ。18世紀の酒場を改装した趣あるホテルに滞在。



### ▲アビー・グレイグの丘に聳えるモニュメント

## 先史時代の遺跡・ キルマーティン溪谷

西海岸のキャンベル氏族の居城インヴァレリー城へ。先史時代の遺跡が連なる神秘的な雰囲気のあるキルマーティン溪谷を散策します。



### ▲神秘的なキルマーティン渓谷の遺跡群

# 海の野生動物 クルーズ

ボートで海へ出て、イルカ、カワウソ、海鷲、運が良ければクジラなどを探します。巨大なコリーヴレックан渦潮も遠くから見学。



### ▲大海原での野生動物との出会い

# ベン・ヴラッキー 登山

ピットロツホリーを象徴する山ベン・ヴ  
ラッキー登頂。山頂からはハイランド  
の大パノラマが広がります。下山後  
はウイスキー蒸留所を訪問します。



### ▲ベン・グラッキー山頂からの絶景

# アンデス・ワイワッシュ山群トレッキングと ブランカ山群日帰りハイキング 14日間

ワラスを拠点に高所順応を重ね、ウィルカコチャ湖やヤングヌコの展望地でアンデスの朝景を味わいます。後半はワイワツシュへ入り、プヤ・ライモンディを眺めつつ村々を抜け、カルワコチャ湖畔のテント泊と4,700～4,800m級の峠越えて名峰群と氷河湖の景観を深く堪能します。

発着地 東京

歩行時間  宿泊高度  健康診断  宿泊施設 

出発日～帰国日	旅行代金
5 / 18(月)～ 5 / 31(日)	¥1,080,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約30,800円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- 米国ESTA(エスタ=電子渡航認証システム、実費40USDドル+申請料金4,400円、2026年1月20日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはリマからリマまで同行します。
- 最少催行人数：10人 ● 食事：朝10回、昼10回、夕10回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上、リマ/ウイングダム・グランド コスタ・デル・ソル・リマ・エアポート カルワス/ホテル・エル・アプエロ ワラス/アンディーノ・クラブ・ホテル
- 一人部屋利用追加料金：**¥78,000**(テント泊を除く)
- 利用予定航空会社：アエロメヒコ、ユナイテッド航空、アメリカン航空、デルタ航空、エアカナダ、全日空、日本航空、アビアンカ航空、ラタム航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※「標高3,800m以上の高所に宿泊するコース」にご参加の場合、所定の健康診断を受けていただきます。健康診断にかかる費用はお客様のご負担となります。

※高山病の発症は個人差がありますが標高3,000m台後半に宿泊する場から顕著に現れます。アルパインツアーでは、皆様の安全なご旅行のために専門医(日本登山医学会・登山者検診ネットワーク)のご協力のもと、所定の高所健康診断システムをとっておりますので、ご協力をお願いいたします。

## アンデス屈指の大展望が広がる 静寂のワイワッシュ山群トレッキング

南米大陸の北端から南端まで延々と連なる世界最長のアンデス山脈。

その中でもワイワツシュ山群は、ペルー第2の高峰イェルバハ(6,635m)を盟主とし、インディオの言語で“ハチドリ”を意味する針峰ヒリシャンカ(6,094m)、雄峰シウラ(6,344m)など名峰が集中する豪華な山群です。



▲イェルパハ（中央左）とヒリシャンカ（右）

高所順応

ウィルカコチャ湖散策、峠ハイク、4,650m展望地訪問などで段階的に高所順応を進めます。



▲前半は高度順応ハイキングを楽しむ

## カルワコチャ

カルワコチャ湖畔(4,200m)でキャンプ。日帰りハイクでターコイズの湖と眺望を楽しめます。



### ▲カルワコチャ湖からのワイワッシュの山々

## 峠越え縦走

カナンブンタ峠(4,700~4,800m)、  
ミナパタ峠(4,650m)を越え、山々の  
展望を楽しみながら縦走します。



▲ミナパタ峠からのトリシヤンカとイェルパハ

## 名峰展望

道中はワスカランなどの山岳展望  
や、ワイワッシュ山群の名峰群(ジリ  
シャンカ等)を望みます。



### ▲ペルー最高峰ワスカラン

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 北中米經由都市 着/発 リマ 着	午前、東京発→北中米經由都市で乗り継ぎ、ペルーの首都リマへ。 ☐機☐【リマ泊 H】
2	リマ 発 カルワス 着	午前、→国内線でワラスへ。午後、☐☐ウィルカコチャ湖へ(約2時間)。素朴な家々が点在し、アンデスの高地ならではの色鮮やかな高山の花々も見られます。着後、 <b>☆湖畔周辺のハイキングを楽しみます</b> (徒歩約2時間)。 朝☐☐【カルワス泊 H】
3	カルワス 発 プンタ・オリンピカ 着 チュルワルカ 着	朝、☐☐ウルタ谷へ(徒歩約5時間)。徐々に高度を上げながらプンタ・オリンピカ・トンネル(4,688m)へ。 <b>☆プンタ・オリンピカ峠(4,894m)へ</b> (徒歩約3時間)。ワスカラン(6,768m)やチロピカルキ(6,354m)などを望みます。 朝☐☐【チュルワルカ泊 T】
4	チュルワルカ 発 ポルタチュエロ・デ・ヤングヌコ 着 ワラス 着	朝、☐☐ワスカラン国立公園へ(約1時間)。ポルタチュエロ・デ・ヤングヌコ(4,650m)で日の出の山岳展望を楽しみます。 <b>☐☐ワラスへ</b> (徒歩約2時間)。 朝☐☐【ワラス泊 H】
5	ワラス 発 ワンコ・パンパ 着	☐☐ケロパルカ方面へ(徒歩約6時間)。3mまで成長することもあるグヤ・ライモンディなどの高山植物を観察しながらワンコ・パンパ(4,300m)遺跡付近のキャンプへ。 朝☐☐【ワンコ・パンパ泊 T】
6	ワンコ・パンパ 発 ケロパルカ 着/発 カルワコチャ 着	☐☐ケロパルカへ移動(約3~4時間)。ワイワッシュ山群の名峰(ヒリジャンカ、イェルパバ・チコ、イェルパバ・グランデ、シウラ等)を望みます。 <b>☆名峰を眺めながら、カルワコチャへ</b> (徒歩約3時間)。カルワコチャ湖畔(4,150m)でキャンプをします。 朝☐☐【カルワコチャ泊 T】
7	カルワコチャ 滞在 ブランカ・ワイワッシュトレッキング 1日目	<b>☆ワイワッシュ随一の展望区間を日帰りハイキング</b> (徒歩約5時間)。カルワコチャ湖とイェルパバ、ヒリジャンカ、シウラ・グランデなどの眺望を満喫します。 朝☐☐【カルワコチャ泊 T】
8	カルワコチャ 発 ケロパルカ 着 ブランカ・ワイワッシュトレッキング 2日目	<b>☆カルワコチャ湖(4,100m)から谷を下り、ケロパルカ村(3,800m)へ。途中、アルパカの放牧風景や広い谷、名峰群の眺望が続きます</b> (徒歩約2時間)。 朝☐☐【ケロパルカ泊 T】
9	ケロパルカ 発 ブランカ・ワイワッシュトレッキング 3日目 マタカンチャ 着	早朝に出発し、 <b>☆ケロパルカ(3,800m)からカカナンプンタ峠(4,700~4,800m)を越え、マタカンチャ(4,300m)へ</b> (徒歩約7時間)。広大な渓谷とワイワッシュ山群のパノラマが楽しめます。 朝☐☐【マタカンチャ泊 T】
10	マタカンチャ 発 ブランカ・ワイワッシュトレッキング 4日目 ワラス 着	<b>☆ミナパタ峠(4,650m)へ登り、ワイワッシュ山群の大展望を楽しみます。峠から下山後、車道終点へ下り</b> (徒歩約6時間)。 <b>☐☐ワラス(3,050m)へ</b> (約6時間)。夕食はfolkローレ音楽をお楽しみください。 朝☐☐【ワラス泊 H】
11	ワラス 発 リマ 着/発	☐☐アンタ空港へ。 <b>→リマへ</b> 。歴史地区のカサ・タンボで昼食後、中央広場、大聖堂、サン・フランシスコ教会を見学します。夕食後、☐☐空港へ。リマ発 <b>→北中米經由都市へ</b> 。 朝☐☐【機中泊】
12	北中米經由都市	北中米經由都市で乗り継ぎ <b>→東京へ</b> 。 機☐機☐【機中泊】
13		空路 <b>→東京へ</b> 。 機☐機☐【機中泊】
14	東京 着	東京着。 機☐☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



# アンデス・ブランカ山群トレッキングと ワラス滞在日帰りハイキング 12日間

アンデス山脈の中でも名峰の数々が集中するブランカ山群の2つの谷をテント4泊の行程でトレッキングを楽しめます。短期間ながら毎日名峰が目の前に次々と現れる山岳展望は圧巻です。前半はワラス、カルワスの滞在中、高度順応を図りながらしっかりとトレッキングに備えます。アンデスの最も見応えのある名峰・秀峰群を楽しめる充実のコースです。

発着地 東京

歩行時間
    
宿泊高度
  
健康診断
宿泊施設
  

出発日～帰国日	旅行代金
6 / 3 (水)～ 6 / 14(日)	<b>¥986,000</b>

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約30,800円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- 米国ESTA(ESTA=電子渡航認証システム、実費40USDドル+申請料金4,400円、2026年1月20日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはリマからリマまで同行します。
- 最少催行人数：10人 ● 食事：朝8回、昼8回、タ8回
- 利用予定ホテル：Bクラス以上。リマ/ウィングダム・ブランド・コスタ・デル・ソル・リマ・エアポート カルワス/ホテル・エル・アプエロ ワラス/アンディーノ・クラブ・ホテル
- 一人部屋利用追加料金：●**¥78,000**(ロジ泊、テント泊を除く)
- 利用予定航空会社：アエロメヒコ、デルタ航空、エア・カナダ、アメリカン航空、日本航空、ラム航空、全日空、ユナイテッド航空、アビアンカ航空、ラム航空

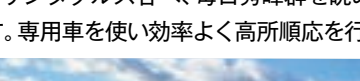
ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※「標高3,800m以上の高所に宿泊するコース」にご参加の場合、所定の健康診断を受けていただきます。健康診断にかかる費用はお客様のご負担となります。

※高山病の影響は個人差はありますが標高3,000m台後半に宿泊する場合から顕著に現れてきます。アルパインツアーでは、皆様の安全なご旅行のために専門医（日本登山医学会・登山者検診ネットワーク）のご協力のもと、所定の高所健康診断システムをとっておりますので、ご協力をお願いいたします。

# ブランカ山群核心部を歩く

華やかなヤングヌコ谷から美しサンタクルス谷へ、毎日秀峰群を眺めながら歩く贅沢なトレッキングです。専用車を使い効率よく高所順応を行い、高所に体を慣らした後にトレッキングを開始します。熟練したガイドが同行し、コックや馬方達のサポートでキャンプ地では快適に過ごす事が出来ます。充実のトレッキングが楽しめることでしょう。



▲右へ、女性群の雄姿を山登る



### ▲ブランカ山群の雄大な山並み

## ブランカ山群

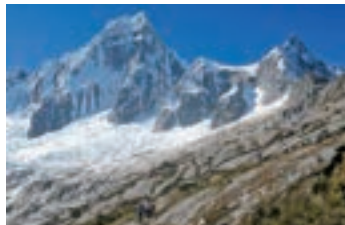
世界最長のアンデス山脈の中でも  
もっとも美しい雪山が密集している  
と言われる山群です。



### ▲ワンツァンの大氷壁を望む

# ユニオン峠

タウリラフ直下のトレッキング最高  
地点(4,750m)。このコースのハイ  
ライトの峠になります。



### ▲トレッキングのハイライト、ウニオン峠越え

## 絶景のキャンプ地

キャンプ地からは眼前に迫力のブランカ山群の山々が迫り、朝焼け、夕焼けの絶景が楽しめます。



▲タウリバンパのキャンプ地から望むタウリラフ

## アンデス屈指の山岳景観

アンデス屈指の大パノラマを誇るヤンガヌコ峠(4,764m)からは氷雪の秀峰群が間近に望める。



▲ヤンガヌコ峠からのワンドイ

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 リマ	発着 午後、東京→北中米經由都市で乗り継ぎ、ペルーの首都リマへ。 ☐機☐【リマ泊 H】
2	リマ ワラス	発着 午前、→国内線でワラスへ。 午後、☐ウィルカコチャ湖へ(約2時間)。素朴な家々が点在し、アンデスの高地ならではの色鮮やかな高山の花々も見られます。着後、→湖畔周辺のハイキングを楽しみます(徒歩約2時間)。 ☐園☐【ワラス泊 H】
3	ワラス 静寂の氷河湖 ラフコルタ湖往復 (高所順応日) カルワス	発着 朝、☐ワラス発。高所順応を兼ねて、特別入域許可が必要な静寂のラフコルタ湖(4,250m)を往復。名峰ワンツァンの大氷壁から氷塊が氷河湖に崩落する光景は圧巻です。その後、☐ワラスより400m低いカルワス(2,650m)へ。 ☐園☐【カルワス泊 L】
4	カルワス プンタ・オリンピカ チュルワルカ	発着 朝、☐ウルタ谷へ(約5時間)。徐々に高度を上げながらプンタ・オリンピカ・トンネル(4,688m)へ。→プンタ・オリンピカ峠(4,894m)へ(徒歩約3時間)。ワスカラン(6,768m)やチョピカルキ(6,354m)などを望みます。 ☐園☐【チュルワルカ泊 T】
5	トレッキング1日目 チュルワルカ ヤングヌコ峠 パリア谷 出合	発着 朝、☐ワスカラン、ワンドイなどをのぞむアンデス屈指の大パノラマが広がるヤングヌコ峠(4,767m)を越えて、チョピカルキを望むヴァケリア(3,700m)へ。→ロバのキャパンと共にトレッキング開始。鋭いチャクララフ東峰を眺め、ゆるやかなワリパンバ谷を進み、ピラミデ、パロンを望むパリア谷の出合(3,800m)へ(徒歩約5時間)。 ☐園☐【パリア谷出合泊 T】
6	トレッキング2日目 パリア谷 出合 タウリパンパ	発着 →タウリラフを仰ぎながら谷をつめ、コースのハイライトのひとつ、ウニオン峠(4,750m)へ。タウリラフ、キタラフなどの雪山と氷河の大パノラマが展開します。広い園谷のタウリパンパ(4,100m)へ下ります(徒歩約8時間)。 ☐園☐【タウリパンバ泊 T】
7	トレッキング3日目 タウリパンパ ヤマコラル	発着 →アルパマヨ、およびキタラフの展望地を経て、湖と草原と林が美しいサンタクルスのU字谷を歩き、ヤマコラル(3,600m)へ(徒歩約7時間)。 ☐園☐【ヤマコラル泊 T】
8	トレッキング4日目 ヤマコラル カシャパンパ ワラス	発着/発着 →ヤマコラルよりカシャパンバ村(2,900m)に下りトレッキング終了(徒歩約3時間)。 ☐専用車でサンタクルスやワイドイなどの雪山を眺めながらワラスへ。 ☐園☐【ワラス泊 H】
9	ワラス リマ	発着/発着 →国内線でリマへ(約1時間)。深夜、リマ発→北中米經由都市へ。 ☐園☐【機中泊】
10	北中米經由都市	着/発 北中米經由都市で乗り継ぎ→東京へ。 ☐機☐機【機中泊】
11		空路→東京へ。 ☐機☐機【機中泊】
12	東京	着 午後、東京着。 ☐☐☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

**新企画** 南米エクアドルの豊かな3つの大自然を体験する究極のアドベンチャー

# エクアドル・アンデスとアマゾン、ガラパゴス諸島ハイキング 16日間

エクアドルは赤道直下の南米の太平洋に面し、アマゾンのジャングル、アンデスの山々、ダーウィンの進化論の舞台となったガラパゴスなど自然の魅力が溢れるところです。エクアドル・アンデスの高地からアマゾンのジャングルを経て、ガラパゴス諸島に上陸。壮大かつ貴重な大自然をハイキングで楽しむ特別企画です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
8/25(火)～9/9(水)	¥2,160,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約79,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはキトからキトまで同行します。
- 最少催行人数：8人(定員8人) ● 食事：朝13回、昼11回、夕10回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上。キト/カーサ・ガンゴテナ コトパクス/チルカバンパ・ロッジ ナボ/ナボ・ワイルドライフセンター サンタクルス島/フィンチ・ベイ・ホテル イザベラ島/イグアナ・クロッシング サンクリストバル島/ゴールデン・ベイ
- 一人部屋利用追加料金：¥582,000(ロッジ泊を除く)
- 利用予定航空会社：ユナイテッド航空、アメリカン航空、デルタ航空、エアカナダ、エアメヒコ、全日空、日本航空、アビアンカ航空、ラタム航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

## アンデスとガラパゴスの大自然探訪

赤道直下に広がるエクアドルにはアンデスの高峰から熱帯雨林のアマゾン、ガラパゴス諸島など豊かな自然が共存しています。初登場の本コースでは、天空の火山景観、生命の鼓動を感じる密林、進化の舞台となった島々を一度に体感します。自然解説に精通したガイドの同行と快適な厳選ロッジやホテルの滞在は大自然の奥深さをじっくり味わう特別な旅を演出してくれます。



▲ 荒々しい姿のガラパゴスのイザベラ島

## アンデス高原ハイキング 進化の島を歩く

赤道直下に連なるエクアドル・アンデス山脈。最高峰コトパクスを眺め、高山植物が咲くトレイルを歩き、澄み切った空気と雄大な火山景観を味わいます。



▲ アンデス高原のロッジとコトパクス山

ガラパゴス諸島では溶岩原や海岸線のトレイルをハイキングします。3つの島に滞在し、固有種の動植物を間近に観察しながら進化の舞台を体感できる貴重な体験です。



▲ イグアナなど間近に観察出来る

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 北中米經由都市 着/発	東京発→北中米經由都市へ。 →乗り継ぎエクアドルへ。深夜、エクアドルのキト着。着後ホテルへ。 日 日 機 【キト泊 H】
2	キト 発 コトパクス国立公園 ハイキング	専用車でコトパクス国立公園へ(約2時間)。★エクアドル・アンデスの雄大な景色を楽しみながらコトパクス火山の山麓をハイキング(徒歩約2時間)。チルカバンパ・ロッジへ。 朝 昼 夕 【コトパクス泊 L】
3	コトパクス国立公園 滞在	キトアへ。★絶景の火口湖として知られるキトアで、神秘的な緑の水をたえる火口湖のハイキング(徒歩約2時間)。帰路、アンデス地域の民俗を表現する絵画などを見学します。 朝 昼 夕 【コトパクス泊 L】
4	コトパクス 発 キト 着 / 発 コカ 着 / 発 ナボ 着	キトへ。→ジャングルの街コカ着。港へ。★熱帯雨林を流れるナボ川をモーター付きのカヌーに乗り、野鳥や動物などアマゾンのジャングルの素晴らしい景色を堪能します。途中、カヌーを乗り換えてナボ・ワイルドライフセンターへ。 朝 昼 夕 【ナボ泊 L】
5	ナボ 滞在 アマゾンハイキング	★色鮮やかな野鳥、巨大な樹木や薬用植物、昆虫などについて専門ガイドの解説を受けながら熱帯雨林のハイキングを楽しみます(徒歩約3時間)。その後、アマゾンの先住民のキチュワ族の集落を訪れ、彼らの日常生活や伝統習慣など先住民の文化に触れます。 朝 昼 夕 【ナボ泊 L】
6	ナボ 滞在 アマゾンハイキング	午前★キャノピー展望台から樹冠の高さでジャングルの素晴らしい景色を楽しみます。午後はさらにジャングル奥地へ。ハイキングで鳥、昆虫、哺乳類、魚類などアマゾン原産の動植物を探索します(徒歩約3時間)。 朝 昼 夕 【ナボ泊 L】
7	ナボ 発 キト 着	港→コカ→キトへ。 朝 日 日 【キト泊 H】
8	キト 発 ガラパゴス諸島 着	キト空港へ。★ガラパゴス諸島の玄関口バルトラ島へ。着後ボートやカヤックなどでガラパゴスの海洋生物たちを観察。その後サンタクルス島へ。 朝 昼 夕 【サンタクルス島泊 H】
9	ガラパゴス諸島 滞在 ガラパゴス諸島	★船で現地ガイドとともにガラパゴス諸島の島々を巡り、進化論の舞台となったガラパゴス諸島の貴重な自然を体験します。(船は混載となる場合があります)。 朝 昼 夕 【サンタクルス島泊 H】
10	ガラパゴス諸島 滞在 ガラパゴス諸島	★イザベラ島へ。★イグアナのコロニーやマングローブの森をハイキング(徒歩約2時間)。午後はティントレラ島へ。この島ではガラパゴス諸島の野生動物のほとんどを見ることが出来ます。 朝 昼 夕 【イザベラ島泊 H】
11	ガラパゴス諸島 滞在 ガラパゴス諸島	午前★世界で2番目に大きな火山クレーターと称されるイザベラ島のシエラネグラ火山(1,124m)のクレーターまで登り、溶岩地帯の荒々しい景色を楽しみながらハイキング(徒歩約6時間)。 朝 昼 夕 【イザベラ島泊 H】
12	ガラパゴス諸島 滞在 ガラパゴス諸島	朝→サンクリストバル島へ。★ホテルに荷物を置いてラ・ロベリア方面へ散策に出かけます。終日のんびりと海岸線や島内をハイキング。 朝 昼 夕 【サンクリストバル島泊 H】
13	ガラパゴス諸島 滞在 ガラパゴス諸島	★船でレオン・ドミンゴやキッカー・ロックなどの沖合の小島を訪れ海の生物を観察します。運が良ければイルカやワジラとの出会いも期待できます。 朝 昼 夕 【サンクリストバル島泊 H】
14	ガラパゴス諸島 発 キト 着	午前、島のビジターセンターを訪れた後、空港へ。→キトへ。着後、国際線に乗り継ぎます。 朝 日 日
15	キト 発	未明にキト発→北中米經由都市へ。北中米經由都市で乗り継ぎ→東京へ。 機 日 機 【機中泊】
16	東京 着	東京着。 機 日 日

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



**新企画** 南米のコーヒーの産地で知られる国の知られざる歴史と自然を巡る旅

# コロンビア驚異の 大自然探訪ハイキング 13日間

南米の北部、太平洋とカリブ海に面したコロンビアは、広大なサバンナ平原、熱帯雨林、驚異的な形を見せる岩山、歴史的な建造物が残る首都ボゴタなど、驚くほど変化に富んだ姿を見せてくれます。欧米や南米での人気は高く、観光立国として急成長を遂げてきた一度は訪れてみたい魅力に溢れた国です。

発着地 東京

歩行時間 

宿泊高度 

宿泊施設 

私がご案内します



水津 幹夫  
(すいづ みさお)

出発日～帰国日	旅行代金
9 / 19(土)～10 / 1(木)	¥1,120,000

●燃料サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約79,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。

●ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはボゴタからボゴタまで同行します。

●最少催行人数：10人 ●食事：朝8回、昼8回、夕9回

●利用予定ホテル：Cクラス以上。ボゴタ/バイセンテナリオ カサ・リベラ・デル・カカオ/カサ・リベラ・デル・カカオ テルマス・デル・ルイス/テルマレス・デル・ルイスホテル ペレイラ/カサ・サン・カルロス カルタヘナ/モンテレイ

●一人部屋利用追加料金：¥78,000(ロッジ泊を除く)

●利用予定航空会社：ユナイテッド航空、アメリカン航空、デルタ航空、エアカナダ、エアメヒコ、全日空、日本航空、アビアンカ航空、ラタム航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※コロンビアの国内線の一部は15kgの荷物制限があり、その区間では荷物が15kg以内に収まるようダッフルバッグなどの別のものをご用意ください。

## コロンビアの秘境をハイキングで巡る

アマゾンとリャノスの境界に広がる密林、雲霧林、高原を自らの足で巡る冒険の旅。太古の岩絵や原始の地形に出会い、緑豊かなコロンビアの大自然と歴史をハイキングで巡り大地の息吹を全身で感じます。産地ならではのコーヒーやカカオ農園での体験も楽しめる魅力溢れる旅です。



▲川底を真っ赤に染めるマカレニア・クラヒゲラ

## 歴史と文化と 自然の出会い

太古の岩絵や伝統的な農園訪問など、訪れる先々でコロンビアの歴史と多様性に富んだ文化に触れながら、ハイキングではその土地の自然や暮らしを知り、肌で感じます。



▲コロンビアの国樹・ワックスヤシ

## 花、野鳥、豊かな 原生の自然

豊富な水が創り出す自然の造形美、固有種の花や植物、世界有数の野鳥の王国など、コロンビアの大自然は、鮮やかな豊かで美しい色調に恵まれています。



▲たくさんのハミングバードが見られる

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 北中米経由都市 着/発	東京発→北中米経由都市へ。 ☐☐機【機中泊】
2	ボゴタ 着	首都ボゴタ(標高約2,600m)着。★午後はボゴタ旧市街の徒歩観光(約4時間)へ。植民地時代の建築などコロンビアの歴史に触れます。 機☐☐【ボゴタ泊 H】
3	ボゴタ 発 サン・ホセ・デル・グアビアレ 着	☐ボゴタ空港へ。→国内線でサン・ホセ・デル・グアビアレへ。☐自然の宝石と称されるトランキランディアへ(約1時間)。★川や滝をめぐりながら水生植物が赤や黄色に染まる幻想的な景観を散策(徒歩約2時間)。 ☐☐☐☐【サン・ホセ・デル・グアビアレ泊 L】
4	グアビアレ 滞在	☐4WD車でジャングル奥地のセロ・スールへ(約3時間)。★洞窟を抜けると約1万年前に描かれた先住民の岩絵が現れ、高台からはアマゾン熱帯雨林とコロンビア平原が交わる壮大な景色を一望(徒歩約3時間)。 ☐帰路、別の壁画ポイントに立ち寄りします。 ☐☐☐☐【サン・ホセ・デル・グアビアレ泊 L】
5	グアビアレ 滞在	☐ボートでグアビアレ川を遊ります。川沿いの岩壁に残る古代壁画群は、先住民の生活を今日に伝えています。午後★グアビアレを象徴する巨大な天然アーチ「オリオンの門」周辺をハイキング(徒歩約2時間)。 ☐☐☐☐【サン・ホセ・デル・グアビアレ泊 L】
6	グアビアレ 発 ペレイラ 着/発 カサ・リベラ・デル・カカオ 着	☐★ロス・トゥネレスと呼ばれる奇岩地帯を散策。長い年月をかけて水と風が削り出した自然の回廊を歩きます(徒歩約2時間)。午後→国内線でボゴタ経由ペレイラへ。着後☐アンデス山麓のカカオ農園のホテルへ(約1.5時間)。 ☐☐☐☐【カサ・リベラ・デル・カカオ泊 H】
7	カサ・リベラ・デル・カカオ 滞在	☐4WD車でエル・シレンシオ雲霧林へ。★ワックスパームが群生する原生林や樹齢250年のオーク林を散策。午後はピハオ村へ下り、コーヒー飲み比べや、焙煎前のカカオから自分だけのチョコレート作りを体験します。 ☐☐☐☐【カサ・リベラ・デル・カカオ泊 H】
8	カサ・リベラ・デル・カカオ 発 テルマレス・デル・ルイス 着	午前、カカオの工房とコーヒー農園を見学。午後☐ネバド・デル・ルイス火山山麓の温泉付きホテルへ。 ☐☐☐☐【テルマレス・デル・ルイス泊 H】
9	テルマレス・デル・ルイス 発 ペレイラ 着	☐ムリジョ高原へ。★パラモ(高山湿原)ハイキング。標高3,700～3,900mを歩きながらルイス山・サンタ・イサベル山・トリマ山を望みます(徒歩約4時間)。 ☐ペレイラへ。 ☐☐☐☐【ペレイラ泊 H】
10	ペレイラ 発 カルタヘナ 着	→カルタヘナへ。着後、★城壁に囲まれた旧市街を徒歩観光。植民地時代の建築、広場、教会を巡り、海賊の歴史とカリブ文化が融合した街を体感します(約4時間)。 ☐☐☐☐【カルタヘナ泊 H】
11	カルタヘナ 発 ボゴタ 着	☐カルタヘナ空港へ。→ボゴタへ。ボゴタで国際線に乗り継ぎ→北中米経由都市へ。 ☐☐☐☐【機中泊】
12	北中米経由都市 着/発	→北中米経由都市で乗り継ぎ→東京へ。 機機機機【機中泊】
13	東京 着	→東京着。 機☐☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲密林で出会う先住民の壁画



▲巨大な岩の天然アーチ「オリオンの門」





大自然が創造した圧巻の景観をめぐる

# アメリカ西部の大自然 グランドサークル・ハイキング 9日間

アメリカ西部のグランドサークルは世界でも類を見ないほどの国立公園が集中しているエリアです。その驚異的な大自然の景観を6日間でめぐり、個性的な造形美をハイキングで堪能します。有名なグランドキャニオンなど、一生に一度は訪れるべきおすすめの場所を、現地在住のツアーリーダーがご案内します。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
5/12(火)～5/20(水)	¥886,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約58,000円)が別途必要です。今後変更となる場合は、ご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- 米国ESTA(エスタ=電子渡航認証システム、実費40USDドル+申請料金4,400円、2026年1月20日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー：(添乗員)東京から東京またはラスベガスからラスベガスまで同行します。
- 最少催行人数：8人 ●食事：朝6回、夕7回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上。カナブまたはハリケーン/コンフォートイン プライスキャニオン周辺/ルビーズイン モアブ/アーチウェイイン ペイジ/BWプラスアット ラスベガス/ルクソール
- 一人部屋利用追加料金：¥152,000
- 利用予定航空会社：エア・カナダ、アメリカン航空、デルタ航空、全日空、ユナイテッド航空、日本航空、ウエストジェット航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

## グランドサークルを巡り、 驚愕の大自然を感じる旅

アメリカ西部の国立公園の代名詞ともいえるグランドサークルを、9日間の日程で4つの国立公園と1つの特別保護区を巡り、余すところなくお楽しみいただきます。緑豊かな渓谷や、西部劇の舞台となったピュート(残丘)、世界最大の峡谷。それぞれ一つとして他と同じ印象を受ける場所はありません。



▲壮大なグランドキャニオン

## ザイオン国立公園 プライスキャニオン国立公園

深い渓谷と巨大な岩壁が特徴的なザイオンは「神々の国」という意味があります。まさに神々が住むにふさわしいような絶景が満喫できる、アメリカでも人気の国立公園です。



▲美しい渓谷ザイオン

ユタ州の南部にあり、自然が作り上げた景観が有名です。そびえ立つ尖塔群の谷底や高台の展望台から、自然の色彩あふれた美しい光景をハイキングで楽しめます。



▲圧巻のプライスカニオン

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 ラスベガス 着/発 カナブまたはハリケーン 着	夕刻、東京発→北米経由都市で乗り継ぎ→ラスベガスへ。着後、専用車でカナブまたはハリケーンへ(約3.5時間)。 機中食【カナブまたはハリケーン泊 H】
2	カナブまたはハリケーン 発 ザイオン国立公園ハイキング プライスカニオン国立公園ハイキング プライスカニオン 着	朝、ザイオン国立公園へ(約1時間)。緑の谷に響く岩壁を仰ぎながら、スカウツルックアウトへのハイキングを楽しみます(徒歩約1時間)。ハイキング後、プライスカニオン国立公園へ(約2時間)。岩の尖塔群が立ち並ぶ中、ハイキングを楽しみます(徒歩約4時間)。 朝食【プライスカニオン泊 H】
3	プライスカニオン 発 アーチーズ国立公園ハイキング モアブ 着	朝、アーチーズ国立公園へ(約6時間)。デリケート・アーチなど大小様々の自然が創り出した岩の芸術品を鑑賞しながらのハイキングをお楽しみください(徒歩5時間)。モアブへ。 朝食【モアブ泊 H】
4	モアブ 発 モニュメントバレー観光 ペイジ 着	朝、モニュメントバレーへ(約4時間)。車を乗り換えて、数々の西部劇の舞台として有名な独特の景観、荒涼とした大地に屹立するピュート(残丘)を眺めながらのドライブをお楽しみください。その後、ホースシューベントのショートハイキング(徒歩約1時間)。ペイジへ(約2時間)。 朝食【ペイジ泊 H】
5	ペイジ 滞在 アンテロープキャニオン パーミリオンクリフ国立モニュメント	朝、アンテロープキャニオンへ(約10分)。鉄砲水と風によって削られた美しく幻想的なアンテロープキャニオンを散策します(徒歩約1時間)。専用車で途中4WD車に乗り換えてパーミリオンクリフ国立モニュメントへ(約2時間)。ダイナミックで不思議な奇岩群の広がるホワイトボケを散策します(徒歩約2時間)。その後、ペイジへ(約2時間)。 朝食【ペイジ泊 H】
6	ペイジ 発 グランドキャニオン国立公園ハイキング グランドキャニオン夕日鑑賞	朝、世界遺産のグランドキャニオンへ(約3時間)。ビューポイントからグランドキャニオンを眺めた後、大峡谷の展望が素晴らしいリム・トレイルを歩きます(徒歩1～2時間)。夕刻、ビューポイントへ。夕焼けに染まるグランドキャニオンの絶景をお楽しみください。 朝食【グランドキャニオン泊 L】
7	グランドキャニオン 発 グランドキャニオン朝日鑑賞 グランドキャニオン国立公園ハイキング ラスベガス 着	早朝、ビューポイントへ。その後、朝焼けに染まる渓谷の大パノラマを満喫。専用車でラスベガスへ(約6時間)。 朝食【ラスベガス泊 H】
8	ラスベガス 発	早朝、ラスベガス発→北米経由都市で乗り継ぎ→東京へ。 機中食【機中泊】
9	東京 着	午後、東京着。 機中食

※航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更される場合があります。

## アーチーズ国立公園 アンテロープキャニオン

雨と風が長い時間をかけ、砂岩の大地を削り出来たアーチ状の岩が、不思議な光景を見せてくれます。その姿は千差万別で、まさに大自然が創り出した岩の芸術品です。



▲ユタ州のシンボルデリケートアーチ

鉄砲水と風の力によって作られたアンテロープキャニオン。壮大で神秘的な景観は見る者を魅了します。赤やオレンジに色を変えるキャニオンの中は美しい迷路です。



▲美しい迷路アンテロープキャニオン

**新企画** 隣接するフランスとイタリア2大山岳国立公園の初夏を楽しむ

# ヴァノワーズ&グラン・パラディーズ展望 フラワーハイキング 9日間

フレンチアルプスを象徴するヴァノワーズ国立公園とグラン・パラディーズ国立公園への山旅です。石灰岩の大岩壁、高山の草原、山岳峠など、花咲くパノラマトレイルでフラワーハイキングを楽しみながら、フレンチアルプスを代表する山々の眺望を満喫。イタリアに入り、氷河によって削られた谷、広大な高山台地、グラン・コレへのハイキングも楽しめます。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
7/8(水)～7/16(木)	¥748,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約83,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはジュネーブからジュネーブまで同行します。
- 最少催行人数：10人 ●食事：朝6回、昼5回、夕6回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上。プラロニャン・ラ・ヴァノワーズ/ペペ・ギュスト
- 一人部屋利用追加料金：¥96,000
- 利用予定航空会社：エミレーツ航空、カタール航空、ターキッシュエアラインズ

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

## 憧れのフレンチアルプスと グラン・パラディーズ

フランスのヴァノワーズとイタリアのグラン・パラディーズの2つの国立公園の人気山岳リゾートに連泊しながら石畳の小道や爽やかな高原を歩く初夏のフラワーハイキングを楽しめます。コンパクトな日程でも毎日の絶景と郷土料理を堪能しながら、素朴な滞在を満喫できる一度は訪れてみたいアルプスです。



▲ヴァノワーズ峠より迫力のグラン・カッス

## 2つの国立公園

フランス・ヴァノワーズ国立公園とイタリア・グラン・パラディーズ国立公園を一度にめぐる贅沢な行程。国境を越えて変化する山岳風景とフラワーウォッチングを楽しめます。



▲プラロニャン・ラ・ヴァノワーズ峠へと続く谷

## 名峰を望む絶景ハイク

グランド・カッスやグラン・パラディーズなど4,000m級の名峰を間近に望む展望ハイキングが続きます。記憶に残るアルプスらしい、氷雪の山々の景観が魅力です。



▲アルプス・アイベックスとグラン・パラディーズ

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	夜、✈中東経由都市へ。 ☐☐機【機中泊】
2	中東経由都市 着/発 ジュネーブ 着	朝、ジュネーブ着✈フランス・アルプスの山岳リゾート、プラロニャン・ラ・ヴァノワーズへ(約3時間)。ヴァノワーズ国立公園の玄関口に位置する美しい村です。 機☐☐【プラロニャン・ラ・ヴァノワーズ泊 H】
3	ティラナ 発 ヴァノワーズ 国立公園ハイキング プラロニャン・ラ・ ヴァノワーズ 着	✈専用車で登山口へ移動後、✈リフトを利用して標高を上げ、ヴァノワーズ国立公園を代表するハイキングコースへ。✈石畳が美しい「ラック・デ・ヴァッシュ」を越え、ヴァノワーズ峠小屋を目指します。正面にはグランド・カッス(3,855m)の雄姿が広がります(徒歩約5時間)。 朝☐☐【プラロニャン・ラ・ヴァノワーズ泊 H】
4	プラロニャン・ラ・ ヴァノワーズ 滞在 ヴァノワーズ 国立公園ハイキング	✈専用車で登山口へ。✈ヴァレット峠(2,585m)を目指して登ります。ヴァノワーズ山群の名峰群を望む大パノラマの縦走路は、このコース屈指の絶景ルートです(徒歩約6時間)。 朝☐☐【プラロニャン・ラ・ヴァノワーズ泊 H】
5	プラロニャン 発 国境の峠越え ボン 着	✈専用車で国境の峠プチ・サン・ベルナル峠を越え、イタリア・グラン・パラディーズ国立公園へ(約3時間)。 ✈ヴァットリオ・エマヌエーレ2世小屋方面へハイキング。森林帯から高山帯へと変化する自然を楽しめます(徒歩約5時間)。 朝☐☐【ボン泊 L】
6	ボン 滞在 グラン・パラディーズ 展望ハイキング	✈ボンの村から歩き始め、広大なニヴォレ渓谷を経てグラン・コレ(2,832m)へ。正面にはグラン・パラディーズ(4,061m)の堂々たる姿が広がります。往路を下山(歩行約6時間)。 朝☐☐【ボン泊 L】
7	ボン 滞在 グラン・パラディーズ 展望ハイキング	✈クローシェ・デッラ・アロレイを経て、高山草原と展望トレイルを歩く最終ハイキング。グラン・パラディーズ主峰を望む絶好の展望地へ(徒歩約6時間)。下山後、街でゆったりとした時間をお過ごしください。 朝☐☐【ボン泊 L】
8	ボン 発 ジュネーブ 着/発	✈専用車でジュネーブへ。 ジュネーブ発✈中東経由都市へ。 朝☐☐【機中泊】
9	中東経由都市 発 東京 着	中東経由都市で乗り継ぎ✈東京へ。 機機☐

※航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更される場合があります。

## 快適なホテル滞在

高い評価を受けているホテルやオーベルジュに連泊します。しっかりと休養を取りながら、無理なくハイキングを楽しめる滞在型の行程なのもおすすめです。



▲雲間気あるオーベルジュに宿泊

## 食と文化も堪能

フランス料理とイタリア料理、両国の山岳郷土料理を味わえるのもこのコースの魅力。雄大なフレンチアルプスの自然はもちろん、文化や暮らしの違いも体感できる旅です。



▲500年以上続くアルプでの酪農、チーズは欠かせない



**新企画** 国境に連なる荒々しくも美しい3つの山岳国立公園

# フレンチアルプス&グラン・パラディーズ パノラマたっぷりハイキング 12日間

フレンチアルプスの3つの国立公園を巡り、氷河、天を突く鋭い岩峰、そそり立つ岩壁、広大な高地高原、そして静かな山上湖を巡るパノラマハイキングの旅です。昔ながらの素朴な雰囲気、村々や、野生動物との出会いも楽しみ。フランスとイタリアの国境をまたぎ、変化に富んだ景観と壮大な山岳風景をたっぷり満喫する山旅です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
9 / 2 (水)～9 / 13(日)	¥982,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約72,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはジュネーブからジュネーブまで同行します。
- 最少催行人数：10人 ●食事：朝9回、昼8回、夕9回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上。ヴァーラル・ダレーヌ/レ・アニョー プラロニャン・ラ・ヴァノワーズ/ペペ・ギュスト
- 一人部屋利用追加料金：¥126,000(テント泊を除く)
- 利用予定航空会社：エミレーツ航空、カタール航空、ターキッシュエアラインズ



ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

## フレンチアルプスとイタリア初の国立公園

エクラン、ヴァノワーズ、グラン・パラディーズ。フランスとイタリアにまたがる三大国立公園を舞台に、氷河を望む高原歩きから静かな山上湖と名峰の大パノラマを楽しむ峠越えまで、アルプスの魅力を凝縮したコースです。快適なホテル泊でじっくり味わう12日間のハイキング。



▲ラ・メイジュ(3,983m)を望む

## エクラン 国立公園

フランス南東部のアルプスに広がる国立公園。ラ・メイジュやパール・デ・ゼ克蘭など4,000m級の名峰と氷河群が特徴で、野生的な景観が色濃く残ります。



▲高峰と氷河が特徴のエクラン国立公園

## ヴァノワーズ 国立公園

最高峰グランド・カスを望む展望や石灰岩の山並み、広々とした高原、点在する高山湖が織りなす穏やかな景観が魅力。歩いてこそ味わえるアルプスの原風景が広がります。



▲迫力ある山々が迫るヴァノワーズ国立公園

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	夜、中東経由都市へ。   【機中泊】
2	中東経由都市 着/発 ジュネーブ 着/発 ヴァーラル・ダレーヌ 着	ジュネーブ着  専用車でエクラン山塊の玄関口、アルプスの山村ヴァーラル・ダレーヌへ(約3時間)。   【ヴァーラル・ダレーヌ泊】
3	ヴァーラル・ダレーヌ 滞在 エンバリ高原 ハイキング	専用車でシャズレ村へ。▲標高1,740mから歩き始め「エンバリ高原」を巡ります。ラ・メイジュ(3,983m)やエクラン山群を正面に望み、高山湖をめぐる絶景のハイキングです(徒歩約7時間)。   【ビラル・ダレーヌ泊】
4	ヴァーラル・ダレーヌ 滞在 エクラン国立公園 ハイキング	専用車でエクラン国立公園へ。▲パール・デ・ゼ克蘭(4,102m)を望みながら、Mt.ペルプ(3,946m)など壮大なパノラマを堪能できるエクランの展望台(標高2,445m)へ(徒歩約4時間)。  ヴァーラル・ダレーヌへ。   【ヴァーラル・ダレーヌ泊】
5	ヴァーラル・ダレーヌ 発 ラ・メイジュ 展望ハイキング プラロニャン・ラ・ ヴァノワーズ 着	ラ・メイジュ展望台(3,211m)へ。間近に迫るジローズ氷河の展望を楽しんだ後、▲ラ・メイジュ(3,983m)北壁を眺めながら中間駅(2,416m)までハイキングで下ります(徒歩約2時間)。ロープウェイで下山後、 専用車でプラロニャン・ラ・ヴァノワーズへ(約4時間)。   【プラロニャン・ラ・ヴァノワーズ泊】
6	プラロニャン・ラ・ ヴァノワーズ 滞在 ヴァノワーズ山群 展望ハイキング	登山口レ・プリウ(1,710m)へ。▲ヴァレット峠(2,585m)へ。グランド・モット(3,653m)やエギーユ・ド・ボルセ(3,528m)を望みながら下山(徒歩約6時間)。   【プラロニャン・ラ・ヴァノワーズ泊】
7	プラロニャン・ラ・ ヴァノワーズ 滞在 プチ・モン・ブラン登頂	レ・プリウ(1,710m)へ。▲コル・デュ・モーヌ(2,533m)を経てプチ・モン・ブラン山(2,677m)頂へ。アルプス最高峰モンブランを遠望できます。(徒歩約7時間)。   【プラロニャン・ラ・ヴァノワーズ泊】
8	プラロニャン・ラ・ ヴァノワーズ 発 ヴァノワーズ峠ハイキング ボン 着	レ・フォンタネルへ。▲標高約2,000mへ。▲石畳で有名なラック・デ・ヴァッシュを渡り、ヴァノワーズ峠小屋(2,515m)へ(徒歩約4.5時間)。  グラン・パラディーズ国立公園の山村ボンへ。   【ボン泊】
9	ボン 滞在 グラン・パラディーズ 展望ハイキング	▲ニヴォレ谷の急登をグラン・コレット(2,832m)へ。グラン・パラディーズ(4,061m)の大展望が待っています(徒歩約6時間)。   【ボン泊】
10	ボン 滞在 グラン・パラディーズ 展望ハイキング	▲草原を横切るバルコニートレイルをグラン・パラディーズ(4,061m)を正面に望む展望地(2,620m)へ(徒歩約5.5時間)。   【ボン泊】
11	ボン 発 ジュネーブ 着/発	専用車でジュネーブへ。ジュネーブ発  中東経由都市へ。   【機中泊】
12	中東経由都市 着/発 東京 着	中東経由都市で乗り継ぎ  東京へ。   【機中泊】

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## グラン・パラディーズ 国立公園

イタリア初の国立公園で、4,000m峰グラン・パラディーズを擁します。広大な高山草原と氷河、深い谷が調和し、アイベックスなどの野生動物にも出会える自然豊かなエリア。



▲変化に富んだグランパラディーズ国立公園

## 国境を越える 縦走ルート

フランスからイタリアへ。峠を越えて国境をまたぐアルプス縦走ならではの達成感が味わえるハイキング。フランスとイタリアの文化や雰囲気の変化も楽しめます。



▲名峰の大パノラマが楽しめる

# ツール・ド・モンブラン・トレッキング 10日間

4つの峠を越えて、5つの谷を結ぶ、大人気のツール・ド・モンブラン・トレッキングへご案内します。フランス、イタリア、スイスをめぐり、峠から峠へと高度差400mから1,500mを登降する健脚向きのコースです。迫力の氷河、お花畑、雄大な名峰など変化に富む景観をお楽しみください。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金	出発日～帰国日	旅行代金
残6 7/5(日)～7/14(火)	¥826,000	8/2(日)～8/11(火)	¥842,000
7/19(日)～7/28(火)	¥836,000		

- 燃料サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約83,000円)が別途必要です。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはジュネーブからジュネーブまで同行します。
- 最少催行人数：10人 ●食事：朝7回、昼5回、夕6回
- 利用予定ホテル：Bクラス以上。シャモニ/パークホテルスイス、レ・プリオレ クールマイユール/ホテルパルト
- 一人部屋利用追加料金：¥122,000(山小屋泊を除く)
- 利用予定航空会社：エミレーツ航空、カタール航空、ターキッシュエアラインズ、エティハド航空

※このコースは日本での山小屋縦走(夏山)程度の体力が必要です。

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※天候・残雪の状況やご参加者のコンディションによっては、コースを変更して代替ルートやエスケープ・ルートをとったり、コースの一部を割愛・省略することがあります。これらの決定に際してはツアーリーダー及び現地ガイドの判断と指示に従っていただきますようお願いを申し上げます。

- トレッキングには、ツアーリーダーと現地トレッキング・ガイドが同行します。山小屋は寝具・食事つき。
- トレッキング中、着替えや使用済み衣類を、以下の通りに回送します。衣類を入れるための袋・バッグを1つご用意ください。スーツケース類はシャモニへ置いていきます。
- ・4日目の朝：シャモニのホテル → 5日目のクールマイユールのホテルへ。
- ・6日目の朝：クールマイユールのホテル → 7日目のトリアンの山小屋へ。
- ・8日目の朝：トリアンの山小屋 → 8日目のシャモニのホテルへ。

## 世界的に人気の3か国周遊トレッキング

アルプス最高峰モンブランを盟主とするモンブラン山群。このモンブラン山群を一周するトレッキングコースは「ツール・ド・モンブラン」と呼ばれ、フランス、イタリア、スイス3か国の国境の峠を歩いて越える、変化に富んだ山岳コースです。一日の登りが高度差400mから1,300m、下りが高度差800mから1,500mで、こうした登り、下りが5日間続きますので、夏の日本アルプスでの縦走をこなせる体力が必要です。アルパインツアーではご参加者が背負う荷物の量を減らすため、トレッキング中に荷物の回送サービスを行います。各山小屋は、寝具・食事付きですので、背負って歩くのは着替えや個人装備とその日の昼食です。なお、シーズンの初めには、峠付近などに部分的に残雪があります。



▲シーズンには多くの花が見られるツール・ド・モンブラン。お花畑の中を、セーニュの科尔へと登る

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 中東經由都市 着	夜、東京発→中東經由都市へ。 ☐☐機【機中泊】
2	中東經由都市 発 ジュネーブ 着/発 シャモニ 着	中東經由都市で乗り継ぎ→ジュネーブへ。 ☞専用車でフランスのシャモニ(1,036m)へ(約1.5時間)。 ☐☐☐☐【シャモニ泊 H】
3	シャモニ 滞在 エギーユ・デュ・ミディ展望台 シャモニ針峰群展望ハイキング	シャモニ観光のハイライト、☞エギーユ・デュ・ミディ展望台(3,842m)へ。モンブランをはじめとした名峰を望みます。その後、中間駅(2,310m)へ下り、☞シャモニ針峰群の中腹をグランドジョラス北壁や尖峰ドリユ、メール・ド・グラス氷河を眺めながら、モンタンベール(1,909m)までハイキング(徒歩約4時間)。その後、☞シャモニへ。 ☐☐☐☐【シャモニ泊 H】
4	シャモニ 発 トレッキング1日目 エリザベッタ小屋 着	☞専用車でグラシエ村(1,789m)へ。☞ここから登り始めセーニュの科尔(2,516m)を越えて、エリザベッタ小屋(2,258m)へ(徒歩約5時間)。 ☐☐☐☐【エリザベッタ小屋泊 H】
5	エリザベッタ小屋 発 トレッキング2日目 クールマイユール 着	☞コンバル湿原(2,000m)へ下り、ここから急登を峠(2,420m)へ。モンブランからグランドジョラスまでイタリア側の展望のハイライトが続く道をシェクルイの科尔(1,956m)へ(徒歩約5時間)。クールマイユールへ下ります。 ☐☐☐☐【クールマイユール泊 H】
6	クールマイユール 発 トレッキング3日目 ボナッティ小屋 またはエレナ小屋 着	☞ベルトーネ小屋(2,000m)を経由しボナッティ小屋(2,022m)を目指します。グランドジョラスの展望が素晴らしいコースです(ボナッティ小屋泊の場合徒歩約5.5時間/エレナ小屋泊の場合徒歩約8時間)。山小屋でも静寂のひとつときをお過ごしください。 ☐☐☐☐【ボナッティ小屋またはエレナ小屋泊 H】
7	ボナッティ小屋 またはエレナ小屋 発 トレッキング4日目 トリアン 着	☞モンドラン(3,823m)を仰ぐフェレ谷のエレナ小屋まで下り、イタリア/スイス国境にある好展望のフェレの科尔(2,537m)へ登ります。その後スイス側のラ・フリー村まで下ります(前日にボナッティ小屋泊の場合徒歩約7時間/エレナ小屋泊の場合徒歩約4時間)。 ☞専用車でトリアン(1,300m)の山小屋へ。 ☐☐☐☐【トリアン泊 H】
8	トリアン 発 トレッキング5日目 シャモニ 着	☞トレッキング最後の峠でスイス/フランス国境のバルムの科尔(2,191m)へ。シャモニ谷とモンブラン山群、メール・ド・グラス氷河などのパノラマ展望をお楽しみください(徒歩約4時間)。 ☞リフトとゴンドラで、ル・トゥールへ。☞路線バスでシャモニへ。着後、シャモニの街でお過ごしください。 ☐☐☐☐【シャモニ泊 H】
9	シャモニ 発 ジュネーブ 着/発 中東經由都市 着	早朝、☞ジュネーブへ。午前、ジュネーブ発→中東經由都市へ。 ☐☐☐☐【機中泊】
10	中東經由都市 発 東京 着	中東經由都市で乗り継ぎ→東京へ。夕刻、東京着。 ☐☐☐☐

※航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更される場合があります。

## セーニュの科尔を越えて 展望のシェクルイの科尔

グラシエ村からスタートし気持ちよい高原をエリザベッタ小屋へ。



▲エリザベッタ小屋へと歩く

イタリア側から迫力のモンブラン山群を眺めクールマイユールへ。



▲モンブランの迫力ある南面を眺めながら、シェクルイの科尔へ



大人気のツール・ド・モンブランをしっかりと歩く

# ツール・ド・モンブラン・トレッキング・スペシャル 12日間

10日間コースよりもさらにツール・ド・モンブランを完全踏破により近い形で歩き、計7日間のトレッキングを楽しめます。スイス側では、のどかな牧草地と森の中を、シャンペからトリアンまで歩き、フランス側ではシェズリー湖、ラックブランなど、絶景の山上湖を繋ぎながら歩く出発日限定の特別企画です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
7/19(日)～7/30(木)	¥928,000

お問合せ  
ください

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在: 目安約83,000円) が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員): 東京から東京またはジュネーブからジュネーブまで同行します。
- 最少催行人数: 8人 ● 食事: 朝9回、昼8回、夕8回
- 利用予定ホテル: Bクラス以上。シャモニ/パークホテルスイス、レ・プリオレ、レ・リレクールマイユール/ホテルベルト アルジャンティエール/ラ・クーロンヌ
- 一人部屋利用追加料金: ¥166,000 (山小屋泊を除く)
- 利用予定航空会社: エミレーツ航空、エティハド航空、カタール航空、ターキッシュエアラインズ

※このコースは日本での山小屋縦走(夏山)程度の体力が必要です。

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※天候・残雪の状況やご参加者のコンディションによっては、コースを変更して代替ルートやエスケープ・ルートをとったり、コースの一部を割愛・省略することがあります。これらの決定に際してはツアーリーダー及び現地ガイドの判断と指示に従っていただきますようお願いを申し上げます。

- トレッキングには、ツアーリーダーと現地トレッキング・ガイドが同行します。山小屋は寝具・食事付き。
- トレッキング中、着替えや使用済みの衣類を、以下の通りに回送します。衣類を入れるための袋・バッグを1つご用意ください。スーツケース類はシャモニへ置いていきます。
  - ・ 4日目の朝にシャモニのホテルから、5日目に宿泊するクールマイユールのホテルへ。
  - ・ 6日目の朝にクールマイユールのホテルから、7日目に宿泊するシャンペの山小屋へ。
  - ・ 8日目の朝にシャンペの山小屋から、8日目に宿泊するトリアンの山小屋へ。
  - ・ 9日目の朝にトリアンの山小屋から9日目に宿泊するアルジャンティエールのホテルへ。
  - ・ 10日目の朝にアルジャンティエールのホテルから、10日目に宿泊するシャモニのホテルへ。

## ツール・ド・モンブランをより充実した日程で楽しむ

ツールドモンブランの10日間コースに比べて、3カ国それぞれでより時間を取り、魅力あふれるトレイルを楽しむ健脚向けの内容です。イタリア側では、モンブラン山群の迫力ある南面を展望する絶景のトレイルを2日間かけて歩き、スイス側ではのどかな牧草地と森を抜けて峠を越え、フランス側ではバルムのコルを越えてから、翌日ラックブランへとモンブランに直面するトレイルを歩きます。盟主モンブランと荒々しいシャモニ針峰群を一望にするこの最後の区間こそ、雄大なツール・ド・モンブランのフィナーレを飾るのにふさわしい、素晴らしい一日となるでしょう。



▲ 迫力あるモンブランの南面を眺めながらシュクルイのコルへ



▲ グラシエ谷の絶景を楽しみながらセーニユのコルへ

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	夜、東京発→中東経由都市へ。    【機中泊】
2	ジュネーブ 着/シャモニ 着	中東経由都市着→乗り継いでスイスのジュネーブへ。午後、 専用車でフランスのシャモニへ。   【シャモニ泊 H】
3	シャモニ 滞在 エギーユ・デュ・ミディ展望台 シャモニ針峰群展望ハイキング	シャモニ観光のハイライト、 エギーユ・デュ・ミディ展望台(3,842m)へ。ヨーロッパ最高峰モンブラン(3,842m)をはじめとしたモンブラン山群のパノラマ景色をお楽しみください。その後、中間駅(2,310m)へ下り シャモニ針峰群の中腹をグランドジョラス北壁や尖峰ドリユ、メールドグラス氷河を眺めながら、モンタンペール(1,909m)までハイキング(徒歩約3時間)。その後、 シャモニへ。   【シャモニ泊 H】
4	シャモニ 発 トレッキング1日目 エリザベッタ小屋 着	専用車でグラシエ村(1,789m)へ。 ここから登りはじめフランス/イタリア国境のセーニユのコル(2,516m)を越えて、イタリア側へ入り、モンブラン山群の急登を登りながらモンブラン、グランドジョラスなどを望みます。ヴェニの谷を下りエリザベッタ小屋(2,258m)へ(徒歩約5時間)。   【エリザベッタ小屋泊 H】
5	エリザベッタ小屋 発 トレッキング2日目 クールマイユール 着	モンブランからグランドジョラスまでイタリア側の展望のハイライトが続く道をシュクルイのコル(1,956m)へ(徒歩約5時間)。クールマイユールへ下ります。   【クールマイユール泊 H】
6	クールマイユール 発 トレッキング3日目 エレナ小屋 着	標高差約800mを登りベルトネ小屋(2,000m)へ。さらに山腹の好展望のトレイルをグランドジョラスを眺めながらエレナ小屋(2,061m)へ(徒歩約8時間)。   【エレナ小屋泊 H】
7	エレナ小屋 発 トレッキング4日目 シャンペ 着	フェレの谷へと一旦下り、 路線バスにてアルヌーバ(1,800m)へ。 モンドラン(3,823m)を仰ぐフェレ谷のエレナ小屋まで下り、イタリア/スイス国境にある好展望のフェレのコル(2,537m)へ登ります。その後スイス側のラ・フリーまで下ります(徒歩約6時間)。 シャンペ(1,477m)へ。   【シャンペ小屋泊 H】
8	シャンペ 発 トレッキング5日目 トリアン 着	スイスらしいのどかな牧草地を歩き、ボバンからはローヌ谷を望めます。トリアン(1,280m)へ下ります(徒歩約7時間)。   【トリアン小屋泊 H】
9	トリアン 発 トレッキング6日目 トレ・ル・シャン 着/アルジャンティエール 着	スイス/フランス国境の好展望のバルムのコル(2,191m)を経て、モンブラン山群の絶景を望みながらトレ・ル・シャンまで歩きます(徒歩約7時間)。 トレ・ル・シャンから路線バスでアルジャンティエールへ。   【アルジャンティエール泊 H】
10	アルジャンティエール 発 トレッキング7日目 シャモニ 着	赤い針峰群列を歩きます。コル・デ・モンテ(1,461m)からモンブラン山群を映す美しいシェズリー湖、ラックブラン(2,352m)を経由し、フレジェール(1,877m)へ下ります(徒歩約5時間)。 ゴンドラでシャモニへ。   【シャモニ泊 H】
11	シャモニ 発 ジュネーブ 着/発	午前、 ジュネーブへ。午後、ジュネーブ発→中東経由都市で乗り継ぎ→東京へ。   【機中泊】
12	東京 着	夕刻、東京着。

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲ バルムのコルからは見慣れたモンブランの姿を望むことができる



▲ 豊かな自然の中でのピクニックランチ

ツール・ド・モンブラン  
ゆったりトレッキング 12日間

**発着地** 東京・大阪

歩行時間
    
宿泊高度
  
宿泊施設
 

出発日～帰国日	旅行代金
6 / 22(月)～ 7 / 3 (金)	¥892,000

私のご案内します



中島 政男  
(なかじま まさお)

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※天候・残雪の状況やご参加者のコンディションによっては、コースを変更して代替ルートやエスケープ・ルートをとったり、コースの一部を割愛・省略することがあります。これらの決定に際してはツアーリーダー及び現地ガイドの判断と指示に従っていただきますようお願いを申し上げます。

- トレッキングには、ツアーリーダーと現地トレッキング・ガイドが同行します。山小屋は寝具・食事つき。
- トレッキング中、着替えや使用済み衣類を、以下の通りに回収します。衣類を入れるための袋・バッグを1つご用意ください。スーツケース類はシャモニへ置いていきます。
- ・4日目の朝：シャモニのホテル → 7日目のクールマイユールのホテルへ。
- ・8日目の朝：クールマイユールのホテル → 10日目のシャモニのホテルへ。

## 3カ国周遊トレッキング

フランス、イタリア、スイスの3カ国にまたがり、モンブラン山群を一周する雄大なロングトレイル「ツール・ド・モンブラン」。3カ国それぞれの魅力あふれるトレイルを楽しむ内容です。フランス側では、山岳景観の広がるボンノム小屋に宿泊します。山上でむかえる朝夕のひとつときはアルプスのトレッキングを印象づけることでしょう。イタリア側のモッテ小屋にも宿泊しクールマイユールではホテルに宿泊して休養をとります。スイス側では牧草地と森の中をシャンペからトリアンまでを歩きます。シャモニ針峰群を一望するフレジュール小屋にも宿泊します。



▲モンブラン山群の絶景を楽しみながらのトレッキング

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京・大阪 発	夜、東京、大阪発→中東經由都市へ。 機④【機中泊】
2	中東經由都市 着/発 ジュネーブ 着/発 シャモニ 着	未明、中東經由都市にて乗り継いで→スイスのジュネーブへ。午後、専用車でフランスのシャモニへ。 機④⑤【シャモニ泊 H】
3	シャモニ 滞在 エギーユ・デュ・ミディ 展望台 シャモニ針峰群展望 ハイキング	シャモニ観光のハイライト、 <b>エギーユ・デュ・ミディ展望台</b> (3,842m)へ。その後、中間駅(2,310m)へ下り <b>シャモニ針峰群の中腹をグランドジョラス北壁や尖峰ドリユ、メル・ド・グラス氷河を眺めながら、モンタンベール(1,909m)までハイキング</b> (徒歩約3時間)、その後、登山電車でシャモニへ。 朝④⑤【シャモニ泊 H】
4	トレッキング1日目 シャモニ 発 ノートルダム・ド・ラ・ゴルジュ 着/発 ボンノム小屋 着	朝、専用車で山群西面のノートルダム・ド・ラ・ゴルジュ(1,250m)へ。 <b>「ツール・ド・モンブラン」トレッキングの始まりです。谷筋から高度差約1,100m登って、ボンノムのコル(2,329m)へ。斜面をトラバースレクロワ・デュ・ボンノムのコル(2,479m)を越えてボンノム小屋(2,433m)へ。</b> 朝④⑤【ボンノム小屋泊 H】
5	トレッキング2日目 ボンノム小屋 発 シャピュー 着/発 モッテ小屋 着	天候が許せば、朝、 <b>小屋の周辺にある展望ピーク、テート・ノルテ・デ・フー(2,756m)に上り、その後コル・ド・フー(2,665m)を越えて小さな沢をいくつか横切りながら下りグレッシャ村(1,789m)へ。ここからゆるい谷を登りモッテ小屋(1,870m)へ。</b> 朝④⑤【モッテ小屋泊 H】
6	トレッキング3日目 モッテ小屋 発 メゾン・ビエイエ小屋 着	朝 <b>急斜面を高度差約700mを登って、フランス/イタリア国境のセーニュのコル(2,516m)へ。モンブラン山群のイタリア側の大パノラマが開けます。その後コンバル湿原(2,000m)からメゾン・ビエイエ小屋(1,950m)へ。</b> 朝④⑤【メゾン・ビエイエ小屋泊 H】
7	メゾン・ビエイエ小屋 発 トレッキング4日目 クールマイユール 着	朝 <b>メゾン・ビエイエ小屋から約3時間の下りのハイキングでクールマイユール(標高1,225m)へ。</b> 下山後、天気が良ければご希望者をイタリアの展望台エルブロンネル(3,462m)にご案内します。 朝④⑤【クールマイユール泊 H】
8	トレッキング5日目 クールマイユール 発 シャンペ 着	午前、クールマイユールより <b>路線バスにてアルヌーバ(1,800m)へ。アルヌーバより、イタリア/スイスの国境にあるフェレのコル(2,537m)を越えて、フェレ(1,700m)へ(徒歩約5時間)。</b> 専用車にてフェレよりシャンペ(1,477m)へ。 朝④⑤【シャンペ泊 H】
9	トレッキング6日目 シャンペ 発 トリアン 着/発 フレジュール小屋 着	朝、専用車で山群北端のトリアン(1,300m)へ。 <b>スイス/フランス国境にあり、好展望のバルムのコル(2,191m)を越えル・トゥールへ。その後バスでレ・プラへ。ケーブルでフレジュール小屋(1,877m)へ。</b> 朝④⑤【フレジュール小屋泊 H】
10	トレッキング7日目 フレジュール小屋 発 ブラン・プラ 着/発 シャモニ 着	朝、 <b>モンブラン山群を望みながらパノラマコースをブラン・プラへ。その後、ケーブルでシャモニへ。</b> シャモニ到着後、自由行動。 朝④⑤【シャモニ泊 H】
11	シャモニ 発 ジュネーブ 着/発 中東經由都市 着/発	朝、専用車でジュネーブ空港へ。午前、ジュネーブ発→中東經由都市帰国の途へ。 朝④機④【機中泊】
12	東京・大阪 着	夕刻、東京・大阪着。 機④機④

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



モンブラン山麓からマッターホルン山麓へ、“オートルート”を歩く

# オートルート・トレッキング シャモニからツェルマットへ 12日間

アルプス最高峰モンブランの山麓シャモニから名峰マッターホルンの山麓ツェルマットへと歩く“オートルート(高い道)”のハイライトを5泊6日で歩きます。氷河を目にする絶景の山小屋に泊まり、アルプスの谷と峠越えの変化に富んだトレッキングは、日本で山小屋縦走程度の体力が必要な健脚向きのコースです。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
7/23(木)～8/3(月)	¥1,100,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在:目安約83,000円)が別途必要です。
- ツアーリーダー(添乗員):東京から東京またはジュネーブからジュネーブまで同行します。
- 最少催行人数:10人 ●食事:朝9回、昼6回、夕8回
- 一人部屋利用追加料金:¥133,000(山小屋とロッジ泊を除く)
- 利用予定ホテル:Bクラス以上。シャモニ/ヘリオピクス、ル・リレ、ル・プリウレ アローラ/グランド・クアハウス、グレースーホテル ツェルマット/サラゼナ他同等クラス
- 利用予定航空会社:エミレーツ航空、カタール航空、ターキッシュエアラインズ、エティハド航空

※このコースは日本での山小屋縦走(夏山)程度の体力が必要です。

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※天候・残雪によっては、コースを変更して代替ルートやエスケープ・ルートをとったり、コースの一部を割愛・省略することがあります。こちらの決定に際してはツアーリーダー及び現地ガイドの判断と指示に従っていただきますようお願いを申し上げます。

- トレッキングには、ツアーリーダーと現地トレッキング・ガイドが同行します。山小屋は寝具・食事つき。
- トレッキング中、スヌーツケース類を、以下の通りに別送します。
- ・4日目の朝:シャモニのホテル → 5日目のアローラのロッジへ。
- ・6日目の朝:アローラのロッジ → 7日目のツィナールのロッジへ。
- ・8日目の朝:ツィナールのロッジ → 9日目のツェルマットのホテルへ。



▲ピーニャ・ダローラ(3,790m)を間近に見る



▲モアリー氷河を背にソルボアへと歩く

## オートルートの山小屋案内

4日 ディス小屋(スイス) 6日 モアリー小屋(スイス)



▲絶景に囲まれたディス小屋で、楽しいひとときを過ごします。



▲ガラス張りのダイニングから居ながらにして氷河を眺めることができます。



▲シャモニ針峰群の中腹を歩きモンタンバールへ



▲グラン・ムンテ小屋周辺からのオーバーガーベルホルン(4,063m)

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 中東經由都市 着	夜、東京(成田)発→中東經由都市へ。 ☐☐機【機中泊】
2	中東經由都市 発 ジュネーブ 着/発 シャモニ 着	中東經由都市で乗り継ぎ→ジュネーブへ。 ☞専用車でフランスのシャモニへ(約1.5時間)。 機☐☐【シャモニ泊 H】
3	シャモニ 滞在 エギーユ・デュ・ミディ展望台 シャモニ針峰群展望台ハイキング	☞モンブラン他、大パノラマが期待できるエギーユ・デュ・ミディ展望台(3,842m)へ。その後、☞中間駅(2,310m)へ下り、☞シャモニ針峰群の中腹をグランドジョラス北壁や尖峰ドリリュ、メール・ド・グラス氷河を眺めながら、モンタンバール(1,909m)までハイキング(徒歩約4時間)。その後、☞シャモニへ。 朝☐☐☐【シャモニ泊 H】
4	シャモニ 発 ディス湖 着/発 トレッキング1日目 ディス小屋 着	朝、☞専用車で国境を越えてスイスへ入り、ディクソンスへ。☞ロープウェイでダム湖のディス湖(2,364m)へ。 ☞ディス湖沿いのトレイルを大きく回り込むように歩いた後、モレーン上のトレイルを登り、絶景のディス小屋(2,928m)へ(徒歩約5時間)。 朝☐☐☐【ディス小屋泊 H】
5	ディス小屋 発 トレッキング2日目 アローラ 着	朝、☞前日のトレイルを途中まで下り、目の前にみえる急坂をところどころ鎖をたよりに慎重に登り、リードマッテン峠(2,919m)へ。岩場から草地を下り、アローラ(2,006m)へと下ります(徒歩約5時間)。 朝☐☐☐【アローラ泊 H】
6	アローラ 発 トレッキング3日目 モアリー小屋 着	朝、☞専用車でモアリー氷河近くへ(約2時間)。 ☞モレーン上のトレイルを歩き、モアリー氷河のアイスフォールが迫るモアリー小屋(2,826m)へ(徒歩約1.5時間)。 朝☐☐☐【モアリー小屋泊 H】
7	モアリー小屋 発 トレッキング4日目 ツィナール 着	☞モアリー湖畔のトラバース道をたどり、登り返してソルボア峠(2,837m)を越えてソルボア(2,438m)へ(徒歩約6時間)。 ☞ロープウェイでツィナール(1,675m)へ。 朝☐☐☐【ツィナール泊 L】
8	ツィナール 発 トレッキング5日目 グラン・ムンテ小屋 着	朝、☞ツィナールより歩き始め、村の奥に伸びる林道を歩いた後、ジグザグの急登を登り、アップダウンを繰り返すトラバース道、ガレた岩場と簡単な鎖場を越えて大きな岩のゴロ帯をつめるとグラン・ムンテ小屋(2,886m)です(徒歩約6時間)。 朝☐☐☐【グラン・ムンテ小屋泊 H】
9	グラン・ムンテ小屋 発 トレッキング6日目 ツィナール 着/発 ツェルマット 着	朝、☞グラン・ムンテ小屋発、往路をツィナールへと下山します(徒歩約5時間)。午後、ツィナール着後、☞専用車でツェルマットへ(約2時間)。 朝☐☐☐【ツェルマット泊 H】
10	ツェルマット 滞在 ツェルマットでの休日	終日、ツェルマットで自由行動。ご希望の方はヘルンリ小屋(3,260m)へのハイキング(徒歩約5時間)などにご案内します(ロープウェイ代各自負担)。 朝☐☐☐【ツェルマット泊 H】
11	ツェルマット 着 ジュネーブ 着/発 中東經由都市 着	朝、☞専用車でジュネーブへ(約3時間)。午後、ジュネーブ発→中東經由都市で乗り継ぎ→東京へ。 朝☐☐機【機中泊】
12	中東經由都市 発 東京 着	夕刻、東京(成田)着。 機☐☐☐

※航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更される場合があります。



# ノアの方舟 伝説の国・アルメニア フラワーハイキング 10日間

ヨーロッパ文化の起源の地であり、世界最古のキリスト教国アルメニア。アルメニアはアジアとヨーロッパの間にあるコーカサス山岳地帯にある山岳国です。このツアーはアルメニアの花のベストシーズンに訪れてアララト、アラガツ2つの国の優美な最高峰を望みながらフラワーハイキングを楽しむコースです。

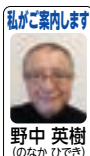
発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 (全ホテル泊)

出発日～帰国日	旅行代金
5/28(木)～6/6(土)	¥762,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在: 目安約83,000円)が別途必要です。今後変更になる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー: 東京から東京まで全行程同行します。
- 最少催行人数: 7人 ●食事: 朝7回、昼6回、夕7回
- 一人部屋利用追加料金: **¥148,000**
- 利用予定ホテル: Bクラス以上。エレヴァン/マリオート ディリジャン/ベストウエスタン、アニフォレストヒルズ
- 利用予定航空会社: エミレーツ航空、ターキッシュエアラインズ

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。



## 徒歩で巡るアルメニアの美しい自然

アルメニアは、ハイキングの目的地として訪れる人はまれですが、近年、国を挙げてハイキングのトレイル整備に力を入れています。優美な2つの国の最高峰を眺望するハイキングや断崖に建つ修道院跡を訪ねたり、中世の時代に修道士が思索にふけりながら歩いたであろう森の中の静かな湖などを訪ねます。花咲く季節、森の中にひっそり佇むハチュカル(十字架石)、谷奥に突如現れる荘厳な修道院に、思わず中世にタイムスリップした感覚になるはずです。ぜひ文明の十字路に建つ魅惑の国に一緒にしましょう。



▲ノアの方舟伝説の名峰アララト山を望む

## 聖なるアララト山 コーカサス文化

トルコの最高峰「ノアの方舟」伝説のアララト山は標高5,137mのとても美しい山です。今でもアルメニアの国章に描かれるなど、日本人にとってのちょうど富士山のような象徴的な山です。

コーカサス地方は、ワインや小麦、リンゴなどの発祥の地で、豊かな食文化を誇ります。アルメニアは紀元301年に世界で初めてキリスト教を国教とした国で、世界最古の教会も存在しています。



▲世界最古の教会といわれるエチミアジン大聖堂



▲美味しいワインを焼く

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	夜、東京発✈️乗り継ぎ地ドバイ又はイスタンブールへ。 ☐☐機【機中泊】
2	ドバイ着/エレヴァン着	✈️ドバイ又はイスタンブールで乗り継ぎ、午後、エレヴァン着。着後、エレヴァン市内散策などを楽しみます。 機☐☐【エレヴァン泊 H】
3	エレヴァン 滞在 アラガツ山麓 フラワーハイキング	朝☐☐アルメニア最高峰であるアラガツ山(4,090m)の山麓ヘズン教会へ。✈️ここからアラガツ山麓を、新雪をかぶり優美な山容を見せるアラガツ山の雄姿や多くの高山植物をみながら、アンベド要塞までハイキング(徒歩約2時間)。その後、エレヴァンへ戻ります。 朝☐☐【エレヴァン泊 H】
4	エレヴァン 発 セヴァン湖訪問 ディリジャン国立公園ハイキング	朝☐☐エレヴァンを出発、アルメニア最大の湖セヴァン湖へ。湖へ舌のように突き出すセヴァン半島に建つセヴァン修道院を訪問。その後、✈️高山植物咲き誇るディリジャン国立公園の中の渓谷沿いのトレイルを、ヒドゥンウォーターフォールまで往復ハイキングで楽しめます(徒歩約1時間)。その後、アルメニアのスイスと呼ばれるディリジャンへ。 朝☐☐【ディリジャン泊 H】
5	ディリジャン 滞在 ゴシュ湖往復 ハイキング	朝☐☐ディリジャン郊外にあるゴシャ・ヴァンク修道院へ。この修道院は、12または13世紀に創設され、現存するハチュカル(十字架の石の意味)の中でもっとも素晴らしい状態のものを所蔵しています。✈️ゴシャ・ヴァンク修道院からゴシュ湖への往復ハイキング。アルメニアでもっとも重要な思想家の一人、ムヒタル・ゴシュが思想にふけった森を歩きます。ハチュカルや神聖な場所として幸運をもたらす印の白い布を目にするでしょう(徒歩約2時間)。 朝☐☐【ディリジャン泊 H】
6	ディリジャン 発 ディリジャン国立公園ハイキング エレヴァン 着	朝、✈️ディリジャン国立公園内のフラワーハイキングを楽しみます(徒歩約2時間)。その後、☐☐エレヴァンに戻ります。 朝☐☐【エレヴァン泊 H】
7	エレヴァン 滞在 世界遺産ゲガルド修道院 ガル二神殿 ガル二渓谷ハイキング	朝、☐☐エレヴァン東郊外のアザト川上流域にある世界遺産のゲガルド修道院(1,700m)へ。ゲガルドとは、アルメニア語で「槍」を意味し、キリストが刑にあった際、その脇腹をついた槍がここで見つかったとの伝承から名付けられました。その後、ガル二神殿を見学。✈️美しい柱状節理の断崖が見られるガル二峡谷をハイキング(徒歩約1時間)。ハイキングのあとは、ホテルに戻ります。 朝☐☐【エレヴァン泊 H】
8	エレヴァン 滞在 アララト山展望と ホル・ヴィラップ修道院	朝、☐☐トルコ国境近く、トルコ最高峰でノアの方舟伝説の残るアララト山(5,137m)を望む絶景の場所に建つホル・ヴィラップ修道院へ。絶景を堪能したあとエレヴァンへ戻ります。午後、エレヴァン市内観光を楽しみます。 朝☐☐【エレヴァン泊 H】
9	エレヴァン 発 ドバイ着/発	午前、エレヴァン発✈️経由地、ドバイ又はイスタンブールへ。 朝☐☐【機中泊】
10	東京 着	✈️午後、東京着。 ☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲赤いポピーが咲く



▲アヤメの仲間



最高峰ムサラ山、第2峰ビフレン山に登頂

# ブルガリアの名峰2座登頂と世界遺産を巡る 10日間

ブルガリアの最高峰ムサラ山(2,925m)と第二峰ビフレン山(2,914m)に登頂します。ムサラ山は圧倒的な山岳展望と季節ごとに咲く花が魅力です。ビフレン山は大理石の山でその自然の豊かさはユネスコの世界自然遺産にも登録されるほどです。自然と文化、歴史と遺跡などブルガリアの魅力に触れる旅です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 (全ホテル泊)

出発日～帰国日	旅行代金
6/23(火)～7/2(木)	¥746,000

●燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約78,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。

●ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京まで同行します。

●最少催行人数：10人 ●食事：朝7回、昼8回、夕6回

●利用予定ホテル：Bクラス以上。ソフィア/ホテルコープ、ボロヴェツ/ホテルエラ、バンスコ/フォーポイントバイシェラトン、プロブディフ/ダブルツリーバイヒルトン

●一人部屋利用追加料金：¥88,000

●利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。



野中英樹  
(のなか ひでき)

## リラ国立公園とブルガリア最高峰ムサラ山

ブルガリアは国土の3分の1を山岳地帯が占める山国です。なかでもバルカン半島最高峰ムサラを有するリラ山脈はいくつもの高峰がある大きな山脈です。リラ国立公園ではリラ七湖と呼ばれる湖沼群を巡るハイキングと、ムサラ山に登頂します。



▲ムサラ(右奥)を目指し低木帯を歩く

## ピリン国立公園と大理石のビフレン山

ピリン山脈はブルガリアの南西部、マケドニアやギリシャとの国境近くに位置する大きな山脈です。ピリン国立公園には固有種はじめ多種多様な植物が生息し、動物や鳥類に出会えることもあります。この旅ではピリン山脈最高峰のビフレン山に登頂します。



▲大理石の山、ビフレン山の頂きを目指す

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京(羽田) 発 イスタンブール 着	夜、東京(羽田)発→イスタンブールへ。 ☐☐機【機中泊】
2	イスタンブール 発 ソフィア 着	早朝、イスタンブール着。乗り換えて→ソフィア(550m)へ。 ☞専用車でソフィア市内のホテルへ。 その後、徒歩でソフィア市内観光。昼食後、自由行動。 機☐☐【ソフィア泊 H】
3	ソフィア 発 ボロヴェツ 着	☞ソフィアのシンボルである近郊の山、ヴィトシャ山へ。 ☞ヴィトシャ山の北西側のゴールデンブリッジエリアから歩き出し、石の川と呼ばれるガレ場、トウヒやブナの美しい森、ソフィアを一望できる展望所など人気のハイキングコースを歩きます(徒歩約3時間)。午後、ヴィトシャ山の麓に建つボヤナ教会を見学します。☞ボロヴェツへ。 機☐☐【ボロヴェツ泊 H】
4	ボロヴェツ 滞在 リラ国立公園 リラ湖群ハイキング	☞リラ国立公園のピオネルスカ小屋(1,520m)へ。☞チェアリフトに乗って2,100m地点へ。☞山上に散らばるリラ湖群のいくつかの湖を巡るハイキング(徒歩約4時間)。☞ボロヴェツへ。 機☐☐【ボロヴェツ泊 H】
5	ボロヴェツ 滞在 ブルガリア最高峰 ムサラ山登頂	☞古ゴンドラでヤストレベツツ(2,369m)へ。☞ほぼ平坦な登山道をムサラ小屋へと進み、いくつかの台地状の丘とガレ場の登りを繰り返し、岩場を登ってムサラ山(2,925m)に登頂。山頂で雄大な景色を楽しんだ後、往路を下ります(徒歩約6時間)。☞ボロヴェツへ。☞ホテルへ。 機☐☐【ボロヴェツ泊 H】
6	ボロヴェツ 発 バンスコ 着	☞世界遺産の「リラの僧院」へ。色彩豊かなフレスコ画に飾られた教会やそれを取り囲む僧房を見学します。午後、☞周辺で軽ハイキングを楽しみ。☞バンスコ(925m)へ。 機☐☐【バンスコ泊 H】
7	バンスコ 滞在 第2の高峰 ビフレン山登頂	☞世界遺産のピリン国立公園の登山拠点ビフレン小屋(1,960m)へ。☞松林から低木樹林帯を登り、開けた台地へ出ます。やがて低木も少なくなり、草が生える広い砂礫帯を登り山頂へ続くコルへ。目の前に聳える大理石の山頂部をジグザグにゆっくり登り、ビフレン山頂(2,914m)へ。往路を下ります(徒歩約7時間)。☞バンスコへ。 機☐☐【バンスコ泊 H】
8	バンスコ 発 ドバルスコ村 着/発 テオドール教会 小さな村のハイキング 民家で家庭料理 プロブディフ 着	☞ドバルスコ村へ。テオドール教会を訪れ、鮮やかな壁画やイコンを鑑賞します。☞村はずれののどかな田園地帯、草原、遠くにピリンの山々が見える好展望の丘などを歩きます(徒歩約1.5時間)。昼食は民家でブルガリアのお母さん手作りの伝統的な家庭料理をお楽しみください。 ☞専用車でブルガリア第2の都市プロブディフへ。 機☐☐【プロブディフ泊 H】
9	プロブディフ 発 ソフィア 着/発 イスタンブール 着	☞徒歩でプロブディフを観光します。ローマ時代の遺跡や民族復興期の豪邸などをめぐります。 ☞専用車でソフィアへ。夜、ソフィア発→イスタンブールへ。 機☐☐【機中泊】
10	イスタンブール 発 東京(羽田) 着	イスタンブールで乗り継ぎ→東京へ。 夕刻、東京(羽田)着。 機☐☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲ヴィトシャ山からはソフィアやリラ山脈が見渡せる



▲花咲くりラ七湖ハイキング



▲ブルガリア正教の大本山、リラの僧院



▲民族衣装を着ておもてなしを受ける

固有種の可憐な花々を見ながら山小屋泊まりの縦走ハイキング

# スロベニア・トリグラウ国立公園 山小屋縦走フラワーハイキング 9日間

トリグラウ国立公園はスロベニアで唯一の国立公園で欧州で一番古い国立公園の一つです。標高が高く石灰岩質のため独自の進化を遂げた可憐な花々が咲きます。このコースでは高山帯の牧草地から稜線上にある山小屋に泊まり、スロベニア最高峰トリグラウの山岳展望、点在する山上湖の変化に富んだ景観を楽しみながら、花咲く高山帯での縦走を満喫します。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
7 / 7 (火)～7 / 15 (水)	¥782,000



国際山岳ガイドの「ボドガル・ツペート」さんが現地ガイドとして案内します。

- 燃料サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約67,500円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはリュブリャナからリュブリャナまで同行します。
- 最少催行人数：10人 ●食事：朝6回、昼7回、夕5回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上。クランスカゴラ/アルピナ、ヴィトランク、ヴィヨリカ、コトニク、コロナ、コンパス、シュピーク、ベスト・ウエスタン、ミクリッチ、ラマダ、リパ
- 一人部屋利用追加料金：¥60,000(山小屋を除く)
- 利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ、カタール航空、エミレーツ航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

## トリグラウの花たち

トリグラウ国立公園は石灰岩で高所という厳しい環境に加え、地中海気候の影響で独自の進化をとげた固有植物が可憐な花を咲かせます。リンドウやトリグラウローズ等の固有種に加え、ヨーロッパの山で見つけづらくなったエーデルワイス等が登山道を彩ります。スロベニア最高峰トリグラウ山(2,864m)や雄大なユリアンアルプス、氷河湖のセブンレイクなど、豊かな自然を満喫できる場所です。



▲雄大なトリグラフ国立公園を縦走



▲深い谷と迫力ある岩峰、変化に富んだ景観が魅力

## 山小屋泊で3泊4日の大縦走

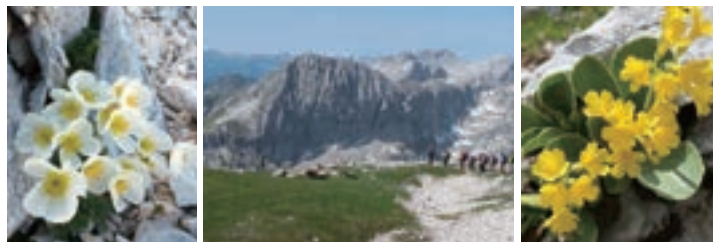
宿泊する山小屋の多くは絶景が楽しめるロケーションで、いずれもシンプルながら清潔で快適にお過ごしいただけます。温かい料理と寝具の提供がありますので、重い荷物を持たずに縦走することができます。



▲ドリッチ小屋へ向かう絶景のトレイル



▲湖畔に建つ人気のセブンレイク



▲高山帯の縦走で花と展望を満喫

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	夜、東京(羽田)発✈️イスタンブールへ。 ☐☐機【機中泊】
2	イスタンブール 着/発 リュブリャナ 着/発 クランスカゴラ 着	早朝、イスタンブール着。乗り換えて✈️リュブリャナへ。 ☞専用車でブレッドへ。アルプスの瞳と称されるブレッド湖畔を散策し、☞ゴンドラボートに乗って湖に浮かぶ小さな島を訪れます。☞クランスカゴラへ。 機☐☐【クランスカゴラ泊 H】
3	クランスカゴラ 滞在 トリグラウ国立公園 日帰りハイキング	☞専用車で昔ロシア軍捕虜が作ったというつづら折りの道を行き☞アルペアドリア街道からバルシッチ峠までハイキングします。トリグラウ国立公園の西側の(縦走と逆の斜面)景色が楽しめます(徒歩約4時間)。帰路には亡くなった捕虜慰霊のロシア教会などにご案内いたします。 朝☐☐【クランスカゴラ泊 H】
4	クランスカゴラ 発 トリグラウ国立公園 縦走1日目 ヴォドニコウドム 着	☞専用車で登山口のポクリュカへ。(1,300m)☞紀元前より放牧が続く草原地帯を歩き、森林地帯を抜け、広々とした谷を眺めながら標高を上げてヴォドニコウドム小屋(1817m)までの縦走1日目のハイキングを歩きます(徒歩約5時間)。 ヴォドニコウドム小屋は高山牧草地の上にある比較的新しい山小屋で水も豊富です。トリグラウ山も望むことができます。 朝☐☐【ヴォドニコウドム泊 H】
5	ヴォドニコウドム 発 トリグラウ国立公園 縦走2日目 ドリッチ 着	☞羊が草を食む草原地帯から砂礫、岩稜のへと登ります。白い石灰岩の岩稜帯をドリッチ小屋(2,151m)まで歩きます。標高の高い山岳展望とお花が楽しめるトレイルです(歩行約5時間)。 朝☐☐【ドリッチ泊 H】
6	ドリッチ小屋 発 トリグラウ国立公園 縦走3日目 セブンレイク小屋 着	☞白い石灰岩の岩峰や点在する湖を眺め、モレーンなどの岩稜帯を歩き、峠を越えて、眺めのよいフレバリツェ小屋で休憩。セブンレイク小屋(1,685m)まで下ります(徒歩約6時間)。 朝☐☐【セブンレイク小屋泊 H】
7	セブンレイク小屋 発 トリグラウ国立公園 縦走4日目 スタラフジナ登山口 着/発 ブレッド 着	☞セブンレイク谷の広々とした草原をのんびりと下り、スタラフジナ登山口(1,000m)へ。地元のハイカーに人気のあるトレイルです(徒歩約5時間)。 ☞スロベニア最大の湖、ボヒン湖に立ち寄り、レストランで昼食後、ブレッドに戻ります。 朝☐☐【ブレッド泊 H】
8	ブレッド 発 シコツィヤン 着/発 世界遺産 シコツィヤン鍾乳洞 リュブリャナ 着/発	☞専用車で世界遺産のシコツィヤン鍾乳洞へ。シコツィヤン鍾乳洞では、カルスト台地の壮大な地下渓谷を歩いて見学します。☞その後、芸術的なセンス溢れる首都リュブリャナに立ち寄り、散策やお買い物をお楽しみください。 夕方、リュブリャナ発✈️イスタンブールへ。 朝☐☐【機中泊】
9	イスタンブール 着/発 東京 着	イスタンブールで乗り継ぎ✈️東京(羽田)へ。 夜、東京(羽田)着。 機☐☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



快適なロッジに泊まりながら、白夜に抱かれた北欧屈指の山岳地帯を歩く

# ノルウェー山小屋縦走トレッキングと ガルホピッゲン登頂 10日間

北欧ノルウェーを代表する山岳風景を誇るヨートウンハイメン国立公園の中心部を5泊6日のロッジ泊りで歩く健脚コース。山上湖を見下ろす尾根や氷河谷を歩き、可憐な高山植物やフィヨルド地形特有の美しさと静寂が白夜の淡い斜光に溶け込みます。最後に北欧最高峰ガルホピッゲン(2,469m)登頂を目指します。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
7/16(木)～7/25(土)	¥1,080,000

- 燃料サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約52,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはオスロからオスロまで同行します。
- 最少催行人数：10人 ●食事：朝7回、昼6回、夕7回
- 利用予定ホテル：ガルホピッゲン山麓/ラウベルグストゥーレン オスロ空港/トーンホテル・オスロエアポート
- 一人部屋利用追加料金：¥78,000(ロッジ泊を除く)
- 利用予定航空会社：フィンランド航空、ターキッシュエアラインズ、エミレーツ航空、カタール航空、スカンジナビア航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※ロッジ、ホテルの浴室設備はシャワーのみとなります。  
※日程4日目と5日目は、船と陸路でトレッキングに不要な荷物を先送りします。



▲ベッセゲン尾根手前から前方に広がるイェンデ湖

## 縦走トレッキング 最高峰ガルホピッゲン登頂

北欧最大の山岳地帯で“巨人たちの住みか”と呼ばれるヨートウンハイメン国立公園の美しく変化に富んだ核心部をロッジ泊5泊6日で縦走トレッキングと登山を満喫します。



▲広大なヴィス谷を歩く

北欧最高峰ガルホピッゲンは標高2,469m 北緯61.1度の高緯度にあり周囲3方が氷河帯に覆われ山頂からの展望が素晴らしい雄大な山です。上り4時間、下り2時間の行程です。



▲ガルホピッゲン山頂を目指して

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	東京発→中東またはヨーロッパ都市へ。 ☐☐機【機中泊】
2	中東または ヨーロッパ都市 着/発 オスロ 着/発 イェンデスハイム 着	中東またはヨーロッパ都市で乗り継ぎ→オスロへ。着後専用車でヨートウンハイメン国立公園の玄関口イェンデ湖東端のイェンデスハイム(約5時間)へ。 機機☐【イェンデスハイム泊 ☐】
3	イェンデスハイム滞在 ベッセゲン尾根 往復ハイキング	イェンデスハイム(990m)から登り始め、ベスルフィエレット山頂(1,728m)へ。さらにベッセゲン尾根上部の折り返し地点へ。イェンデ湖、ベス湖の大展望を満喫し、往路を下山(約12km/徒歩約6時間)。 朝☐☐【イェンデスハイム泊 ☐】
4	イェンデスハイム 発 イェンデブー 着 イェンデトゥンガ登頂 ハイキング	イェンデスハイムから船でイェンデ湖西端のイェンデブー(985m)へ。イェンデ湖とフィヨルド山岳展望の絶景が広がるイェンデトゥンガ山頂(1,516m)へ。往路を下山しロッジへ(徒歩約5時間)。 朝☐☐【イェンデブー泊 ☐】
5	イェンデブー 発 レイルバスブー 着	イェンデブーをゆっくりと登り、ヘッレルフォッセン滝、美しく長いラングヴァットネット湖を進み、 hogvåggrønt 峠(1,518m)を越えレイルバスブー(1,400m)へ(約19km/徒歩約10時間)。 朝☐☐【レイルバスブー泊 ☐】
6	レイルバスブー 発 スピテルストゥーレン 着	ヴィス谷の上部へとキルキャ(2,032m)峰を回り込むように進み、広大な谷を下りスピテルストゥーレン(1,104m)へ(約15km/徒歩約7時間)。 朝☐☐【スピテルストゥーレン泊 ☐】
7	スピテルストゥーレン 着 ガルホピッゲン登頂 ラウベルグストゥーレン 着	登山口のユッバス(1,841m)へ(50分)。緩やかに登り、スティッグ氷河の平坦な雪原をガイドと共にロープをつないで横断し、岩場を登り北欧最高峰ガルホピッゲン山頂(2,469m)へ。往路ユッバスまで下る標高差630mの登山(約5時間)です。山麓のラウベルグストゥーレン(約30分)へ。 朝☐☐【ラウベルグストゥーレン泊 ☐】
8	ラウベルグストゥーレン 発 オスロ 着	陸路をオスロへ(約6時間)。着後、王宮通りを散策し、夕食後、空港近くのホテルへ。 朝☐☐【オスロ空港泊 ☐】
9	オスロ 発 中東または ヨーロッパ都市 着/発	オスロ発、中東またはヨーロッパ都市で乗り継ぎ→東京へ。 朝☐☐【機中泊】
10	東京 着	夕刻、東京着。 機機☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## 快適なロッジ滞在 白夜の夏

宿泊する各ロッジは温水シャワーや水洗トイレ、乾燥室など設備が整っており、朝晩の食事はロッジごとの美味しい手料理を、ランチは各自で手作りサンドイッチを作ります！



▲レイルバスブーの快適なロッジ

北欧スカンジナビア半島唯一の山岳王国ノルウェーは西海岸線にフィヨルド地形、内陸部には山岳地帯が広がり、特に短い夏は白夜に抱かれる美しい季節です。



▲白夜の夏を歩く

# 韓国的高峰2座登頂 漢拏山と智異山 5日間

韓国を代表する2座を効率よく一度に登る健脚向けのコースです。山旅の前半は、広大な山域をもち、奥深い登山を楽しむ事の出来る智異山を山小屋泊まりの1泊2日の行程です。旅の後半は、空路で済州島へ移動し、韓国最高峰の漢拏山に登ります。9～10時間をかけて上り下りする歩き応えのある山です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
5/17(日)～5/21(木)	¥296,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約6,200円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京または釜山から釜山まで同行します。
- 最少催行人数：10人(最少催行人数の10名様に満たない場合でも、同料金で5名様からツアーを実施いたします。その場合は、日本からツアーリーダー、添乗員は同行しませんが、釜山到着から済州出発まで現地日本語ガイドが同行しご案内させていただきます。)
- 食事：朝4回、昼3回、夕4回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上。晋州/アジア、レイクサイド、ドンバン、ゴールデン、プラウドット、ラオン、ニューグランド 済州/パレス、パシフィック、オリエンタル、ニュークラウン、ザホテル、シリウス、ハーバー
- 一人部屋利用追加料金：¥32,000(山小屋泊を除く)
- 利用予定航空会社：大韓航空

※入山許可申請のため3月中旬までにお申込みください。それ以降となると入山許可が下りない場合があります。

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※山小屋への宿泊の際は、山小屋に備え付けの毛布を利用するため、寝袋(シュラフ)を日本から持参する必要はありません。食事(食料)も現地でご用意します。

5名様から  
催行確約

最少催行人数の10名様に満たない場合でも、同料金で5名様からツアーを実施いたします。その場合は日本からツアーリーダー(添乗員)は同行しませんが、釜山到着から釜山出発まで現地日本語ガイドが同行します。

## 韓国の山旅決定版

韓国最高峰の漢拏山は麓から登り始めるため約1,200mを一日で登り下りする健脚向きのコース。また智異山も山小屋に泊まりながらの縦走登山となり、歩き応えのある山行になります。



▲漢拏山の荒々しい岩壁を望む

## 漢拏山

漢拏山は、韓国ではじめて世界遺産に登録された場所であり、済州島のほぼ中央にあります。標高は1,950mあり、春はツツジの群落が咲き誇ることで知られています。



▲春のツツジで有名な漢拏山

## 済州島

韓国最大の島済州島は、豊富な動植物が生育する森や草原、寄生火山、溶岩洞窟、海岸などが調和をなし、美しく風光明媚な自然環境を作りだしています。



▲漢拏山頂上付近から望む済州の街並み

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 釜山(金海) 着/発 晋州(チンジュ) 着	昼、東京発➡韓国の釜山(金海)へ。 午後、専用車で李朝時代の面影を残す晋州(チンジュ)へ(約2時間)。 夕食は、 <b>晋州名物のうなぎ料理と冷麺</b> をご賞味ください。  ☐機☑【晋州泊 H】
2	晋州(チンジュ) 発 内大理(ネデリ)着/発 智異山登山1日目 智異山・山小屋 着	朝、専用車で智異山の内大理(ネデリ)登山口(620m)へ(約1.5時間)。 <b>登山開始。樹林帯から智異山主稜線上に建つ細石(セソク)山荘(1,560m)または場基項(チャントモク)山荘(1,750m)へ</b> (徒歩約6時間)。  ☐機☑【智異山・山小屋泊 H】
3	智異山・山小屋 発 智異山登山2日目 天王峰登頂 中山里(チュンサンリ)着/発 釜山(金海) 着/発 済州(チェジュ) 着	早朝、 <b>智異山最高峰・天王峰(チョンワンボン)1,915m</b> に登頂。その後、 <b>法界寺(ボッケサ)、ロータリ山荘</b> を経て、 <b>中山里(チュンサンリ)登山口(600m)へ下山</b> (徒歩約6時間)。下山後、専用車で釜山(金海)空港へ(約2.5時間)。夕刻、釜山(金海)発➡国内線で済州(チェジュ)へ。 夜、専用車で済州市内のホテルへ(約30分)。 夕食は、 <b>済州島名物の黒豚の焼肉</b> をご賞味ください。  ☐機☑【済州泊 H】
4	済州(チェジュ)滞在 韓国最高峰 漢拏山登頂	早朝、専用車で <b>世界遺産・漢拏山</b> の城板岳(ソンパナク)登山口(750m)へ(約40分)。 <b>登山開始。チンダルレバ小屋</b> を経て、 <b>韓国最高峰・漢拏山(ハルラサン)の東稜頂上(1,935m)へ</b> 。山頂からは <b>変化に富んだ観音寺コース</b> を下山。 <b>耽羅(タンナ)溪谷</b> に沿って下り、 <b>観音寺(カヌンサ)登山口(580m)へ</b> (徒歩約9～10時間)。下山後、専用車でホテルへ(約40分)。 夕食は、 <b>新鮮な刺身料理と海鮮鍋</b> をご賞味ください。  ☐機☑【済州泊 H】
5	済州市内観光 済州(チェジュ) 発 釜山(金海) 着/発 東京 着	午前、専用車で <b>済州市内観光</b> をお楽しみください。 <b>三姓穴、東門在来市場などを見学</b> します。 その後、専用車で空港へ。昼、済州(チェジュ)発➡釜山(金海)またはソウルで乗り継いで➡東京へ。 夕刻、東京着。  ☐機☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## 智異山

韓国南部に位置する韓国第二峰で韓国本土では最も高い山です。広大な山域の中に空の柱を意味する天王峰(1,915m)を中心に数百年にも連なる峰々を擁しています。



▲智異山最高峰・天王峰(チョンワンボン)1,915m

## 山小屋泊まりの登山

韓国の山小屋は質素なしつらえですがしっかりとした作りで、快適に過ごせます。山小屋備え付けの毛布を利用するので寝袋など背負って登る必要はありません。



▲チャントモク山荘を越えて智異山の山頂へ



最短の日程で4,000m峰の頂へ

## マレーシア最高峰Mt.キナバル登頂 5日間

赤道直下の南シナ海に浮かぶ世界で3番目に大きなボルネオ島は、熱帯雨林から標高4,095mのキナバル山まで多彩な自然が存在しています。峻険な岩峰を空に突き上げるマレーシア最高峰キナバルは日本から最短距離でアプローチできる4,000m峰で、初めての海外登山にお勧めの山です。美しいビーチも満喫!

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
5/19(火)～5/23(土)	¥462,000

●燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約32,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。

●ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはコタキナバルからコタキナバルまで同行します。

●最少催行人数：8人 ●食事：朝3回、昼3回、夕2回

●利用予定ホテル：Bクラス以上。コタキナバル/ステラハーバー、ハイアット、ルメリディアン、セントリック

●一人部屋利用追加料金：¥26,000(山小屋泊を除く)

●利用予定航空会社：ロイヤルブルネイ航空、マレーシア航空、シンガポール航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※行動範囲：約1,866m～約4,095m。最高宿泊地約3,300m。高山病の影響ややあり。  
※登山：現地ガイドが同行。荷物はポーターが山小屋まで1人5kgまで運搬。



松本 伸夫  
(まつもと のぶお)

熱帯雨林から岩稜帯へ  
変化に富んだ登山ルート

キナバル登山は標高1,800mからスタートします。熱帯らしいジャングルに囲まれた、良く整備され歩きやすい登山道を約6時間歩いて、標高3,300mに建つ山小屋へ。小屋で1泊し、翌朝はまだ真夜中のうちに歩き始め、ヘッドランプを点けながら頂上台地を目指します。太陽が登り始める頃には巨大な一枚岩の上部に達し、独立峰ならではの大自然が広がります。登山口から頂上までの標高差は約2,000m以上もあり、ダイナミックに変化に富んだ登山がキナバル山の魅力です。



▲山麓より望むキナバル山

## キナバル山頂上台地 ロウズ・ピーク

キナバル山の樹林帯を抜けると頂上台地が広がります。広大な岩盤の上は滑りにくく、目印をたよりに山頂を目指します。岩盤上は特徴的なくつものピークが見られます。



▲広大な岩盤が広がる頂上台地

キナバル山の頂上台地には氷河が削って出来たいくつかのピークがあり、その中の最高峰が4,095mのロウズ・ピークです。三角錐の山頂からはボルネオ島の大パノラマが広がります。



▲最高峰ロウズ・ピークへ最後のひと登り

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 コタキナバル 着	午前、東京発→東南アジア経由都市→コタキナバルへ。その後、専用車でホテルへ。 【機】【コタキナバル泊】
2	コタキナバル 発 登山口 着/発 山小屋 着	朝、専用車で世界遺産のキナバル国立公園(約2時間)へ。登山口(1,866m)へ移動後、現地ガイド、ポーターと共に登山開始。最初はジャングルの中を登ります。途中、食虫植物のウツボカズラや様々なランなど、数多くの珍しい植物があります。樹林帯を抜け、標高約3,300m付近の快適な山小屋へ(徒歩約6時間)。 【朝】【山小屋泊】
3	山小屋 発 山小屋 着/発 登山口 着/発 コタキナバル 着	未明、ガイドと共にヘッドランプのあかりを頼りに出発。サヤサヤ小屋を経て、最高峰ロウズ・ピーク(4,095m)に登頂。この日、多少の頭痛を覚える方もいると思いますが、山小屋まで下りてしまえば大抵治ってしまうでしょう(徒歩約6時間)。 その後、さらに登山口へと下山します(徒歩約4時間)。 下山後、専用車でコタキナバルへ(約2時間)。 【朝】【コタキナバル泊】
4	マムティック島 ツアー コタキナバル 発	朝、ボートにてマリンリゾート地マムティック島へ。午後は街などへお出かけください。 夜、空港へ。夜、コタキナバル発→東南アジア経由都市→東京へ。 【朝】【機中泊】
5	東京 着	朝、東京着。 【機】

※航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更される場合があります。  
※4日目のシュノーケルセットは料金に含まれています。



▲夜明けの時間に合わせて最高峰ロウズ・ピークの登頂を目指す

## 快適な山小屋

キナバル登山は山小屋泊まりの1泊2日の行程です。標高3,300m付近にラバンラタ小屋を中心にいくつかの山小屋が建ち、どの小屋も質素ですが快適に泊まります。



▲快適な山小屋

## コタキナバル

サバ州の中心地でキナバル登山やビーチリゾートなどのボルネオ島の大自然を楽しむための基地となる街です。昔ながらの市場や南国フルーツを売る屋台も楽しみです。



▲コタキナバルの市場

# モンゴル・フラワーハイキング 8日間

モンゴルの広大な大地が緑色の草原となる7月、モンゴルの首都ウランバートルから西へと移動し、モンゴルの国花スカビオサをはじめ、多くの高山植物が花開く高原でフラワーハイキングを楽しみます。モンゴルの広大な草原と高山植物のお花畑、さらにモンゴルの歴史と伝統文化も感じる旅です。

**発着地** 東京

**歩行時間** **宿泊高度** **宿泊施設**

出発日～帰国日	旅行代金
7/21(火)～7/28(火)	¥496,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約16,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
  - ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはウランバートルからウランバートルまで同行します。
  - 最少催行人数：10人 ● 食事：朝6回、昼6回、夕6回
  - 利用予定ホテル：Cクラス以上。ウランバートル/フラワーホテル
  - 一人部屋利用追加料金：¥84,000(テント泊も含む)
  - 利用予定航空会社：モンゴル航空、アエロモンゴリアン、ユナイテッド航空、大韓航空
- ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

## モンゴルの豊かな自然と伝統文化に触れる

果てしなく広がるモンゴルの大草原、丘陵、砂丘、針葉樹林の高山帯など、表情豊かなモンゴルの大地を巡り季節の野の花を探す7日間。世界で唯一野生馬タヒが生きるホスタイ自然保護区、13世紀にモンゴル帝国の都が置かれたオルホン渓谷、世界遺産の遺跡、星降る温泉郷、ゲルの宿泊などモンゴルの伝統や文化に触れ、歩くことで出会う花と風景を満喫します。



▲モンゴルの伝統的なゲルに宿泊

## 多様な環境に咲く野の花 野生馬が生きる自然保護区

ウランバートルから陸路を走り西へ。草原、高山、湖畔、砂丘と変化に富んだ自然環境を巡り、地域ごとに異なる植生やモンゴルならではのフラワーウォッチングを楽しみます。



▲モンゴルの国の花マツムシソウ

ホスタイ国立公園では世界で唯一の野生馬「タヒ(モウコノウマ)」に出会える可能性があります。保護区内では多くの植物や猛禽類を観察。



▲少し街を外れると広大な大自然が広がる

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 ウランバートル 着	午後、東京発→ウランバートルへ。市内のホテルへ。 【ウランバートル泊】
2	ウランバートル 発 ホスタイ国立公園 着 ホスタイ・フラワーハイキング	ホスタイ国立公園へ(約2.5時間)。草原の中を移動します。 ステップ森林地帯のフラワーウォッチング(約2時間)。午後は、野生馬「タヒ(モウコノウマ)」を探す動物観察へ。アカシカ、ステップガゼル、オオカミ、猛禽類などにも出会えるかもしれません。 【ホスタイ国立公園泊/ゲル・キャンプ泊】
3	ホスタイ国立公園 発 エルセン・タサルハイ 着 ホグノハーン・フラワーハイキング	草原と砂丘が広がるエルセン・タサルハイへ(約3時間)。周辺は砂丘と岩山の乾燥地帯で、ゴビ砂漠に似た植生を見ることができます。 花崗岩の山塊ホグノ・ハーン山麓や砂丘を散策し、フラワーウォッチングで楽しめます(約3時間)。夕刻、自然に溶け込むエコ・ゲルキャンプへ。 【エルセン・タサルハイ泊/ゲル・キャンプ泊】
4	エルセン・タサルハイ 発 ツェンヘル温泉 着 カンガイ・フラワーハイキング	中央アジアの古代史や文化遺産が集中するオルホン渓谷のハラホリンを経由して西へ。途中、モンゴル最初の仏教寺院を見学(1時間)後、草原から森林高原へと景色は変わり、モンゴル随一の緑の山岳地帯カンガイ山脈の高原に湧くツェンヘル温泉(1,870m)に到着(約4時間)。 草原には色鮮やかな高山植物が咲く周囲の森を散策します(約2時間)。夜は露天温泉(水着着用)に浸かりながら、満天の星と天の川の輝きに酔いしれます。 【ツェンヘル温泉泊/ゲル・キャンプ泊】
5	ツェンヘル温泉 発 ウギー湖 着 ウギー湖畔ウォーキング	中央モンゴル有数の淡水湖・ウギー湖へ(約3時間)。ウギー湖(1,370m)はラムサール条約に登録された湿地で多くの水鳥の繁殖地として有名です。 野鳥観察を楽しみながら湖周辺をウォーキング(約1時間)。夕刻、湖畔のゲルに宿泊。静かな湖面に沈む夕日が印象的です。 【ウギー湖畔泊/ゲル・キャンプ泊】
6	ウギー湖 発 ウランバートル 着 大草原を走る一日	ウランバートルへ戻ります。途中、9～10世紀のキタン時代に築かれた遺跡群を見学。草原に残る城壁跡を歩きながら中央アジアの歴史に思いを馳せます。果てしなく続くモンゴルの大地を一路ウランバートルへ(9時間)。 【ウランバートル泊】
7	ウランバートル 滞在 終日市内観光 モンゴル文化体験の一日	終日ウランバートル市内観光へご案内します。チンギスハーン広場やチベット仏教寺院ガンダン寺、博物館などモンゴルの歴史と文化を学びます。旅の締めくくりは、ホーミーや馬琴頭などの演奏を鑑賞しながら郷土料理をお楽しみください。 【ウランバートル泊】
8	ウランバートル 発 東京 着	ウランバートル発→東京へ。 【東京泊】

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## 世界遺産と遊牧民の文化 温泉と満点の星空

歴史と文化遺産が集中するオルホン渓谷には古代国家の歴史が刻まれています。モンゴル最初の仏教寺院を訪ね、遊牧民の暮らしと伝統に触れモンゴルの奥深さを知ります。



▲遊牧民の伝統や文化に触れるのも楽しみ

カンガイ山脈のモンゴル風アルプスでのフラワーウォッチング後は、高原に湧く天然温泉で旅の疲れを癒やし、夜は満天の星空に包まれる静かで贅沢な時間を楽しみます。



▲天然温泉で旅の疲れを癒やす



**新企画** 氷河と遊牧文化が息づくモンゴル最奥の辺境を歩く

# モンゴル西端アルタイ山脈 タウン・ボグド縦走トレッキング 12日間

モンゴル西端、文明の届かぬアルタイ山脈の奥深く車道の尽きる先から歩き始めるタウン・ボグド山群を歩くトレッキングです。モンゴル最高峰フテイン山(4,374m)を擁するこの地域は万年雪を頂く峰々、氷河、高山湖、星降るキャンプ地が広がる秘境です。世界遺産「アルタイの岩絵群」、伝統音楽鑑賞など、自然と文化の両面から遊牧民の暮らしが今も息づくモンゴル西部の魅力を感じて。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
8/18(火)～8/29(土)	¥774,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約16,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはウランバートルからウランバートルまで同行します。
- 最少催行人数：10人 ● 食事：朝10回、昼10回、夕10回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上。ウランバートル/フラワーホテル
- 一人部屋利用追加料金：¥56,000(テント泊、ロッジを除く)
- 利用予定航空会社：モンゴル航空、アエロモンゴリアン、ユナイテッド航空、大韓航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

## モンゴル西部の大自然、 遊牧文化に出会う

モンゴル・ロシア・中国が交わる西端の地、アルタイ山脈。氷河を戴くタウン・ボグドの峰々と果てしない草原には、モンゴル帝国の記憶と遊牧民の暮らしが今も残されています。ウルギーからホブドへ抜ける本格縦走は、歩くことでしか辿り着けない世界。自然と文化の奥行きを体感する12日間です。



▲アルタイ山脈の大地と圧倒的な山岳景観

## モンゴル最高峰フテイン 秘境で過ごすキャンプ体験

モンゴル最高峰フテイン山(4,374m)を擁するアルタイ・タウン・ボグド山群。氷河、万年雪、広大な谷と高山湖が織りなす圧倒的スケールを体感します。



▲モンゴル最高峰フテインと広大な氷河

アルタイ山脈の懐深く、大自然の中でのキャンプ泊。夜には満天の星、朝には澄み切った空気と静寂が広がります。都市生活では味わえない「何もしない贅沢」を体験できます。



▲圧倒的なスケールの山岳地帯を進む

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発着 ウランバートル	東京発→ウランバートルへ。市内のホテルへ。ゲル(遊牧民の住居)と近代的高層ビル、仏教寺院が共存する首都ウランバートル(1,350m)は、モンゴルの過去と現在が交差する高原都市です。 ☐機☐【ウランバートル泊 H】
2	ウランバートル 発着 ウルギー	早朝→国内線で一気に西モンゴルへ。アルタイ山脈の麓に位置し、カザフ系民族の文化が色濃く残る町ウルギー(1,710m)へ。市内とホブド川を見下ろすナイラムダルの丘へハイキング。 ☐機☐☐【ウルギー泊 L】
3	ウルギー 発着 ツェンゲル周辺	未舗装路を走りツェンゲルへ(約4時間)。途中、青銅器時代に造られた鹿石(ディアストーン)と古代墳墓群を見学し、草原と岩山が交互に現れるアルタイの山岳地帯を進みます。人の気配が次第に薄れ、遊牧民のゲルが点在する原風景の世界へと入って行く頃、アルタイ山群を望む絶好のキャンプ地(2,000m)に到着。 ☐機☐☐【ツェンゲル周辺泊 T】
4	ツェンゲル周辺 発着 ツァガーンゴル	世界遺産「モンゴル・アルタイの岩絵群」を訪れ(約3時間)、約1万2千年前まで遡る岩刻画や、古代トルコ系民族の石人像(バルバル)などを見学します。ツァガーンゴル渓谷を辿り、緩やかな草原、遠くに連なるアルタイの峰々を眺めながらツァガーンゴル(2,300m)まで歩く穏やかなトレッキング(徒歩3時間) 初日です。 ☐機☐☐【ツァガーンゴル泊 T】
5	ツァガーンゴル 発着 タウン・ボグド・ベースキャンプ	「五つの聖なる峰」を意味するタウン・ボグド山群が徐々に近づき、氷河を抱く峰々とモンゴル最高峰のフテイン山(4,374m)を含む神聖な山域の核心部へ進み、タウン・ボグド山群のベースキャンプ(約3,000m)を目指します(徒歩約7時間)。 ☐機☐☐【タウン・ボグド・ベースキャンプ泊 T】
6	タウン・ボグド・ベースキャンプ 滞在 ポターニン氷河・トレッキング	終日、タウン・ボグドの雄大な自然を満喫。ポターニン氷河の末端や4カ国が交わるアルタイの大地と圧倒的なスケールの山岳景観を全身で感じる一日です。 ☐機☐☐【タウン・ボグド・ベースキャンプ泊 T】
7	タウン・ボグド・ベースキャンプ 発着 ツァガーンゴル	刻々と変わる光と影が山肌を染め、アルタイ山脈の静けさと奥深さを改めて味わいます。ツァガーンゴル川沿いを下りツァガーンゴルへ(徒歩約6時間)。 ☐機☐☐【ツァガーンゴル泊 T】
8	ツァガーン・ゴル・レンジャーゲート 発着 遊牧民居住地付近	遊牧生活を営むカザフ族の鷹匠一家を訪問。代々受け継がれてきた狩猟文化や家庭料理を通して、今も続く遊牧の暮らしを体験します。 ☐機☐☐【遊牧民居住地付近泊 T】
9	遊牧民居住地付近 発着 ウルギー	午前中は周辺散策後、昼食後ウルギーへ(約5時間)。夜は地元音楽家のゲルでカザフ族の楽器ドンプラの演奏を鑑賞し、アルタイ文化の余韻に浸ります。 ☐機☐☐【ウルギー泊 L】
10	ウルギーまたはホブド 発着 ウランバートル	ウルギーまたはホブドから国内線でウランバートルへ。(ホブド発の場合、陸路3時間移動後、空路ウランバートルへ。)午後は自由行動。夜はモンゴル伝統芸能(喉歌・舞踊・長唄)鑑賞とフェアウェルディナーをお楽しみください。 ☐機☐☐【ウランバートル泊 H】
11	ウランバートル 滞在 終日市内観光 モンゴル文化体験の一日	終日ウランバートル市内観光へご案内します。チンギスハーン広場やチベット仏教寺院ガンダン寺、博物館などモンゴルの歴史と文化を学びます。旅の締めくくりは、ホーミーや馬琴頭などの演奏を鑑賞しながら郷土料理をお楽しみください。 ☐機☐☐【ウランバートル泊 H】
12	ウランバートル 発着 東京	ウランバートル発→東京へ。 ☐機

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

シルクロードの屋根、天山山脈で花と氷河と雪山を満喫

# 天山山脈最高峰ポベータと精霊の王ハンテングリ展望 氷河上ベースキャンプ滞在 12日間

カナディアン・ロッキーを思わせる針葉樹林と大草原、そしてヒマラヤを思わせる巨峰群と大氷河を満喫します。中央天山山脈の核心部は、世界有数の氷河地帯で、天山最高峰ポベータや名峰ハンテングリなどの7,000m峰に囲まれた別天地です。氷河のキャンプ地までは、大型ヘリコプターを利用して入下山します。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 健康診断 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
7/14(火)～7/25(土)	¥896,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約46,000円)が別途必要です。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京まで同行します。
- 最少催行人数：7人 ●食事：朝10回、昼10回、夕9回
- 一人部屋利用追加料金：¥96,000(テント泊を含む)
- 利用予定ホテル：Bクラス以上。イシククル湖/カルパン ビシュケク/タマス アルマティー/デデマン
- 利用予定航空会社：アジアナ航空、ターキッシュエアラインズ

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※[標高3,800m以上の高所に宿泊するコース]にご参加の場合、所定の健康診断を受けていただきます。健康診断にかかる費用はお客様のご負担となります。  
※高山病の影響は個人差はありますが標高3,000m台後半に宿泊する場合から顕著に現れてきます。アルパインツアーでは、皆様の安全なご旅行のために専門医(日本登山医学会・登山者検診ネットワーク)のご協力のもと、所定の高山健康診断システムをとっておりますので、ご協力をお願いいたします。

## 豪快な雪山を仰ぎみる 大氷河のベースキャンプに滞在

天山山脈は、シルクロードが通じる中央アジアに、東西2,500kmの長さで延々と連なる大山脈です。西側はキルギス共和国とカザフ共和国にまたがり、東側は中国と接しています。この長大な天山山脈のうち、とくに高峰や大氷河が集中しているのが、その核心部をなす中央天山です。中央天山には、名峰ハンテングリ(7,010m)や天山最高峰ポベータ(7,439m)をはじめとする多くの高峰や、長さ約62kmの南イニリチェク氷河など多くの氷河があり、雄大な山岳世界を形づくっています。特にピラミダルな山容のハンテングリは世界的名峰として広くその名を知られており、南イニリチェク氷河上のベースキャンプは、ハンテングリ峰とポベータ峰を見渡す場所に位置しています。シーズン中は固定テント、トイレテント、大きなダイニングテントなどが常設され、快適にお過ごしいただけます。



▲ハンテングリ(右)とチャバイエフ(左)を仰ぎ見ながらモレーン(氷河堆石、石くず)に覆われた氷河上をハイキング



▲ベースキャンプでは大型固定テントで快適に過ごす ▲ベースキャンプに着陸した大型ヘリ、正面にはポベータを望む

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京発 ソウル着/発 アルマティー着	午前、東京発→ソウル経由で、中央アジアのカザフスタンの首都アルマティーへ。 【アルマティー泊】
2	アルマティー発 カルカラ着	専用車で中央天山山脈の玄関口カルカラ(2,200m)へ。周辺は美しい丘陵と花咲き乱れる高原に位置する登山基地です。 【カルカラ泊】
3	カルカラ発 メルツバッハ氷河湖 キャンプ地発	ヘリコプターで、中央天山の氷河のほとりの草地にあるメルツバッハ氷河湖キャンプ地(3,500m)へ。ヘリコプターからは壮大な天山山脈の雪山と氷河が広がります。午後、高度順応のため、キャンプ地周辺でハイキングを楽しみます(徒歩約2時間)。 【メルツバッハ氷河湖キャンプ地泊】
4	メルツバッハ氷河湖 キャンプ地発 ハンテングリ・ポベータ氷河上 ベースキャンプ着	ヘリコプターで、中央天山の核心部である南イニリチェク氷河上にハンテングリとポベータ氷河上のベースキャンプ(約4,000m)へ。ベースキャンプからはハンテングリの南面と天山最高峰のポベータ(7,439m)の大パノラマが広がります。午後、ハンテングリとポベータを仰ぎ見ながら、氷河上のキャンプ地周辺でハイキングを楽しみます(徒歩約3時間)。 【ポベータ氷河上ベースキャンプ泊】
5	ハンテングリ・ポベータ氷河上 ベースキャンプ滞在	ポベータ氷河上のベースキャンプ滞在。朝ハンテングリとポベータを仰ぎ見ながら、氷河上のキャンプ地周辺でハイキングを楽しみます(徒歩約2時間)。午後は、ベースキャンプで、ゆっくりとお過ごしください。 【ポベータ氷河上ベースキャンプ泊】
6	ハンテングリ・ポベータ氷河上 ベースキャンプ滞在 カルカラ着	ヘリコプターで花咲く高原のカルカラへ戻ります。着後は、ゆっくりとお過ごしください。 【カルカラ泊】
7	カルカラ滞在	ヘリコプターフライト予備日。カルカラ滞在の場合は、遊牧生活をおくるキルギス族のユルタ(移動式テント)訪問や花咲く高原をハイキングなど。希望者は別料金で乗馬体験も可能です。 【カルカラ泊】
8	カルカラ滞在	ヘリコプターフライト予備日。カルカラ滞在の場合は、遊牧生活をおくるキルギス族のユルタ(移動式テント)訪問や花咲く高原をハイキングなど。希望者は別料金で乗馬体験も可能です。 【カルカラ泊】
9	カルカラ発 イシククル湖畔着	カルカラ発、イシククル湖へ。 【イシククル湖畔泊】
10	イシククル湖畔発 ビシュケク着	専用車でビシュケクへ戻ります。 【ビシュケク泊】
11	ビシュケク発 アルマティー着/発	朝、国境を越えてカザフスタンへ。夜、アルマティー発、帰国の途へ。 【機中泊】
12	ソウル着/発 東京着	朝、ソウル着、乗り継いで、午後、東京着。 【機中泊】

※航空会社の都合や現地事情により日程は一部変更される場合があります。



ナミビアから南アフリカへ、赤く美しい砂丘に登り、季節限定の花に出会う旅



# ナミブ砂漠と花の楽園ナマクワランド、世界三大瀑布ビクトリア・フォールズ 13日間

南アフリカのナマクワランド一帯の原野一面にワイルドフラワーが咲く季節限定の特別企画です。ナミビアのウォルスベイから南アフリカのケープタウンまでアフリカ大陸南西端を北から南へ約1,600kmを縦断します。荒涼としたナミビアの大地から花咲く南アフリカへと、国境越えの日の色彩の変化は圧巻です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
8/15(土)～8/27(木)	¥1,326,000



野中英樹 (のなか ひでき)

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約50,620円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ビザ=ジンバブエ、ザンビア/ジンバブエ・ビザ実費45USD、ザンビア・ビザ実費50USD+申請料4,400円(2026年1月20日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京まで同行します。
- 最少催行人数：10人 ●食事：朝10回、昼8回、夕10回
- 利用予定ホテル：Bクラス以上。ウォルスベイ/プロテアベリカンベイ ケープタウン/コモドール ビクトリアフォールズ/エレファントヒル
- 一人部屋利用追加料金：¥146,000(ロッジ泊、テント泊を含む)
- 利用予定航空会社：エチオピア航空、キャセイパシフィック航空、全日空、南アフリカ航空、大韓航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※花の開花状況は毎年の気象条件により異なります。花の咲き具合により上記日程表中の場所ではワイルドフラワーが見られない場合、訪問地やハイキングコースを変更する場合があります。



▲ナミブ砂漠最奥のデッド・フレイ

## ナマクワランド

南アフリカ北ケープ州の乾燥地帯ナマクワランドは一年一度、8月から9月(南半球の春)の驚異的ともいえる花の群生のすばらしさによって、世界屈指の野性の花の宝庫として知られてます。



▲ナマクワデザインのオレンジがまぶしい

## ビクトリア・フォールズ

ジンバブエとザンビアの国境に位置する世界三大瀑布のひとつ。イギリスの探検家リビングストンによって世界に紹介されたこの大瀑布は幅1701m、落差118mという圧倒的スケールを誇ります。



▲世界三大瀑ビクトリア・フォールズ

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 東南アジア内都市 着/発	午後、東京発→東南アジア内都市で乗り継ぎ→エチオピアのアジスアベバへ。 [機中泊]
2	アジスアベバ 着/発 ウォルスベイ 着	アジスアベバで乗り継ぎ→大西洋岸のウォルスベイへ。午後、月面のような風景が広がる <b>ムーン・ランドスケープ</b> を訪れます。 [ウォルスベイ泊 H]
3	ウォルスベイ 発 セスリエム 着	[世界遺産のナミブ砂漠の中心地セスリエムへ(約5時間)。] [セスリエム泊 L または T]
4	<b>DUNE45登頂</b> <b>ソッサスフレイ</b> <b>デッド・フレイハイキング</b> セスリエム 発 マリエンタル 着	朝、登山口(610m)へ。 <b>ナミブ砂漠で最も人気の高い美しい砂丘DUNE45(710m)に登ります。赤色の砂丘群の大パノラマを満喫します(徒歩約45分)。</b> その後、 <b>ソッサスフレイ</b> へ。 <b>枯れたアカシアの木が残るデッド・フレイを、徒歩で訪ねます(徒歩約1時間)。</b> マリエンタル近郊へ(約5時間)。 [マリエンタル泊 L]
5	マリエンタル 発 <b>ブッシュマン・ウォーク</b> <b>キバツツリーの森</b> フィッシュ・リバー・キャニオン 着	朝、 <b>サン族(ブッシュマン)の末裔とともにカラハリ砂漠をウォーキング(徒歩約1時間)。</b> 乾燥した大地で狩猟民族として暮らす秘訣を教わります。午後、 <b>アフリカの大地に生えるキバツツリーの森</b> を見学。その後、ナミビア南部のフィッシュ・リバー・キャニオンへ。 [フィッシュ・リバー・キャニオン泊 H]
6	フィッシュ・リバー・キャニオン 発 <b>フィッシュ・リバー・キャニオン</b> スプリングボック 着	午前、 <b>アフリカ最大級の大渓谷フィッシュ・リバー・キャニオンへ(約2時間)。</b> <b>渓谷を見下ろす展望台を散策(徒歩約1時間)後、</b> <b>国境を越えて南アフリカへ。</b> ナマクワランドの中心の街スプリングボック近郊へ(約4時間)。 [スプリングボック近郊泊 L]
7	スプリングボック 滞在 <b>ナマクワ国立公園ハイキング</b> <b>グーギャップ自然保護区</b>	終日、スプリングボック近郊滞在。 <b>午前、ナマクワ国立公園へ(約1時間)。</b> <b>園内につけられたトレイルを花を愛でながらハイキング(徒歩約3時間)。</b> 午後、 <b>グーギャップ自然保護区</b> に立ち寄り、フラワー・ウォッチングを楽しみます。 [スプリングボック近郊泊 L]
8	スプリングボック 発 <b>多肉植物養育場</b> <b>ハンタム国立植物園</b> クランウィリアム 着	朝、 <b>ヴァンリンズドルブの多肉植物養育場へ(約3.5時間)。</b> その後、 <b>ハンタム国立植物園へ(約1時間)。</b> 午後、 <b>園内の花を愛でながら散策(徒歩約1時間)。</b> <b>セダーバーグ山麓の玄関口のクランウィリアムへ(約2時間)。</b> [クランウィリアム泊 L]
9	クランウィリアム 発 <b>ウエストコースト国立公園ハイキング</b> ケープタウン 着	朝、 <b>ウエストコースト国立公園へ(約3時間)。</b> <b>園内に作られたトレイルをハイキング(徒歩約1.5時間)。</b> 午後、園内の自動車専用道路を回り、フラワー・ウォッチング。 <b>ケープタウンへ(約2時間)。</b> [ケープタウン泊 H]
10	ケープタウン 滞在 <b>テーブルマウンテン見学</b> <b>ケープポイントハイキング</b>	終日、ケープタウン滞在。 <b>ロープウェイでテーブルマウンテン山頂駅へ。</b> <b>テーブルマウンテンの頂上台地を見学。</b> 午後、ケープポイントへ(約1.5時間)。 <b>ケープポイントにて軽ハイキング(徒歩約1時間)。</b> [ケープタウン泊 H]
11	ケープタウン 発 ビクトリア・フォールズ 着 <b>ザンベジ川サンセット・クルーズ</b>	朝、ケープタウン発→ヨハネスブルグで乗り継ぎ、ジンバブエのビクトリア・フォールズまたはザンビアのリヴィングストンへ。夕刻、 <b>ザンベジ川のサンセット・クルーズ(約2時間)をお楽しみいただきます。</b> [ビクトリア・フォールズ泊 H]
12	<b>ビクトリア・フォールズ国立公園</b> ビクトリア・フォールズ 発 アジスアベバ 着/発	<b>世界遺産のビクトリア・フォールズ周辺を散策(徒歩約1時間)。</b> 午後、ビクトリア・フォールズまたはリヴィングストン発→アジスアベバで乗り継ぎ、東南アジア内都市へ。 [機中泊]
13	東南アジア内都市 着/発 東京 着	東南アジア内都市で乗り継ぎ、東京へ。夜、東京着。 [機中泊]

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

モンタナ州からワイオミング州へ世界遺産公園を巡る

# イエローストーン&グランドティトン 2大国立公園ハイキング 8日間

世界初の国立公園イエローストーンと映画「シェーン」の舞台グランドティトンを訪れます。世界遺産を含む、アメリカでも屈指の人気を誇る2大国立公園でのハイキングをお楽しみください。アメリカの古き良き時代を思い起させる場所とともに、自然保護のルーツにも触れる山旅です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 (全ホテル)

出発日～帰国日	旅行代金
8/22(土)～8/29(土)	¥926,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約58,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- 米国ESTA(エスタ=電子渡航認証システム、実費40USDドル+申請料金4,400円、2026年1月20日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京まで同行します。
- 最少催行人数：8人 ●食事：朝6回、夕6回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上。アイダホフォールズ/グランドホテル、ハンプトン、クオリティ、コンフォート、スリープ&スイツ イエローストーン国立公園周辺/ステージ、ケリー、イエローストーン、ウエストゲート、グランドビレッジ グランドティトン国立公園周辺/コルターベイ ソルトレイクシティ/プラザ、コンフォート、ハイアット、リトルアメリカ、クリスタル、Hリエクスプレス
- 一人部屋利用追加料金：¥120,000
- 利用予定航空会社：エアカナダ、ウエストジェット航空、アメリカン航空、デルタ航空、全日空、ユナイテッド航空、日本航空、シンガポール航空、ハワイアン航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※このコースは、移動時の専用車をツアーリーダーが運転します。車両及びツアーリーダーは、現地手配会社に所属しています。なお、出発日や参加者数によっては、別途ドライバー・ガイドを手配する場合があります。

## 世界最初の国立公園イエローストーン

イエローストーン国立公園には、地球上の間欠泉の約3分の1が存在し、バイソンをはじめとする哺乳類や絶滅危惧種の動物も数多く生息しています。1995年には「危険にさらされている世界遺産リスト」にも登録されました。地球の鼓動とともに絶妙のバランスで生態系が保たれています。



▲多くの間欠泉が吹き上げる

### オールド・フェイスフル間欠泉

50mの高さにも及ぶ世界最大級の間欠泉です。約60～110分の間隔で熱水を吹きあげることが特徴で、その圧倒的な迫力に、地球本来の姿を体験することができます。



▲オールド・フェイスフル間欠泉

### グランド・プリズマティック・スプリング

水中に住む微生物によりオレンジや赤など美しい色彩が広がる独特な温泉です。高台から望むことでより美しさが際立ちます。公園内でも人気のスポットです。



▲グランド・プリズマティック・スプリング

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 ソルトレイクシティ着/発 アイダホフォールズ 着	午後、東京発→北米経由都市で乗り継ぎ→ソルトレイクシティへ。着後アイダホフォールズへ。 ☐機☑【アイダホフォールズ泊 H】
2	アイダホフォールズ 発 イエローストーン国立公園 ハイキング イエローストーン 国立公園周辺 着	☑世界最初の国立公園で世界遺産のイエローストーン国立公園に向けて出発します。★ミッドウェイ・ガイザーでグランド・プリズマティック・スプリングやエクセルシオール・ガイザーを間近に見ることが出来る遊歩道の散策を楽しみます。 ☐☑☑【イエローストーン国立公園周辺泊 H】
3	イエローストーン 国立公園周辺 滞在 イエローストーン国立公園 ハイキング	☑イエローストーン国立公園の終日観光とハイキングに出発します。ハイデンバレーやマッドボルケーノ、アーティストポイント、豪快に流れ落ちる滝、イエローストーン国立公園の絶景を楽しめる展望台など、見所を巡ります。渓谷の中でランチの後はマンモス・ホットスプリングスへ向かいます。テラスマウンテンや間欠泉、ボーセリンベイスンでのショートハイキングなどイエローストーンならではの絶景を楽しみます。 ☐☑☑【イエローストーン国立公園周辺泊 H】
4	イエローストーン 国立公園周辺 発 グランドティトン国立公園 ハイキング グランドティトン 国立公園周辺 着	☑映画「シェーン」の舞台としても有名な、グランドティトン国立公園へ。★ジャクソンレイク・エリアやジェニーレイク、タガートレイク(徒歩約3時間)などのグランドティトン国立公園内の美しい景観が楽しめるところで散策やハイキングを行います。 ☐☑☑【グランドティトン国立公園周辺泊 H】
5	グランドティトン 国立公園 滞在 グランドティトン国立公園 ハイキング	☑グランドティトン国立公園で終日観光とハイキングを楽しみます。★グランドティトン国立公園のコルターベイ周辺やレイクシュアトレイルなどでハイキングをしながらグランドティトン国立公園の絶景を楽しみます。 ☐☑☑【グランドティトン国立公園周辺泊 H】
6	グランドティトン 国立公園周辺 発 ソルトレイクシティ着	午前中は★グランドティトン国立公園のシュワバチャーズやモルモンロウなどを訪れこれぞグランドティトンとえる絶景を満喫します。ジャクソンで昼食後、ソルトレイクシティへ向かいます。 ☐☑☑【グランドティトン国立公園周辺泊 H】
7	ソルトレイクシティ発 北米経由都市 着/発	朝、ソルトレイクシティ発→北米経由都市で乗り継ぎ→東京へ。 ☐☑機【機中泊】
8	東京 着	午後、東京着。 機

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

### イエローストーンのグランドキャニオン

イエローストーン川が浸食作用によって形成された渓谷沿いをハイキング。イエローストーンを代表する落差28メートルのローアー滝の壮大な景色は圧巻です。



▲壮大なローアー滝

### グランドティトン国立公園

イエローストーンのすぐ南に位置し西部劇「シェーン」のラストシーンの舞台としても有名です。急峻な山々が連なる姿はまるで絵葉書のような美しい景観が広がります。



▲美しいティトン連峰



巨木の森、憧れの大渓谷、灼熱の砂漠。趣の異なる国立公園めぐりと大リーグ観戦

特別  
企画

# カリフォルニアの国立公園をめぐる ハイキングと大リーグ観戦 8日間

カリフォルニア州には個性溢れる素晴らしい国立公園があります。その大自然を様々な角度から体験してください。そしてこのコースは日本人選手が大活躍しているロサンゼルスに本拠地を置く大リーグの試合を観戦する特別企画です。アメリカの大自然とともにアメリカの国民的スポーツも体験しましょう。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
9 / 5 (土)～9 / 12(土)	¥872,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約55,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- 米国ESTA(エスタ=電子渡航認証システム、実費40USDドル+申請料金4,400円、2026年1月20日現在、手数料・消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー：東京から東京またはロサンゼルスからラスベガスまで同行。
- 最少催行人数：10人 ●食事：朝5回、夕5回
- 一人部屋利用追加料金：¥148,000(ロッジ泊を除く)
- 利用予定ホテル：Bクラス以上。ロサンゼルス/クラウンプラザ、マリオット、ベストウェスタン、ラ・クインタ ラスベガス/ルクソール、エクスカリバー、パークMGM、サーカス・サートラスフィア、ニューヨークニューヨーク、ラクスモア、パリオーズ
- 利用予定航空会社：エアカナダ、ウエストジェット航空、デルタ航空、アメリカン航空、全日空、ユナイテッド航空、日本航空、シンガポール航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※このコースは、移動時の専用車をツアーリーダーが運転します。車両及びツアーリーダーは、現地手配会社に所属しています。なお、出発日や参加者数によっては、別途ドライバー・ガイドを手配する場合があります。

## ヨセミテ国立公園

緑の草原から1,000mの標高差でそそり立つエルキャピタン、岩壁から流れ落ちる滝、清流や池塘が織りなす幻想的な光景など、大自然の創りだす圧巻の景色が広がります。自然保護発祥の地ともいわれ、今から100年以上前の1890年に国立公園に指定されましたが、国立公園の父と称されるジョン・ミュアもこの地に小屋を建てて住みつき、自然保護の必要性、重要性を訴えました。なお1984年にはユネスコの世界自然遺産に指定されています。全米でも屈指の人気を誇る国立公園であり世界中から多くの人々が訪れますが、ほとんどは車で行ける展望台など一部の場所です。当ツアーではハイキングをすることで自然の懐に入り、ヨセミテの持つ本当の魅力に触れていただきます。

## セコイア&キングスキャニオン国立公園

シエラネバダ山脈の南部にあるセコイア国立公園とキングスキャニオン国立公園は隣接する別個の国立公園ですが一つにまとめて管理されています。セコイア国立公園には地球上で最大の巨木「シャーマン将軍の木」をはじめとしたジャイアントセコイアの森が広がります。キングスキャニオン国立公園はアメリカでも最も深い渓谷や岩峰群が見所です。



▲世界最大の巨木「シャーマン」



▲ジャイアントセコイアの巨木の森をハイキング

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 北米經由都市着/発 ロサンゼルス 着	午後、東京発→北米經由都市へ。 →乗り継ぎロサンゼルスへ。 夕刻、ロサンゼルス着後  市内のホテルへ。 【ロサンゼルス泊 H】
2	大リーグ観戦 ロサンゼルスまたは ペーカーズフィールド 着	大リーグ観戦へ。大リーグ最大の収容人数を誇る球場で、日本人選手が活躍する大リーグの試合(デイゲーム)を観戦します。本場大リーグの試合を楽しんだ後、 ロサンゼルスまたはペーカーズフィールドへ。 【ロサンゼルスまたはペーカーズフィールド泊 H】
3	ロサンゼルスまたは ペーカーズフィールド 発 セコイア&キングスキャニオン 国立公園 着	朝、 セコイア&キングスキャニオン国立公園へ。 ★モロロックの岩山や、世界で3番目に大きな木である高さ81mのグラント將軍の木へのトレイル、セコイアの森の中にぽっかりと開けた温屋、フレストメドウなどでのハイキングを楽しみます(徒歩約2時間)。 【セコイア国立公園泊 L】
4	セコイア国立公園 発 ヨセミテ国立公園周辺 着 ヨセミテ国立公園散策	午前、 専用車で世界遺産のヨセミテ国立公園へ(約5時間)。ヨセミテ国立公園では渓谷を一望するグレイシャーポイントなどで素晴らしい景色を楽しみます。その後、国立公園周辺のホテルへ。 【ヨセミテ国立公園周辺泊 H】
5	ヨセミテ国立公園周辺 滞在 ヨセミテ国立公園 ハイキング	終日、ヨセミテ国立公園滞在。 ★ジョン・ミュアトレイルの一部を歩き、ハーフドームの裏にある、バーナル滝をめぐるハイキング(徒歩約3時間)や、ミラーレイクなどへのハイキング(徒歩約1時間)を楽しみます。 【ヨセミテ国立公園周辺泊 H】
6	ヨセミテ国立公園 発 デスバレー国立公園 着 デスバレー国立公園散策 ラスベガス 着	午前、 専用車でデスバレー国立公園へ(約3.5時間)。“悪魔のゴルフコース”“悪魔のコーン畑”“バッドウォーター”など死の谷と呼ばれる風景が展開します。その後、 ラスベガスへ。 【ラスベガス泊 H】
7	ラスベガス 発 北米經由都市着/発	午前、ラスベガス発、→北米經由都市で乗り継ぎ、東京へ。 【機中泊】
8	東京 着	午後、東京着。 

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## ヨセミテ国立公園

そそり立つ岩壁と深い谷、巨大な滝、巨木の森など公園全体の95%が原生地域に指定され、今なお深い自然が残ри、生物学的な多様性がよく知られているところです。



▲ヨセミテの壮大な景観を楽しむ

## デスバレー国立公園

全米の国立公園の中で最大の面積があり、最も暑く乾燥した場所とされています。過酷な自然環境が生み出す荒涼とした風景は死の谷と呼ぶにふさわしい景観です。



▲デスバレー、悪魔のゴルフコース

ジョージアの世界遺産、上スワネチ地方で、主峰と怪峰を仰ぐ山村にそれぞれ連泊

# コーカサス山脈・展望ハイキングと 世界遺産スワネチ地方を訪ねる旅 12日間

ジョージア・コーカサスの核心部で、世界遺産のスワネチ地方に聳える国の最高峰シハラと怪峰ウシュバ。これらジョージアを代表する2大名峰を仰ぐ山村にそれぞれ連泊して、展望ハイキングを満喫します。世界遺産の教会、ワイン発祥の地といわれるジョージアのワイナリーもご案内する盛りだくさんの内容です。秋は晴天率が高く、山容を望むにはお勧めの季節です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
9 / 4 (金)～9 / 15 (火)	¥846,000

- 燃料サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約75,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京まで同行します。
- 最少催行人数：7人 ●食事：朝9回、昼8回、夕9回
- 利用予定ホテル：Bクラス以上。トビリシ/ヒルトンガーデン・イン クタイシ/クタイシ・イン メスティア/サンタワー
- 一人部屋追加料金：¥96,000(マゼリのロッジ泊を除く)
- 利用予定航空会社：カタール航空、ターキッシュエアラインズ、ポーランド航空



ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

※パスタは現地慣習により一般的ではありません。一部のホテルの浴室設備はシャワーのみとなる場合があります。

※ウシュグリ及びマゼリのロッジは、部屋数が限られており、大きさ、設備に差異があるため、ご参加者の方全員が同じ設備、大きさの部屋をご利用できない場合があります。また、一人部屋の手配はできません。シャワーなどの設備も利用できない場合があります。

## “迫力の氷雪群”コーカサス山脈の 核心部でゆったり5泊

ジョージア(旧グルジア)北西部、コーカサスの核心部で世界遺産の上スワネチ地方に聳えるジョージア最高峰シハラ(5,068m)や怪峰ウシュバ(4,710m)や氷雪を抱いたテトヌルド。これらジョージアを代表する山群でハイキングを楽しむコーカサス山脈のハイライトコースです。ジョージア最高峰シハラを仰ぎ見るウシュグリ村のロッジに連泊して、広い谷をシハラ峰を眺めながら歩きます。最後に訪れるマゼリ村では、おしゃれなレストランを併設し、怪峰ウシュバを仰ぎ見るロッジに連泊して、展望ハイキングを楽しみます。世界遺産の教会や修道院、日本の和食と同様に世界遺産に指定されたジョージアのワインなども魅力です。

### 欧州最高所の ウシュグリ村

ヨーロッパ最高所の定住村で知られるウシュグリからは、最高峰シハラが眼前に迫ります。また秋の時期は周辺は黄葉に覆われ、素晴らしい展望が広がります。



▲ウシュグリ村から展望するジョージア最高峰シハラ(5,068m)

### 怪峰ウシュバ峰を 望むロッジに滞在

マゼリ村ではおしゃれなレストランが併設され、怪峰ウシュバを仰ぎ見るロッジに連泊します。地元でとれる野菜やチーズなどの食事も楽しみです。



▲怪峰ウシュバ(4,710m)を望みながら美しい新緑の中をハイキング



▲ウシュバ峰(4,710m)の目の前に建つロッジ



▲ジョージアはワイン発祥の地と言われる

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	午後、東京発→中東または欧州内乗り継ぎ都市へ。 □□機【機中泊】
2	中東または 欧州經由都市 着/発 トビリシ 着	早朝、中東または欧州内乗り継ぎ都市着→乗り継いでジョージア共和国の首都で、マルコポーロが「絵に描いたように美しい」と讃えたトビリシ着。 □□機【トビリシ泊 H】
3	トビリシ 発 クタイシ 着	専用車で古都ムツヘタへ。世界遺産のスヴェティツボヴェリ教会を見学。丘の上には世界遺産のジュヴァリ教会が望めます。その後、かつてはシルクロードのひとつであった、国を東西に走る街道を西へ。かつての首都でジョージア第2の都市クタイシへ。途中、ワイン発祥の地と言われるジョージアのワイナリーを見学します。 ■■■■■【クタイシ泊 H】
4	クタイシ 発 マゼリ 着	2つの世界遺産群 世界遺産の スワネチ地方 午前、世界遺産ゲラティ修道院と世界遺産のパブラチ大聖堂を訪問。■ズグディディへ。■四輪駆動車に乗り換え、エングリ峡谷をコーカサス核心部の仙境で世界遺産の上スワネチ地方へ。コーカサス随一の怪峰ウシュバ(4,710m)を仰ぎながら、コーカサス随一の怪峰ウシュバ(4,710m)を仰ぐ山深いマゼリ村(1,600m)へ。 ■■■■■【マゼリ泊 L】
5	マゼリ 滞在 怪峰ウシュバ 展望ハイキング	マゼリ滞在。▲怪峰ウシュバを至近距離から仰ぎ見るグリ谷の絶景地(標高約2,400m)あたりまでハイキングを楽しみます(徒歩約4時間)。ウシュバは北峰と南峰の2つのピークを望むことができます。 ■■■■■【マゼリ泊 L】
6	マゼリ 発 ウシュグリ 着	■四輪駆動車で、ウシュバ峰などを眺めながら峠を越え、ヨーロッパ最高所の定住村と称され、石の塔が立ち並ぶウシュグリ村(2,200m)へ。ウシュグリ村からは、正面にジョージア最高峰シハラ(5,068m)の氷壁がそびえます。 ■■■■■【ウシュグリ泊 L】
7	ウシュグリ 滞在 最高峰シハラ ハイキング	▲ジョージア最高峰のシハラ峰(5,068m)の氷壁に向かって、広い谷のハイキングを楽しみます。シハラ峰の岩山が間近に迫ります(徒歩約4時間)。 ■■■■■【ウシュグリ泊 L】
8	ウシュグリ メスティア 発 メスティア村散策	■四輪駆動車で、上スワネチ地方の中心メスティア村(1,420m)へ。石の塔が立ち並ぶ村からは、テトヌルド峰などが望めます。午後はメスティア村を散策します。 ■■■■■【メスティア泊 H】
9	メスティア クタイシ 発 クタイシ 発	専用車で、スワネチ地方を後にして、クタイシへ。 ■■■■■【クタイシ泊 H】
10	クタイシ 発 トビリシ 着	午前、1000年以上前に礼拝堂が建てられ、いまだに謎に包まれた、1本の岩柱の上にたつ聖地カツヒの塔へ。その後、トビリシへ。 ■■■■■【トビリシ泊 H】
11	トビリシ市内観光 トビリシ 発	午前、トビリシ観光。ペルシャの影響を受けた、ペランダ付きの木造の伝統家屋が並ぶ旧市街、グルジア正教の総本山シオニ教会、ゴリキも幽閉された監獄でもあったメテヒ教会などをご案内します。午後、トビリシ発→中東または欧州内乗り継ぎ都市へ。 ■■■■■【機中泊】
12	中東または 欧州經由都市 着/発 東京 着	未明、→中東または欧州内乗り継ぎ都市で乗り継ぎ、東京へ。夕刻、東京着。 ■■■■■

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



# アルバニア&モンテネグロ 2座登頂と国境越えトレッキング 10日間

アルバニアとモンテネグロにまたがるディナル・アルプスは、ヨーロッパでも屈指の手つかずの大自然が残る山岳地帯です。国境を越える古道を歩き、ヴァユシャ峰、クンジ・イ・ラガミト峰へ登頂。ヨーロッパ最後の秘境と称される山岳景観を味わい、国境稜線の大展望、素朴な山村の滞在と温かな交流を通じて、バルカン半島の奥深い自然と文化を体感します。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
9/7(月)～9/16(水)	¥762,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約00,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはティラナからティラナまで同行します。
- 最少催行人数：10人 ●食事：朝8回、昼6回、夕6回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上。ティラナ/オックスフォード、セントラル ヴァルボナ/ネオクツラ
- 一人部屋利用追加料金：¥50,000(ロッジ泊を除く)
- 利用予定航空会社：ターキッシュエアライン、ルフトハンザドイツ航空、エミレーツ航空、全日空、フィンエアー

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。



▲アルバニア・アルプスの絶景を眺めながらのトレッキング



▲迫力のアルバニア・アルプス



▲ティラナのスカンデルベグ広場

## 二カ国縦走

アルバニアとモンテネグロの稜線を歩いて結ぶ国境の縦走トレッキングは稜線上から二国の山岳風景を一望できる達成感あふれる山旅です。



▲歩きごたえのある山々をトレッキングで越える

## 2つの名峰登頂

ヴァユシャ山(アルバニア2,059m)とクンジ・イ・ラガミト山(1,868m)など、展望に優れた名峰の山頂からは大パノラマが待っています。



▲雄大な山岳風景が楽しめる

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京発 欧州中東経由都市着/発 ティラナ着	東京発→欧州・中東経由都市へ。 深夜ティラナ着。市内のホテルへ。 機機【ティラナ泊 H】
2	ティラナ 滞在 世界遺産ベラト観光	ユネスコ世界遺産ベラトへ(約2時間)。城塞と石造りの旧市街を歩き、ベラト城やオヌフリ博物館を見学し、アルバニアの歴史と宗教文化に触れます。農家訪問と伝統料理の昼食後ティラナへ戻り、オスマン帝国、イタリア統治時代、社会主義時代の面影が混在する魅力的な町並みを散策します。朝朝【ティラナ泊 H】
3	ティラナ発 スラピ滝ハイキング レプシュ着	北部アルバニア・アルプスのケルメンへ(約4時間)。セルツェ村から落差約30mのスラピ滝を目指すハイキング(標高差：750m往復/徒歩約5時間)。牧草地とブナ林に囲まれた高原の村レプシュへ(約30分)。朝朝【レプシュ泊 L】
4	レプシュ発 ヴァユシャ山登頂 ヴサイ着	国境稜線を越えるダイナミックな縦走ハイク。森林帯から稜線へ登りヴァユシャ山(2,059m)に登頂。山頂からはアルバニアとモンテネグロ両国を一望。ゲルバエヘ下山(標高差：登り1,000m/下り850m/徒歩約6時間)。ゲルバヤからモンテネグロのヴサイへ(約30分)。朝朝【ヴサイ泊 L】
5	ヴサイ発 国境越え古道ハイキング ヴァルボナ着	ボヤナ渓谷沿いに登山口ザスタンへ。国境稜線を越え、氷河浸食のクカイ渓谷を下りアルバニアのヴァルボナ谷へ(標高差：登り1,000m/下り1,350m/徒歩約8時間)。朝朝【ヴァルボナ泊 H】
6	ヴァルボナ 滞在 プロスロピ峠ハイキング	チェム村からスタート。草原とガレ場を経てプロスロピ峠(2030m)へ。渓谷と森を抜け、谷を下りヴァルボナへ(標高差：登り100m/下り1,200m/徒歩約7時間)。朝朝【ヴァルボナ泊 H】
7	ヴァルボナ 滞在 クンジ・イ・ラガミト山登頂	ヴァルボナ谷東側の森林帯から登り、草原状の斜面を経てクンジ・イ・ラガミト山頂へ(1,868m)。ヴァルボナ谷を一望する絶景を楽しみ、往路を下山(標高差：900m往復/徒歩約7時間)。朝朝【ヴァルボナ泊 H】
8	ヴァルボナ発 コマン湖クルーズ ティラナ着	フェルザへ移動(1時間)。コマン湖の切り立つ断崖が続くフィヨルドの景観を楽しみます。スローフードで知られるフィシュテ村で昼食後ティラナに戻り(2時間)ティラナの市内観光へ。夕食は、アルバニアの伝統的なレストランへ。朝朝【ティラナ泊 H】
9	ティラナ 発	早朝、ティラナ発→中東・欧州経由都市へ。朝機【機中泊】
10	欧州中東経由都市着/発 東京着	欧州・中東経由都市で乗り継ぎ→東京へ。機朝朝

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## 原生の大自然

国土7割を山岳地帯が占めるアルバニア。氷河地形の谷、緑深いブナ林や岩峰など、美しい自然に抱かれたバルカン山脈核心部を歩きます。



▲氷河地形の谷から森、岩峰と自然が広がる

## 山村の温もり

山中に建つゲストハウスに泊まり、素朴な郷土料理と温かなもてなしに触れ、どこか懐かしい山岳文化の雰囲気を感じます。



▲周囲を岩峰に囲まれたヴァルボナ村近郊

ドロミテ山群を東から西へ。秋ならではの厳選したハイキング

# 秋のドロミテ山群 ベストハイキング 10日間

9月中旬からのドロミテはシーズンオフになるため、本来の静けさを取り戻します。自然を本当に愛する方にとって、秋のドロミテを訪れることは最も適した季節と言えます。今回は美しく色付く自然を楽しみながら歩けるハイキングコースを用意しました。カラマツやブナの木が圧倒的に美しく輝きを見せる秋のドロミテを満喫してください。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 (全ホテル)

出発日～帰国日	旅行代金
9/12(土)～9/21(月)	¥998,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約83,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはベネチアからベネチアまで同行します。
- 最少催行人数：10人 ●食事：朝7回、昼6回、夕5回
- 利用予定ホテル：Bクラス以上。コルチナ/セーナホテル ラ・ピナ/チアサノレイルオルティセイ/ガルニスナルトナーオーフ
- 一人部屋利用追加料金：¥176,000
- 利用予定航空会社：エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、ターキッシュエアラインズ

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

## ドライ・チンネンハイキング

数あるドロミの岩峰の中でも特に代表的な岩峰と言われるのが、ドライ・チンネンです。そびえ立つ大岩峰の裾野を、高原台地や山小屋をめぐって岩峰群を一周します。



▲秋のドライ・チンネンを歩く

## コルチナ・ダンペッツォ

ドロミテの東の中心都市で、町にしながらドロミテらしい山容を目にすることができます。町を貫くのは歩行者天国の石畳の坂道「コルソ・イタリア」。夏、冬ともに多くの観光客で賑わう高級リゾート地。1956年に引き続き2026年の冬季オリンピックの開催都市に決まっています。



▲ドロミテの女王と呼ばれるコルチナ

## オルティセイ

ドロミテ西部、ガルデナ谷の入口に位置する人気のリゾート街。第一次世界大戦まではオーストリア領だったので、この地域ではドイツ語とイタリア語の二通りの表記になっています。ドイツ語ではザンクトウルリッヒ。伝統的な木彫りの民芸品が名物となっています。



▲サッソルンゴを遠望するオルティセイの街

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 中東経由都市 着	夕刻、東京発→中東経由都市へ。 ☐☐☐【機中泊】
2	中東経由都市 発 ベネチア 着/発 コルチナ 着	未明、中東経由都市発→ベネチアへ。着後、☐☐☐専用車で、東チロル最大の山岳リゾート、コルチナへ(約2.5時間)。 ☐☐☐【コルチナ泊 H】
3	コルチナ 滞在 チンクエトリ 展望ハイキング	路線バスでスコイアットリへ。☐☐☐スコイアットリ小屋へ上がると、トファーナ山群を背景にドロミテを象徴する岩塔群が聳えるチンクエトリの展望が広がります。天候などに応じてアヴェラウ小屋やヌヴォラウ小屋まで足を延ばす展望ハイキングの後、周回ルートを歩きます(徒歩約3時間)。 ☐☐☐リフトと路線バスでコルチナへ。 ☐☐☐☐☐【コルチナ泊 H】
4	コルチナ 滞在 名峰ドライ・チンネン 一周ハイキング	☐☐☐専用車でオーロンツォ小屋(2,320m)へ。☐☐☐垂直の大北壁をもつ3つの岩峰ドライ・チンネンを一周ハイキング(徒歩約5時間)。その後、専用車でコルチナへ戻ります。 ☐☐☐☐☐【コルチナ泊 H】
5	コルチナ 発 ラガツォイ小屋 ハイキング ラ・ヴィラ 着	路線バスでファルツァレゴ峠へ。☐☐☐ケーブルカーで稜線へと上がりラガツォイ小屋から展望ハイキング。幾重にも重なるドロミテの山並みを楽しめます。視界が開ける旅に姿を変えるドロミテの山岳風景を楽しみながら峠まで歩いて下ります(徒歩約4時間)。 ☐☐☐アルタ・パディア地方のラ・ヴィラへ。 ☐☐☐☐☐【ラ・ヴィラ泊 H】
6	ラ・ヴィラ 滞在 プラロンジャ高原 ハイキング	☐☐☐プロンジャ高原(2,157m)へ。☐☐☐ピッツ・ライラ(2,078m)からはアルプスらしいこうだ否牧草が広がりがこれまでの岩峰中心の景観とは異なる、穏やかで開放的な雰囲気を楽しめます。標高2,000mを越える高原を横断しながらトファーナ山群やアルタ・パディア山群の遮る物のない風景が続きます(徒歩約4時間)。ピッツ・ラ・イーラから☐☐☐ケーブルカーで下山。 ☐☐☐☐☐【ラ・ヴィラ泊 H】
7	ラ・ヴィラ 発 プエス小屋ハイキング オルティセイ 着	朝、☐☐☐リフトでガーデナツチャへ。登ってガーデナツチャ峠(標高約2,543m)へ。☐☐☐ここからプエス小屋まではマルモラーダや周辺の山々の素晴らしい景色を眺めながらのハイキングです。小屋からは長い坂道を下り(徒歩約7時間)、美しい渓谷と村の風景を楽しみながら、バスでオルティセイへ。 ☐☐☐☐☐【オルティセイ泊 H】
8	オルティセイ 滞在 セチューダ山群 ハイキング シウジ高原 ハイキング	朝、☐☐☐リフトでセチューダ展望台へ。☐☐☐ドロミテの名峰群を一望しながら、セチューダ山群往復ハイキング。 ☐☐☐ロープウェイでシウジ高原へ上がり、☐☐☐サッソルンゴやランフ・ウエルなどの美しい山々を眺めながらハイキング。往路をオルティセイへ戻ります(徒歩約5～6時間)。 ☐☐☐☐☐【オルティセイ泊 H】
9	コルチナ 発 ベネチア 着/発 中東経由都市 着	☐☐☐専用車でベネチアへ。 午後、ベネチア発→中東経由都市へ。 ☐☐☐☐☐【機中泊】
10	中東経由都市 発 東京 着	深夜、中東経由都市発→夜、東京着。 ☐☐☐☐☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。



▲ラガツォイ小屋からの抜群の展望



**新企画** 英国3大国立公園を歩く感動と挑戦のロングトレイル

# アイリッシュ海から北海へ 英国横断“コースト to コースト” 12日間

英国横断のロングトレイル“コースト to コースト”を歩く旅は三つの国立公園と湖水地方の絶景を満喫する感動体験です。歴史ある宿やパブ文化に触れ旅情を味わう特別な日々をお楽しみください。羊の群れ、石垣の丘陵から荒野を越え、最終日は北海に到達する、達成感で締め括る12日間の旅路です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 (全ホテリ泊)

出発日～帰国日	旅行代金
9/27(日)～10/8(木)	¥1,180,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約83,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- 英国ETA(=電子渡航認証システム、実費16ポンド+申請料金4,400円、2026年1月20日現在、手数料、消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京またはマンチェスターからマンチェスターまで同行します。
- 最少催行人数：10人 ●食事：朝9回、昼7回、夕7回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上。ホワイトヘブン/モレスビーホール グレンリディング/インオンザレイク レイヴンストーンデール/ブラックスワン ゴースランド/マリヤンスバウト リッチモンド/キングスヘッド ロビンフッズベイ/ヴィクトリア
- 一人部屋利用追加料金：¥240,000
- 利用予定航空会社：エミレーツ航空、カタール航空、キャセイパシフィック航空、シンガポール航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

## 英国が誇る世界屈指の ロングトレイル

英国の著名なガイドブックライター「アルフレッド・ウェインライト」の名著「A Coast to Coast Walk」により誕生した素晴らしいトレイルのハイライトを歩きます。伝統的なホテルやゲストハウスに宿泊、3つの国立公園を歩き、変化に富んだ景観を堪能。山岳地帯、湖水地方、牧草地、荒野、そして海岸へ…。アイリッシュ海から北海まで、イングランドを横断する感動の旅路です。



▲3つの国立公園を歩く変化に富んだ景観を堪能

## エナデール湖畔からホニスター峠へ ダヴ・コテージ見学と グリズデール峠越え

人里離れたエナデール湖畔。手つかずの自然と森や谷の風景が心を和ませてくれます。湖水地方国立公園中心部に位置する壮大な眺望のホニスター峠は圧巻。

詩人ウィリアム・ワーズワースの家「ダヴ・コテージ」と、彼が「水仙」の詩を詠んだイングランドで最も美しいといわれるアルズウォーター湖を訪れます。



▲静寂のエナデール湖畔



▲ワーズワースの家「ダヴ・コテージ」

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発	夜、東京発→中東又は東南アジア経由都市へ。 ☐☐☐【機中泊】
2	中東又は 東南アジア経由都市 着/発 マンチェスター 着/発 ホワイトヘブン 着	中東又は東南アジア経由都市着。→乗り継いでマンチェスターへ。☐☐専用車でホワイトヘブンへ(約3時間)。 ☐☐☐☐【ホワイトヘブン泊 H】
3	ホワイトヘブン 滞在 アイリッシュ海 セント・ピーズ岬 デントの丘 ブレイクリー・ レイズ・ストーンサークル	※アイリッシュ海に面したセント・ピーズから断崖を歩き田園地帯を抜け内陸へ。午後はデントの丘を越え湖水地方の山々を望みながらブレイクリー・レイズ・ストーンサークルへ(徒歩約8時間)。☐☐専用車でホテルへ。 ☐☐☐☐【ホワイトヘブン泊 H】
4	ホワイトヘブン 発 エナデール湖畔 ホニスター峠 グレンリディング 着	※エナデール湖畔から森林と谷を進みブラックセイル小屋で昼食。午後はロフト・ベックの急登を登り壮大な眺望をお楽しみ頂きホニスター峠へ(徒歩約8時間)。☐☐専用車でホテルへ。 ☐☐☐☐【グレンリディング泊 H】
5	グレンリディング 滞在 ダヴ・コテージ アルズウォーター湖	※詩人ウィリアム・ワーズワースの家「ダヴ・コテージ」を見学後、グリズデール峠を越えアルズウォーター湖へ(徒歩約6時間)。☐☐専用車でホテルへ。 ☐☐☐☐【グレンリディング泊 H】
6	グレンリディング 発 ヨークシャー・ ディールズ国立公園 レイヴンストーンデール 着	※石灰岩の丘、野花が咲くならかな草原、伝統的な石壁が連なるヨークシャー・ディールズ国立公園を歩きます(徒歩約8時間)。☐☐専用車でホテルへ。 ☐☐☐☐【レイヴンストーンデール泊 H】
7	レイヴンストーンデール 発 ペナイン山脈 スウェールデール渓谷 リッチモンド 着	※イングランドの背骨と呼ばれるペナイン山脈を越え、この地方で最も美しいと言われるスウェールデール渓谷へ(徒歩約6時間)。古い石垣や牧草地など古典的なイングランドの原風景が広がります。☐☐専用車でホテルへ。 ☐☐☐☐【リッチモンド泊 H】
8	リッチモンド 発 ノース・ヨーク・ ムーア国立公園 ゴースランド 着	※ノース・ヨーク・ムーア国立公園へ。荒涼とした大地が雄大な風景を印象づけてくれます。16世紀の宿「ライオン・イン」を見学。その後ゴースランドへ(徒歩約7時間)。☐☐専用車でホテルへ。 ☐☐☐☐【ゴースランド泊 H】
9	グレイスデール村 蒸気機関車	※グレイスデール村と1619年建造のベガーズブッジへ。グロスモントから蒸気機関車で約20分、ゴースランド駅へ(徒歩約8時間)。 ☐☐☐☐【ゴースランド泊 H】
10	ゴースランド 発 北海・ロビンフッズベイ ロビンフッズベイ 着	※森林を抜けフォーリングフォスの滝へ。美しい海岸上のトレイルを歩き、コーストtoコーストの終着地ロビンフッズベイに到着(徒歩約7時間)。 ☐☐☐☐【ロビンフッズベイ泊 H】
11	ロビンフッズベイ 発 マンチェスター 着/発	☐☐専用車でマンチェスター空港へ(約3時間)。午後、マンチェスター発→中東又は東南アジア経由都市へ。 ☐☐☐☐【機中泊】
12	中東又は 東南アジア経由都市 着/発 東京 着	未明→中東又は東南アジア経由都市で乗り継いで→東京へ。夕刻、東京着。 ☐☐☐☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## ノース・ヨーク・ムーア 国立公園 ゴースランドへ 蒸気機関車で

ノース・ヨーク・ムーア国立公園へ。雄大な荒野を辿るダイナミックなルート歩き、16世紀の宿「ライオン・イン」を見学します。

英国らしい谷や森を抜け、ノース・ヨークシャー・ムーアーズ鉄道的主要駅・グロスモントへ。蒸気機関車の旅をお楽しみいただきます。



▲荒野を歩くダイナミックなルート



▲蒸気機関車の小旅行

**新企画** 北アフリカ最高峰の登頂を目指す

# モロッコ最高峰ツブカル山登頂と世界遺産マラケシュ9日間

アフリカ大陸北西部に連なるアトラス山脈の最高峰にして北アフリカ最高峰のツブカル山(4,167m)の登頂を目指します。1,740mから登り始め標高3,207mの山小屋に宿泊し2泊3日の行程で山頂を往復します。標高は4,000mを越えますが特別な登山技術は不要です。遊牧民が作った世界遺産の街マラケシュも探訪する、エキゾチックなモロッコの旅です。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
9 / 8 (火)～9 / 16 (水)	¥662,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在: 目安約79,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー(添乗員): 東京から東京またはカサブランカからカサブランカまで同行します。
- 最少催行人数: 10人 ●食事: 朝6回、昼5回、夕6回
- 利用予定ホテル: Cクラス以上。マラケシュ/リヤド・パイア・ソフィアンまたは同等クラス
- 一人部屋利用追加料金: ¥32,000(ロッジ泊を除く)
- 利用予定航空会社: エミレーツ航空、カタール航空、ターキッシュエアラインズ

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。

## アフリカ・モロッコ最高峰ツブカル(4,167m)登山

アフリカ大陸北西部に連なるアトラス山脈の最高峰にして北アフリカ最高峰ツブカル山(4,167m)の登頂を目指します。1,740mから登り始め標高3,207mの山小屋に宿泊し2泊3日の行程で山頂を往復します。標高は4,000mながら特別な登山技術は不要です。遊牧民が創った「南の真珠」と称される世界遺産の歴史都市マラケシュの滞在もモロッコの旅の魅力です。



▲ムフロソ小屋に向かって谷沿いの山道を行く

## 北アフリカ最高峰ツブカル山

モロッコ最高峰ツブカル山登頂は、アトラス山脈の稜線を辿る雄大な展望と達成感を味わえる山小屋泊4泊5日の行程で登る本格的ながら比較的挑戦しやすい高峰登山です。



▲北アフリカ最高峰のツブカル山

## ベルベル文化体験

段々畑や山村、ラバ使いとの行動など、ベルベルの人々の暮らしや山と共に生きる山岳文化を身近に感じる滞在は単なる登山に終わらない記憶に残る魅力ある体験です。



▲山間の谷間広がる山村

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 中東内経由都市 着	夕刻、東京発→中東内経由都市へ。 機中泊
2	中東内経由都市 発 カサブランカ 着/発 マラケシュ 着	中東内経由都市で乗り継ぎ→カサブランカへ。 マラケシュへ。 機中泊【マラケシュ泊】
3	マラケシュ 発 ツブカル国立公園 着/発 ツブカル登山1日目 イディ・アイッサ村 着	アトラス山脈麓のイミウグラード村(1,450m)へ(約1時間)。現地登山スタッフと合流、荷物をラバに託し登山開始。緩やかな登り道を進み、ティジン・タシュ峠(約2,030m)からはツブカル山群の荒々しい稜線が姿を現します。午後、ジュンパー(ビャクシン)の森や小さな谷を下り、ツブカル国立公園内の静かな村イディ・アイッサへ。(徒歩約6時間) 機中泊【イディ・アイッサ泊】
4	イディ・アイッサ村 発 ツブカル登山2日目 アジブ・タムスルト小屋 着	アズザデン深谷を奥へと進み、段々畑、遊牧民の小屋などベルベル人の暮らしが今も息づく風景が続きます。やがて標高約2,200mのティジ・ウスムを経て、さらに緩やかな登りアジブ・タムスルト小屋(約2,250m)へ(徒歩約6時間)。 機中泊【アジブ・タムスルト山小屋泊】
5	アジブ・タムスルト小屋 発 ツブカル登山3日目 ムフロソ小屋 着	アグルジム峠(約3,500m)を目指します。高度が上がるにつれ岩と空の世界へと変化していきます。峠からはツブカル山塊全体を見渡せ、その後、岩場を下りムフロソ山小屋(3,200m)へ(徒歩約6時間)。 機中泊【ムフロソ小屋泊】
6	ムフロソ小屋 滞在 ツブカル登山4日目 ツブカル山頂往復	未明、ヘッドランプを点けてツブカル山頂を目指し出発。着実に高度を上げながら標高4,167mの山頂へ。サハラ方面のサグロ山地やシルワ山地まで見渡す圧巻の大展望を楽しんだ後、往路をムフロソ山小屋へ戻ります(徒歩約6時間)。 機中泊【ムフロソ小屋泊】
7	ムフロソ小屋 発 ツブカル登山5日目 イムリル村 着/発 マラケシュ 着	往路をイムリル村に下山。マラケシュへ。着後、赤土の城壁に囲まれたこの街は「南の真珠」とも呼ばれ、スパイスの香りに包まれた活気ある色彩豊かな街並みや世界遺産ジャマ・エル・フナ広場などを散策。 機中泊【マラケシュ泊】
8	マラケシュ 発 カサブランカ 着/発 中東内経由都市 着	カサブランカの空港へ→中東内経由都市へ。 機中泊【機中泊】
9	中東内経由都市 発 東京 着	中東内経由都市で乗り継ぎ→東京着。 機中泊

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## 迷宮都市マラケシュに滞在

砂漠の遊牧民ベルベル人の貿易拠点として繁栄した世界文化遺産の旧市街ではスークやジャマ・エル・フナ広場など、色彩と喧騒に満ちたイスラム都市文化を体験します。



▲賑わうマラケシュの旧市街

## 山と砂漠文化が交差する

ヨーロッパ、アフリカ、アラブ文化が融合するモロッコ。高山登山と異文化体験を一度に楽しめる他にない冒険の旅は古代から砂漠を旅した商人達の奥深い伝統と文化が舞台です。



▲砂漠の文化も感じる旅



～シルクロードの十字路からパミール高原と大カラコルム山脈を越えて～

# パミール高原とフンザ、 ナンガパルバット・ルパール壁トレッキング 14日間

シルクロードの十字路カシュガルからパミール高原に入り、パキスタンとの国境であるクンジェラブ峠を越え、名峰シスパーレやウルタルを望みます。また、桃源郷フンザを経由して、ヒマラヤ最西端に位置し、標高差約4,700mと世界最大級の大岩壁でのナンガパルバット(8,126m)のルパール壁を仰ぎ見るハイキングを楽しみます。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設

出発日～帰国日	旅行代金
9/27(日)～10/10(土)	¥964,000

- 燃油サーチャージ(2026年1月20日現在：目安約36,000円)が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- パキスタンビザ(=実費8USD+申請料金4,400円、2026年1月20日現在、手数料、消費税込み)の取得が別途必要となります。
- ツアーリーダー(添乗員)：東京から東京まで同行します。
- 最小催行人数：7人 ●食事：朝12回、昼12回、タ11回
- 利用予定ホテル：Bクラス以上。カシュガル/チニワク賓館又は同等クラス、タシュクルガン/パミール大酒店又は同等クラス、フンザ/アンバサダー又はセレナ、イスラマバード/シグネチャー又は同等クラス
- 一人部屋料金：¥118,000(パス周辺およびタルシンロッジ泊を除く)
- 利用予定航空会社：中国国際航空、タイ航空、中国南方航空

ビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスをご希望の方はお問合せください。



私が案内します  
久保 典彦  
(くぼ のりひこ)

## 壮大な山脈と高原を巡る

カラコルム山脈が望める地域の中でも、フンザ周辺から中国国境沿いにかけては、車道が発達しているため、多くの7,000m峰の高峰や長大な氷河を軽ハイキングで展望できる世界でも数少ない場所です。シルクロードの十字路カシュガルから、クンジェラブ峠を越えカラコルムの数多くの名峰を望みながら南下し、巨大なナンガパルバットルパール壁でフィナーレを迎える究極のハイキングコースです。



▲名峰シスパーレ

## シルクロードの十字路 ナンガパルバットルパール壁

カシュガルは、中国西端に位置し、中世のシルクロードの十字路として栄えた雰囲気が漂う場所です。ウイグル人の生活を体験できるエキゾチックなエリアです。

ルパール壁は、ヒマラヤ最大級の大岩壁といわれ、車道からわずか1時間足らずで、たどり着くベースキャンプから望むと、首が痛くなるほど仰ぎ見る大迫力の壁を望むことができます。



▲カシュガルのバザール



▲ナンガパルバットルパール壁

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 ウルムチ又は カシュガル 着	午前、東京発→中国都市内経由で、カシュガル又はウルムチへ。 ☐☐機 【ウルムチ又はカシュガル泊 H】
2	ウルムチ 発 カシュガル 着 またはカシュガル滞在	空路→カシュガルへ。またはカシュガル滞在。シルクロードでも大規模なバザールなどのカシュガル市内観光を楽しみます。 囿囿囿 【カシュガル泊 H】
3	カシュガル 発 タシュクルガン 着	朝、☐☐専用車で、タシュクルガン(3,100m)へ。途中、カラクリ湖からはパミール高原の名峰のコングル(7,649m)やムスターグ・アタ(7,546m)の雄姿を望むことができます。午後、タシュクルガン着。 囿囿囿 【タシュクルガン泊 H】
4	タシュクルガン 発 パスー周辺 着	午前、出国手続きの後、中国とパキスタン国境にあるクンジェラブ峠(4,733m)を越えて、パキスタン国境の町ソストを経由し、パスー周辺へ。 囿囿囿 【パスー泊 L】
5	パスー周辺 発 シスパーレ展望 ハイキング パスー氷河展望 ハイキング フンザ 着	パスー周辺から、グルキン村へ(2,500m)へ。★グルキン氷河のアブレーションバレー(氷河側谷)を進み、シスパーレ、ウルタルI峰、ウルタルII峰、トポップダンなどを望みながら、グルキン氷河を望む展望地までハイキング(徒歩約1.5時間)。その後、パスー氷河の入り口付近(2,600m)まで移動し、パスー氷河を眼下に望む展望地をハイキングします(徒歩約1時間)。その後、桃源郷フンザへ。 囿囿囿 【フンザ泊 H】
6	フンザ 発 タルシン 着	☐☐専用車で、登山口のタルシン(2,950m)へ。タルシンからはナンガパルバットの一部を望むことができます。 囿囿囿 【タルシン泊 L】
7	タルシン 発 トレッキング1日目 ポーランドベースキャンプ 着	★ハイキング開始。ゆるやかに登り、以前、ポーランド登山隊のベースキャンプ地であったベースキャンプ(約3,500m)へ(徒歩約1時間)。頭上には、世界最大級の壁といわれるナンガパルバット(8,125m)のルパール壁が高度差約4,700mで圧倒的迫力でそびえ立ちます。まさに頭上に降り注ぐ迫力です。 囿囿囿 【ポーランドベースキャンプ泊 T】
8	ポーランドベースキャンプ 発 トレッキング2日目 ラトボー付近 着	★広い牧草場が広がるラトボー付近(3,600m)へ。ラトボー付近からも見事なルパール壁を仰ぎ見ることができます(徒歩約3時間)。 囿囿囿 【ラトボー付近泊 T】
9	ラトボー付近 滞在 トレッキング3日目	ラトボー付近滞在。★ナンガパルバットを望みながら、周辺ハイキングを楽しみます(徒歩約3時間)。 囿囿囿 【ラトボー付近泊 T】
10	ラトボー付近 発 トレッキング4日目 タルシン 着	★往路をタルシンまで歩きます(徒歩約2時間)。 囿囿囿 【タルシン泊 L】
11	タルシン 発 チラス又はナラン 着	☐☐専用車で、チラス又はナランへ。 囿囿囿 【チラス又はナラン泊 L】
12	チラス又はナラン 発 イスラマバード 着	☐☐専用車でイスラマバードへ。 囿囿囿 【イスラマバード泊 H】
13	イスラマバード 発 イスラマバード 発	午前、イスラマバード市内観光を楽しみます。午後、→中国又は東南アジア経由地へ。 囿囿機 【機中泊】
14	中東または 東南アジア経由地 東京 着	中国又は東南アジア経由地で→乗り継いで→東京へ。 機

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

## 北極圏に浮かぶ絶景の島

CN00TS

### 絶景のセニヤ島ハイキングと ロフォーテン諸島 10日間

発着地 東京

歩行時間



宿泊施設



出発日～帰国日	旅行代金
9月中旬頃予定	詳細は3月下旬発表

ノルウェー北部に位置する北極圏の街トロムソの南西に浮かぶ絶景の島セニヤ島とロフォーテンの島々。無数のフィヨルドが入り組み急峻な岩山が海面から聳え立ち、訪れる者を魅了します。この季節は秋色に染まります。ハイキング愛好家として知られるノルウェーのソニヤ王妃も定期的に訪れています。



▲秋色のセニヤ島

## インドネシアで展望登山

FB00AA

### バリ島最高峰アグン山と バトゥール山2座登頂 6日間

発着地 東京

歩行時間



宿泊施設



出発日～帰国日	旅行代金
11月中旬予定	詳細は3月下旬発表

火山の点在するバリ島で、最高峰のアグン山とバトゥール山の2つの登山を楽しめます。アグン山は富士山型の独立方で、お鉢まで登ると眼下に南太平洋を見下ろし、雄大なパノラマが楽しめます。テント泊1泊2日の健脚向けの登山です。登山の後はビーチにのんびり滞在、伝統文化にも触れます。



▲アグン山の荒々しい火口壁

## 中央アジア、サマルカンドとシルクロードのオアシス探訪

ZF00UR

### ウズベキスタンの4つの世界遺産と タジキスタンの大自然周遊スペシャル 12日間

発着地 東京・大阪

歩行時間



宿泊施設



出発日～帰国日	旅行代金
10/30(金)～11/10(火)	¥658,000

古くからさまざまな人が行き交い歴史の舞台となってきた中央アジア、ウズベキスタンは昔と変わらぬ街並みが今に残っています。世界遺産の古都、ヒヴァ、ブハラ、シャフリサブス、サマルカンドの歴史地区をのんびり歩き、国境を越えタジキスタンのファン山脈を訪問します。



▲ヒバの内城イチャン・カラは中世の姿

## 世界の高峰が密集する大パノラマ

JH00DG

### 錦秋の桃源郷フンザと カラコルム展望ハイキング 10日間

発着地 東京・大阪

歩行時間



宿泊施設



出発日～帰国日	旅行代金
11月上旬予定	詳細は3月下旬発表

秋のフンザは空高く、高山は新雪を纏い、里はポプラが黄色にアンズなど果樹の葉が赤色に染まり、まさに錦秋の桃源郷の世界に変わります。名峰を望み氷河を間近に迫力あるハイキングを楽しめます。ギルギットへの移動はフライトを利用し、陸路だと片道2日かかるのをわずか1時間で移動します。



▲グルキン氷河の奥にそびえ立つ鋭鋒シスパーレ

## マチュピチュ遺跡へ続くインカの古道をトレッキング

HI00NC

### インカ・トレイル・トレッキングと マチュピチュ、古都クスコ 12日間

発着地 東京

歩行時間



宿泊施設



出発日～帰国日	旅行代金
10月前半	詳細は3月下旬発表

高所順応に配慮した日程で、世界遺産のマチュピチュへと続く憧れのインカの古道を、3泊4日のトレッキング。コース上には数々の遺跡が点在し、インカ時代に造られた石畳を歩きマチュピチュ遺跡を目指します。インカの遺跡群、サルカントイやペロニカなどアンデスの山々を望みます。古都クスコも訪れます。



▲インカトレイルを歩きマチュピチュ遺跡を目指す

## 世界最後の秘境と言われるギアナ高地のトレッキング

HG00RC

### 秘境ギアナ高地、ロライマ山トレッキングと 世界最大落差の滝エンゼルフォール 15日間

発着地 東京

歩行時間



宿泊施設



出発日～帰国日	旅行代金
11月中旬予定	詳細は3月下旬発表

南米ベネズエラにある、秘境ギアナ高地の最高峰ロライマ山でのトレッキング。頂上台地にキャンプを設け、下界から隔絶された広大な台地を歩きます。奇怪な岩塔や水晶の谷、頂上台地の上だけで進化を遂げた動植物など見られます。世界最大落差エンゼルフォールも訪れる辺境の旅です。



▲最後の秘境ギアナ高地トレッキング



## お申し込みからご出発まで

### ① 仮 予 約

お電話またはメールまたはWEBサイトにて仮予約を受け付けておりますので、お早めのご予約をおすすめいたします。

### ② 旅行手続きのご案内

仮予約をいただいたお客さまに、参加お申込書と旅行手続きのご案内をお送りいたします。

### ③ 正式なお申込み

参加お申込書が届き次第、必要事項をご記入いただき、アルパインツアー本社宛てにご返送ください。また、同時に、お申込み金**5万円**を下記銀行口座までご送金ください。

### ④ ご旅行代金ご送金

ご出発の約1カ月前頃にご旅行代金のご請求書をお送りいたします。残金をご送金ください。

### ⑤ 「最終の案内」送付

ご出発の10日前頃までに「最終日程表」「ご集合案内」をお送りさせていただきます。

※取り消し料(P.47の旅行条件をご参照ください。)

## お申込金振込先

口座名: アルパインツアーサービス(株)

- 三菱UFJ銀行／虎ノ門支店 【普通口座】1610094
- 三井住友銀行／日比谷支店 【普通口座】7227655
- みずほ銀行／新橋支店 【普通口座】0713984
- ゆうちょ銀行 【記号】10170 【番号】29282681

## お早めのお申し込みをお願いします

海外からの訪日外国人の旅行需要の大幅な増加により、国際線航空便がたいへん混雑し、航空券の確保が非常に難しくなっております。ぜひ皆様にはお早めのお申し込みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

## 海外旅行保険へご加入ください。

海外旅行にご参加の際は必ず海外旅行保険へご加入ください。アルパインツアーは東京海上日動火災保険株式会社の代理店です。インターネットよりお申し込みいただける海外旅行保険またはパンフレットの海外旅行保険をご用意しております。詳しくはお問合せください。

## 海外旅行 旅行条件(要旨)

このご旅行はアルパインツアーサービス株式会社(本社:千葉県四街道市大日420-3 観光庁長官登録旅行業第490号。以下当社という。)が企画・実施するもので、当社はお客様が当社の定める旅行日程に従って、運送・宿泊その他の旅行に関するサービス(以下「旅行サービス」といいます)の提供を受けることができるように、手配し、旅程を管理します。ご旅行条件につきましては、下記によるほか、当社の旅行業約款(募集型企画旅行契約の部)、および別途お渡りする確定書面(最終日程表)によります。

### 1. 旅行のお申し込み

当社所定の申込書に所定事項をご記入のうえ、50,000円のお申込み金を添えてお申し込みいただきます。(お電話でのご予約の場合には、3日以内に。)申込金は旅行代金、取消料、または違約金のそれぞれ一部として取扱います。なお当社がお申し込みを受諾し、申込書と申込金を受領した時に旅行契約が成立します。お電話や電子メールでのご予約のみでは、旅行契約は成立しておりません。

### 2. 旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

### 3. 旅行代金に含まれるもの

日程に明示した航空機・バス・列車など利用交通機関の運賃及び料金、ガイド料金、入場料、宿泊料金、食料料金、税・サービス料など。

### 4. 旅行代金に含まれないもの

超過手荷物運搬料金(運送機関の手荷物規則による)、クリーニング代、電話代、酒、果物類その他個人的性質の諸費用およびこれに伴うサービス料など、日程に明示された費用以外のもの。運送機関の課す付加運賃・料金。

### 5. 旅行契約内容・代金の変更

当社は天災地変、戦乱、暴動、運送・宿泊機関等のサービス提供の中止、官公署の命令、当初の運行計画に与えない運送サービスの提供その他の当社の関与できない事由が生じた場合、契約内容を変更することがあります。またその変更に伴い旅

行代金を変更することがあります。著しい経済情勢の変動により通常予想される程度を大幅に越えて利用する運送機関の運賃・料金の改定があった場合は旅行代金を変更することがあります。増額の場合は旅行開始日の前日から起算してさかのぼって15日目に当たる日より前にお知らせします。

### 6. 当社による旅行契約解除

当社は次に掲げる場合においては、旅行開始前に旅行契約を解除することがあります。

(1) お客様が所定の期日までに旅行代金を支払わないとき(この場合、別表の取消料に準じて違約金を支払っていただきます。)

(2) お客様が、当社があらかじめ明示した性別・年齢・資格・技能その他の参加旅行者の条件をみたしていないことが判明したとき。

(3) お客様が病氣その他の事由により、当該旅行に耐えられないと認められるとき。

(4) お客様が他の旅行者に迷惑を及ぼし、または団体旅行の円滑な実施を妨げるおそれがあると認められるとき。

(5) 参加者の数がパンフレットに記載した最少催行人数に達しなかったとき。この場合は、旅行開始の前日より起算してさかのぼって23日目(別表1に規定するピーク時に旅行を開始するものについては33日目)にあたる日より前までに旅行中止の旨を通知します。

(6) 天災地変、戦乱、暴動、運送・宿泊機関等の旅行サービス提供の中止、官公署の命令その他当社の関与しない事由が生じた場合において、契約書面に記載した旅行日程に従った旅行の安全かつ円滑な実施が不可能となり、または不可能となるおそれ大きいとき。

### 7. お客様による旅行契約の解除(取消料のかかる場合)

お客様は、別表1の取消料を支払って旅行契約を解除することができます。

① 当社の責任とならないローン、渡航手続き等の事由によるお取消しの場合も表記取消料をいただきます。

② 取消料の対象となる旅行代金とは、1人部屋追加代金、延泊代金などの追加代金を含めた金額です。

## 日程表の見方(ご案内とご注意)

### 歩行時間を目安にしたツアーのレベル

- 歩行時間 一日の歩行時間が1~2時間のとてもやさしいコース
- 歩行時間 一日の歩行時間が2~4時間のハイキングが主体のコース
- 歩行時間 5時間以上の歩行が4日以上含まれるやや健脚向きコース
- 歩行時間 8~10時間程度の歩行が数日または長期間にわたっての歩行が含まれる健脚向きコース
- 歩行時間 長時間歩行が数日含まれ、歩行スピードが要求されるハードコース
- ※歩行時間 2と3の間になります。 ※歩行時間 3と4の間になります。

### 最高宿泊地の高度の表示

- 最高宿泊地 標高3,000m未満。
- 最高宿泊地 標高3,000m以上~3,800m未満。高山病の影響ややあり。
- 最高宿泊地 標高3,800m以上~4,500m未満。高山病の影響ややあり。
- 最高宿泊地 標高4,500m以上。高山病の影響が強くあります。(体調や個人差によって影響の度合いは異なります。)

健康診断 標高3,800m以上で宿泊のため、当社所定の健康診断が必要です。

宿泊施設の表示 泊田: ホテル泊/泊田: ロッジ泊/泊田: 山小屋泊/泊田: テント泊

### 歩行時間と移動時間について

歩行時間について: 日程表中に表示しているハイキングや登山、トレッキングの歩行時間は、途中の休憩や食事などの時間を含めない標準的な歩行時間(コースタイム)です。

移動時間について: 日程表中に表示している専用車や列車、船舶等の移動時間は、途中の休憩や食事、観光などの時間を含めた標準的な移動時間(所要時間)です。

### ビザ(査証)について

必要なビザ(査証)は、各ページに明記しております。お客様の都合による緊急の申請や為替レートの変動等により、記載の料金と異なることがあります。また、料金やビザの有無は変更となる場合がありますので、ご了承ください。

### 燃油サーチャージについて

各航空会社が設定している「燃油サーチャージ(燃油特別付加運賃)」(国土交通省認可)は旅行代金ご請求に際しましてご旅行代金に加算してご請求させていただいております。今後も燃油サーチャージ額の変動に合わせてご請求させていただきますが、何卒皆さまのご理解をたまりませんようお願い申し上げます。

### 海外の空港税は旅行代金に含まれています。

海外での空港諸税は、旅行代金に含まれています。日本国内の空港施設使用料及び旅客保安サービス料、国際観光旅客税等は、旅行代金に含まれておりません。

### 別表1「海外旅行にかかる取消料」

旅行契約の解除期日	取消料
●旅行開始日の前日より起算してさかのぼって40日目に当たる日以降31日目に当たる日まで(旅行開始日が下記注に示したピーク時である場合に限ります。)	旅行代金の10%
●旅行開始日の前日より起算してさかのぼって30日目に当たる日以降3日前に当たる日まで	旅行代金の20%
●旅行開始日の前々日以降旅行開始日当日まで	旅行代金の50%
●旅行開始後及び無連絡不参加の場合	旅行代金の全額

注)「ピーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。

### 8. お客様による旅行契約の解除(取消料のかからない場合)

下記の場合に取消料はいただきません。(一部例示)  
①旅行契約内容に以下に例示する重要な変更が行われたとき。

- a. 旅行開始日又は終了日の変更
- b. 入場する観光地、観光施設、その他の旅行の目的の変更
- c. 運送機関の種類又は会社名の変更
- d. 運送機関の「設備及び等級」のより低いものへの変更
- e. 本邦内の旅行開始地たる空港又は旅行終了地たる空港における異なる便への変更
- f. 本邦内と本邦外との間における直行便の乗継便又は経由便への変更
- g. 宿泊施設の名称又は種類の変更
- h. 宿泊施設の客室の種類・設備・景観の変更
- ②旅行代金が増額される場合
- ③当社が確定日程表を表記の日までに交付しない場合。
- ④当社の責に帰すべき事由により、当初の旅行日程通りの実施が不可能となったとき。

### 9. 当社の責任

当社は当社または手配代行者がお客さまに損害を与えたときは損害を賠償いたします。(お荷物に関係する賠償限度額は1人15万円)ただし次のような場合は原則として責任を負いません。天災地変、戦乱、暴動、運送・宿泊機関の事故もしくは火災、運送機関の遅延、不通またはこれらに生ずる旅行日程の変更もしくは旅行の中止、官公署の命令、その他の当社又は手配代行者の関

与し得ない事由により損害を被ったとき。

### 10. 特別補償

当社はお客様が当旅行参加中に、急激かつ偶然な外来の事故により生命、身体、または手荷物に被った一定の損害について、旅行業約款特別補償規程により、一定の補償金及び見舞金を支払います。

### 11. 旅程保証

旅行日程に⑧、⑨に掲げる重要な変更が行われた場合は、旅行業約款(企画旅行契約の部)の規定により、その変更の内容に応じて旅行代金の1%~5%に相当する額の変更補償金を支払います。ただし、一旅行契約について支払われる変更補償金の額は、旅行代金の15%を限度とします。また、一旅行契約についての変更補償金の額が1000円未満の場合は、変更補償金は支払いません。変更補償金の算定基礎となる旅行代金とは、追加代金を含めた合計額です。

### 12. お客様の責任

お客様の故意又は過失により当社が損害を被ったときは、当該お客様は損害を賠償しなければなりません。お客様は、当社から提供される情報を活用し、契約書面に記載された旅行者の権利・義務その他企画旅行契約の内容について理解するよう努めなければなりません。お客様は、旅行開始後に、契約書面に記載された旅行サービスについて、記載内容と異なるものと認識したときは、旅行地において速やかに当社、当社の手配代行者又は旅行サービス提供者にその旨を申し出なければなりません。

### 13. 個人情報の取扱いについて

当社及び販売受託旅行業者は、旅行申込みの際に提出された申込書に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただき、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続に必要な範囲内で利用させていただきます。このほか、当社及び販売店では「キャンペーン」のご案内や「アンケート」のお願いなどにお客様の個人情報を利用していただくことがあります。

このパンフレットに掲載した企画旅行の旅行代金は、2026年1月20日の運賃・料金を基準としています。

### お問い合わせ・お申し込み



観光庁長官登録旅行業第490号/一般社団法人日本旅行業協会 正会員

アルパインツアーサービス株式会社

本 社 / 〒284-0001 千葉県四街道市大日420-3 (八洲ビル2階)

☎043(290)9699 ✉info@alpine-tour.com  
www.alpine-tour.com

総合旅行業務取扱管理者 亀田広明





Goldwin